

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成27年2月25日
【発行者名】	ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 阿部 託志
【本店の所在の場所】	東京都千代田区永田町二丁目11番1号 山王パークタワー
【事務連絡者氏名】	出仙 学恭
【電話番号】	03(5156)5000
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(円コース)(毎月分配型) DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(ユーロコース)(毎月分配型) DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(豪ドルコース)(毎月分配型) DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(南アフリカランドコース)(毎月分配型) DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(ブラジルリアルコース)(毎月分配型) DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(資源国通貨コース)(毎月分配型)
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	各ファンドについて1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】

(1)【ファンドの名称】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

（以下、上記ファンドを総称して、もしくは「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（メキシコペソコース）（毎月分配型）」、「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）（毎月分配型）」、「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（年2回決算型）」、「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（年2回決算型）」及び「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（年2回決算型）」のすべてまたは一部を含めた総称として「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）」または「ファンド」という場合、あるいは個別に「各ファンド」または「各コース」という場合があります。また、上記ファンドそれぞれを「円コース」または「円コース（毎月分配型）」、「ユーロコース」または「ユーロコース（毎月分配型）」、「豪ドルコース」または「豪ドルコース（毎月分配型）」、「南アフリカランドコース」または「南アフリカランドコース（毎月分配型）」、「ブラジルリアルコース」または「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」、「資源国通貨コース」または「資源国通貨コース（毎月分配型）」という場合があります。さらに、上記ファンドを総称して、もしくは「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（メキシコペソコース）（毎月分配型）」及び「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）（毎月分配型）」を含めた総称として「毎月分配型」という場合があります。）

「資源国通貨」とは、原則として、代表的な資源国であるオーストラリア、南アフリカ及びブラジルの3カ国の通貨（豪ドル、南アフリカランド及びブラジルリアル）をいいます。以下同じ。

(2)【内国投資信託受益証券の形態等】

契約型の追加型証券投資信託の受益権です。

当ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関及び当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社（「ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社」をいいます。以下同じ。）は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

各ファンドについて、委託会社の依頼により、信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

(3)【発行（売出）価額の総額】

各ファンドについて1兆円を上限とします。

(4)【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額 とします。

「基準価額」とは、信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を計算日における受益権総口数で除した1口当たりの金額をいいます。なお、便宜上、1万口あたりに換算した価額で表示されることがあります。

基準価額については、販売会社または委託会社の後記照会先にお問合せ下さい。

(5)【申込手数料】

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に3.24%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細については、販売会社にお問合せ下さい。

収益分配金を再投資する場合の申込手数料は無手数料とします。

(6)【申込単位】

申込単位は、販売会社が定める単位とします。ただし、収益分配金を再投資する場合は1口単位とします。申込単位の詳細については、販売会社にお問合せ下さい。

(7)【申込期間】

平成27年2月26日から平成27年8月24日まで（継続申込期間）

ただし、取得申込受付日がフランクフルトの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する場合、原則として取得申込みの受付は行いません。

継続申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。

(8)【申込取扱場所】

原則として、販売会社の本・支店、営業所等において申込みの取扱いを行います。

販売会社については、委託会社の後記照会先にお問合せ下さい。

(9)【払込期日】

当ファンドの取得申込者は、原則として販売会社が定める日までに申込代金を申込みの販売会社に支払うものとします。詳細については、販売会社にお問合せ下さい。

各取得申込受付日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、販売会社より委託会社の指定する口座を經由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

(10)【払込取扱場所】

原則として、申込みの取扱いを行った販売会社（上記「(8) 申込取扱場所」をご参照下さい。）において払込みを取扱います。

(11)【振替機関に関する事項】

振替機関は下記の通りです。

株式会社証券保管振替機構

(12)【その他】

取得申込みの方法等

取得申込みの受付は、原則として販売会社の営業日（ただし、フランクフルトの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する日を除きます。）の午後3時までに取得申込みが行われ、かつ、当該取得申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。なお、当該受付時間を過ぎた場合は、翌営業日の受付分として取扱います。

当ファンドは収益分配金の受取方法により、収益の分配時に収益分配金を受け取る「一般コース」と、収益分配金が原則として税引き後無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。当ファンドの取得申込者は、取得申込みをする際に、「一般コース」か「自動けいぞく投資コース」か、どちらかのコースを申し出るものとします。ただし、申込取扱場所によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。

「自動けいぞく投資コース」を選択する場合、取得申込者は、当該販売会社との間で「自動けいぞく投資約款」にしたがって契約を締結します。なお、収益分配金を再投資せず受取りを希望される場合は、販売会社によっては再投資の停止を申し出ることができます。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

販売会社によっては、当該契約または規定について、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を用いることがあり、この場合、該当する別の名称に読み替えるものとします。

取得申込みの受付の中止、既に受付けた取得申込みの受付の取消し等

- a. 信託財産の効率的な運用に資するため必要があると委託会社が判断する場合、委託会社は、受益権の取得申込みの受付を制限または停止することができます。
- b. 委託会社は、金融商品取引所(金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所及び金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。)等における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等が発生した場合、システムの誤作動等により決済または基準価額の計算が不能となった場合、計算された基準価額の正確性に合理的な疑いが生じた場合等)を含みます。)があると委託会社が判断した場合は、受益権の取得申込みの受付を中止すること及び既に受付けた取得申込みの受付を取消すことができます。

振替受益権について

当ファンドの受益権は、社振法の規定の適用を受け、上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業に係る業務規程等の規則にしたがって取扱われるものとします。

当ファンドの分配金、償還金、換金代金は、社振法及び上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

委託会社の照会先は以下の通りです。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

・ホームページアドレス <https://funds.deutscheawm.com/jp/>

・フリーダイヤル 0120-442-785(受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

当ファンドは、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

信託金の限度額

各ファンドについて5,000億円を限度とします。

ただし、委託会社は、受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

基本的性格

当ファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。

< 商品分類表 >

各ファンド共通

単位型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型投信	国内	株式	MMF	インデックス型
	海外	債券		
追加型投信	内外	不動産投信	MRF	特殊型
		その他資産() 資産複合	ETF	

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

< 商品分類の定義について >

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づく定義は以下の通りです。

- 「単位型投信・追加型投信」の区分のうち、「追加型投信」とは、一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
- 「投資対象地域」の区分のうち、「海外」とは、目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
- 「投資対象資産（収益の源泉）」の区分のうち、「債券」とは、目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

なお、上記は当ファンドに該当する分類について記載したものです。上記以外の商品分類の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ (<http://www.toushin.or.jp/>) をご参照下さい。

< 属性区分表 >

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	対象インデックス	特殊型
--------	------	--------	------	-------	----------	-----

株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル				
	年2回	日本			日経225	ブル・ベア型
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性()	年4回	北米	ファミリー ファンド	<円コース> あり (高位ヘッジ)		条件付 運用型
	年6回 (隔月)	欧州				
	年12回 (毎月)	アジア			TOPIX	ロング・ ショート 型/絶対収 益追求型
不動産投信	年12回 (毎月)	オセアニア				
	日々	中南米				
その他資産 (投資信託証券(債券))	その他 ()	アフリカ	ファンド・ オブ・ ファンズ	<円コース以外> なし	その他 ()	その他 ()
資産複合() 資産配分固定型 資産配分変更型		中近東(中東)				
		エマージング				

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

<属性区分の定義について>

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づく定義は以下の通りです。

1. 「投資対象資産」の区分のうち、「その他資産」とは、目論見書または投資信託約款において、株式、債券及び不動産投信（リート）以外の資産を主要投資対象とする旨の記載があるものをいいます。なお、当ファンドは、投資信託証券を通じて実質的に債券に投資するため、商品分類表の「投資対象資産（収益の源泉）」においては「債券」に分類されます。
2. 「決算頻度」の区分のうち、「年12回（毎月）」とは、目論見書または投資信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。
3. 「投資対象地域」の区分のうち、「欧州」とは、目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
4. 「投資形態」の区分のうち、「ファンド・オブ・ファンズ」とは、一般社団法人投資信託協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。
5. 「為替ヘッジ」の区分のうち、「あり」とは、目論見書または投資信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいい、「なし」とは、目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。

なお、上記は当ファンドに該当する属性について記載したものです。上記以外の属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）をご参照下さい。

ファンドの特色

1. DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）には、円コース（毎月分配型）、ユーロコース（毎月分配型）、豪ドルコース（毎月分配型）、南アフリカランドコース（毎月分配型）、ブラジルリアルコース（毎月分配型）、資源国通貨 コース（毎月分配型）の6本のファンドがあります。

「資源国通貨」とは、原則として、代表的な資源国であるオーストラリア、南アフリカ及びブラジルの3カ国の通貨（豪ドル、南アフリカランド及びブラジルリアル）をいいます。また、原則として、これらの通貨を均等に配分したものを、以下「資源国通貨バスケット」といいます。

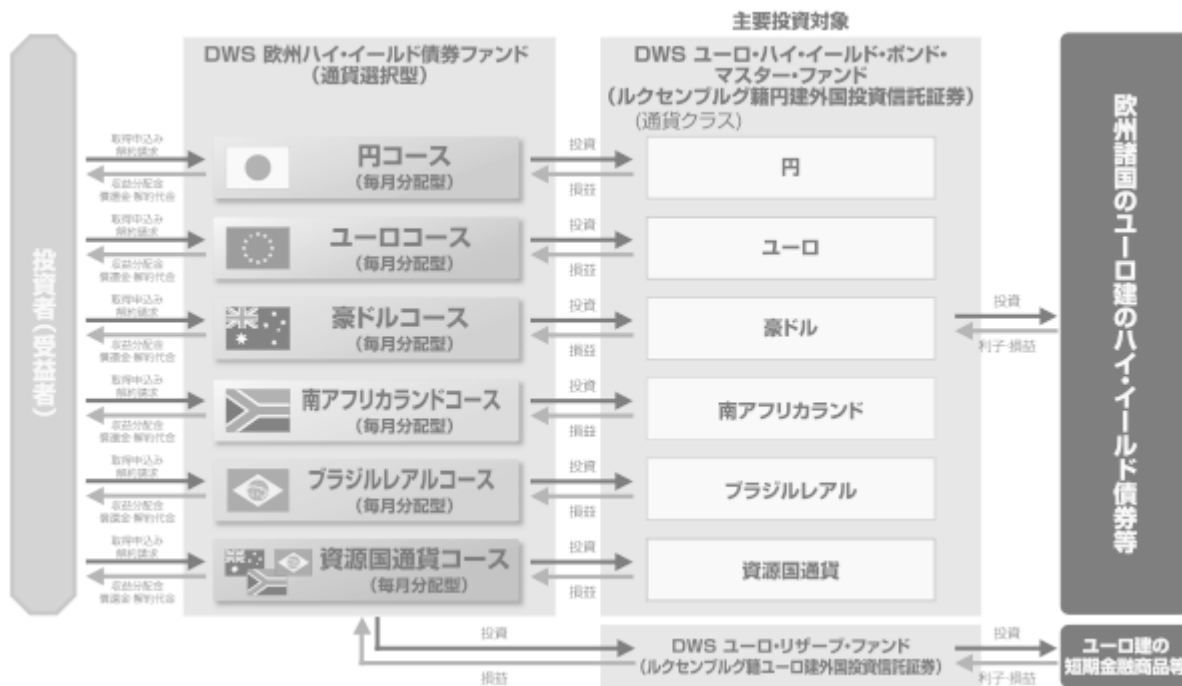
(注) 各ファンド間でのスイッチング（乗換え）が可能です。各ファンド間でのスイッチングの取扱いは販売会社により異なります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

2. 各ファンドは、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（以下「マスター・ファンド」という場合があります。）への投資を通じて、ユーロ建の高利回り社債（以下「ハイ・イールド債券」といいます。）等を実質的な主要投資対象とします。

「ハイ・イールド債券」とは、一般的にS & P社においてはB B格相当以下、Moody's社においてはB a格相当以下の格付を付与されている高利回り社債のことを指します。“投資適格債券と比べて、信用力が低く債務不履行（デフォルト）に陥る可能性が高い”と評価されている分、その見返りとして、満期償還までの期間が同じ投資適格債券よりも、一般に高い利回りで発行・取引されます。

ファンド	主要投資対象	主要投資対象とする投資信託証券	為替変動リスク
円コース	原則として、ユーロ建資産について、対円での為替ヘッジを行う円建外国投資信託証券に投資を行います。	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）	ユーロの対円での為替変動の低減が見込まれます。
ユーロコース	原則として、実質的にユーロ建資産を保有する円建外国投資信託証券に投資を行います。	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）	ユーロの対円での為替変動の影響を受けます。
豪ドルコース	原則として、ユーロ建資産について、ユーロ売り、豪ドル買いの為替取引を行う円建外国投資信託証券に投資を行います。	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（豪ドル）	豪ドルの対円での為替変動の影響を受けます。
南アフリカランドコース	原則として、ユーロ建資産について、ユーロ売り、南アフリカランド買いの為替取引を行う円建外国投資信託証券に投資を行います。	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（南アフリカランド）	南アフリカランドの対円での為替変動の影響を受けます。
ブラジルリアルコース	原則として、ユーロ建資産について、ユーロ売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行う円建外国投資信託証券に投資を行います。	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ブラジルリアル）	ブラジルリアルの対円での為替変動の影響を受けます。
資源国通貨コース	原則として、ユーロ建資産について、ユーロ売り、資源国通貨バスケット買いの為替取引を行う円建外国投資信託証券に投資を行います。	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（資源国通貨）	資源国通貨（豪ドル、南アフリカランド及びブラジルリアル）の対円での為替変動の影響を受けます。

3. 各ファンドはファンド・オブ・ファンズ的方式で運用を行います。



DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドは、次の6つの通貨クラスの円建投資信託証券を発行します。

ユーロ建資産 ^(注) について原則として対円での為替ヘッジを行う円クラス	対円での為替ヘッジあり
ユーロ建資産 ^(注) について原則として為替取引を行わないユーロクラス	対円での為替ヘッジなし
ユーロ建資産 ^(注) について原則として豪ドル、南アフリカランド、ブラジルリアル、資源国通貨バスケットで各々為替取引（ユーロ売り、当該各通貨買い）を行う通貨クラス* * 豪ドルクラス、南アフリカランドクラス、ブラジルリアルクラス、資源国通貨クラスがあります。	対円での為替ヘッジなし

(注)ユーロ建以外の資産へ投資を行う場合は、当該ユーロ以外の通貨売り、ユーロ買いの為替取引を行うことを原則とします。

各ファンドは、主要投資対象とする投資信託証券の他に、「DWS ユーロ・リザーブ・ファンド（ルクセンブルグ籍ユーロ建外国投資信託証券）」にも投資を行います。

主要投資対象であるDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドの特色は以下の通りです。

- ・主に欧州諸国のユーロ建のハイ・イールド債券等への投資を通じて、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
- ・ユーロ建以外の資産にも投資を行うことがあります。その場合は、当該ユーロ以外の通貨売り、ユーロ買いの為替取引を行うことを原則とします。
- ・投資対象には、ユーロ圏以外の国・地域の企業が発行する債券等も含まれます。
- ・1発行体あたりの投資上限は、原則として、格付がBB格相当以上について信託財産の5%、BB格相当未満について同3%とします。

格付が公表されていない場合は、発行体の財務内容等を分析して適切と判断した格付を用います。

複数の格付機関により異なる格付が付与されている場合は、原則として上位の格付を採用します。

- ・DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドは、ドイチェ・アセット&ウェルス・マネジメント・インベストメントGmbH^{*}が運用を行います。

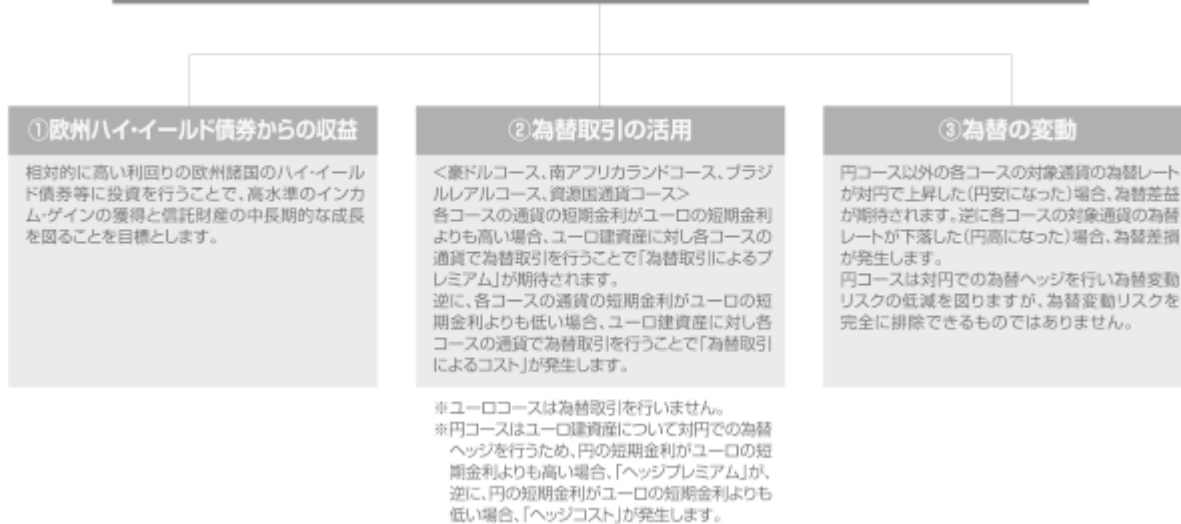
* ドイチェ・アセット&ウェルス・マネジメント・インベストメントGmbHはドイツ銀行グループのアセット&ウェルス・マネジメント部門のドイツにおける拠点です。グローバルなネットワークを駆使し、投資家の多様なニーズに応える商品開発と優れた運用実績の実現を目指します。

4. 毎月決算を行い、収益分配を行います。

- ・毎月24日（当該日が休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。
- ・分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

< 3つの収益源泉 >

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(通貨選択型)の3つの収益源泉

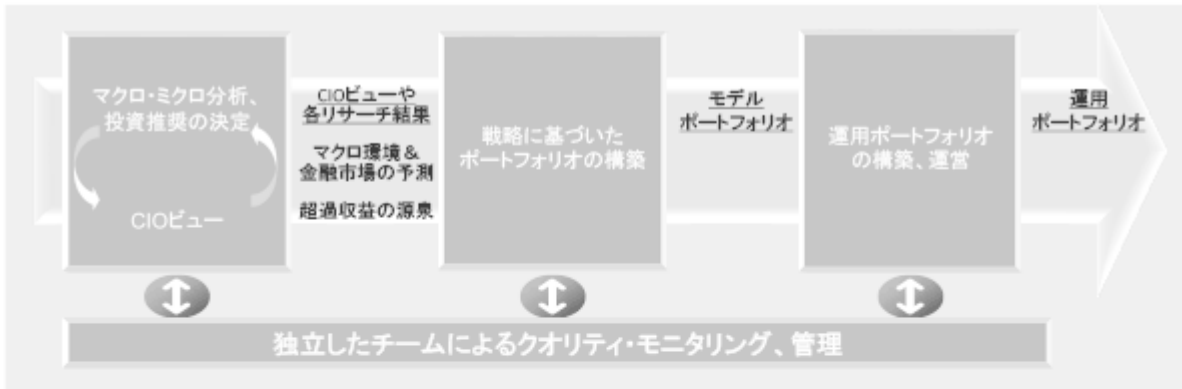


為替取引によるプレミアム/コスト：

金利の高い通貨を買い、金利の低い通貨を売る場合、その金利差相当の為替取引によるプレミアムが得られます（その逆の場合、金利差相当の為替取引によるコストがかかります。）。

各コースの主要投資対象であるマスター・ファンドは、ユーロ建以外の資産に投資する場合は当該ユーロ以外の通貨売り、ユーロ買いの為替取引を行うことを原則とし、ポートフォリオ全体がユーロ建である場合と同様の投資効果となることを目指します。したがってマスター・ファンドにおいては、当該ユーロ建以外の資産の通貨とユーロの金利差相当の為替取引によるプレミアム/コストが発生する場合があります。

< 運用プロセス >



マイクロ分析



上記運用プロセスは当ファンドの主要投資対象であるDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドに関するものです。

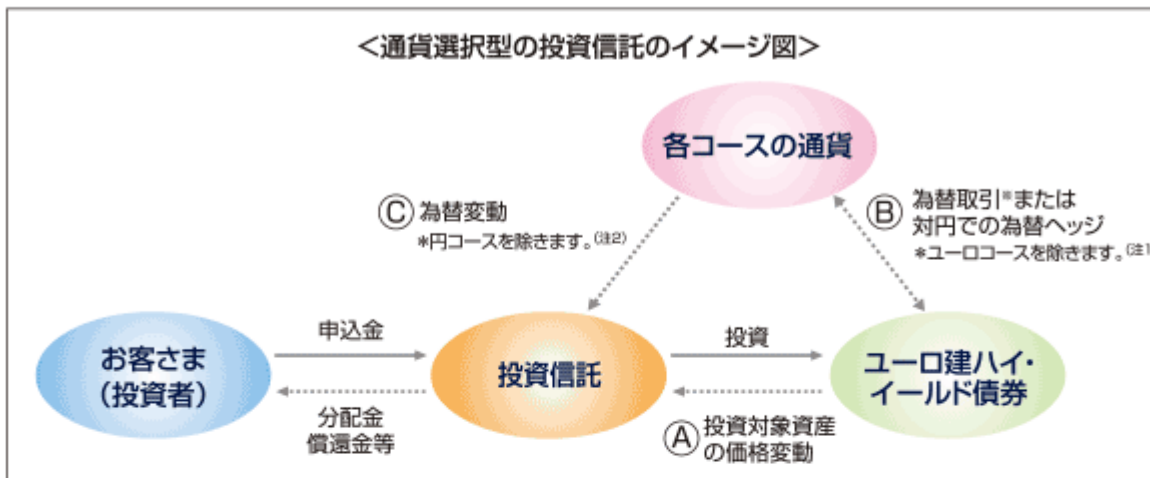
上記は本書作成時点のものであり、今後変更となることがあります。

(注) 市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(参考情報)

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。



※為替取引を行う各コース及びユーロコースの場合には、対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。
これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

	(A)	(B)	(C)
収益の源泉	ユーロ建ハイ・イールド債券の 利子収入、値上がり／値下がり	為替取引によるプレミアム／コスト またはヘッジプレミアム／コスト ^(注3) *ユーロコースを除きます。 ^(注1)	為替差益／差損 *円コースを除きます。 ^(注2)
収益を得られる ケース	・金利の低下 債券価格の上昇	・各コースの通貨の短期金利 >ユーロの短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益) の発生	・円に対して各コースの通貨高 為替差益の発生
損失や コストが 発生する ケース	債券価格の下落 ・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化	コスト (金利差相当分の費用) の発生 ・各コースの通貨の短期金利 <ユーロの短期金利	為替差損の発生 ・円に対して各コースの通貨安

(注1) ユーロコースでは、ファンドの実質的な保有外貨建資産(ユーロ建資産)について、為替取引及び対円での為替ヘッジを行いません。

(注2) 円コースでは、ファンドの実質的な保有外貨建資産(ユーロ建資産)について、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行います。ただし、完全に対円での為替ヘッジを行うことができないため、ユーロの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。

(注3) 「為替取引によるプレミアム/コスト」または「ヘッジプレミアム/コスト」は、各コースの通貨とユーロの間の短期金利差相当分の収益/費用となります。ただし、一部の新興国通貨では、NDFを活用することにより金利差がそのまま反映されない場合があります。

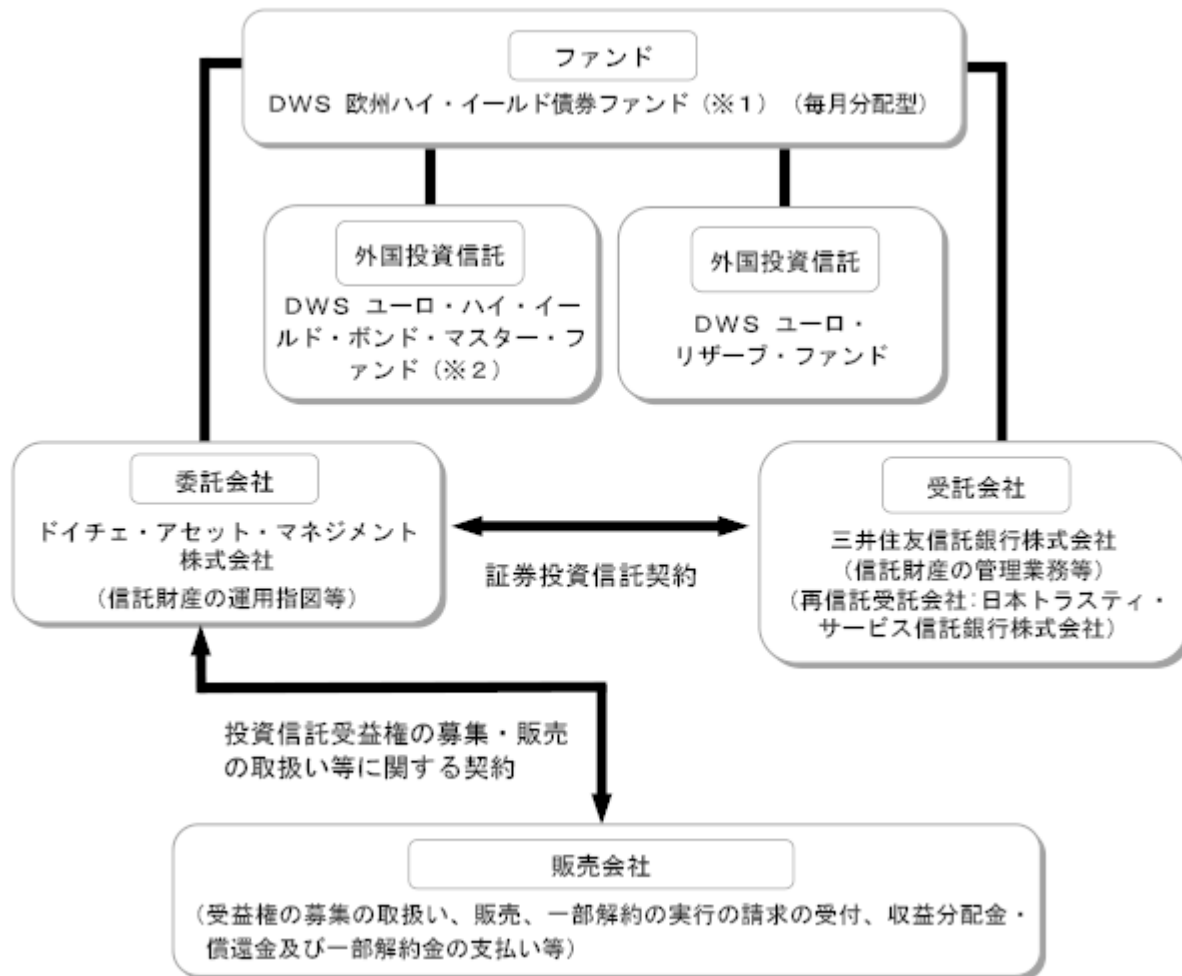
(2)【ファンドの沿革】

平成22年6月30日 信託契約締結、ファンドの設定、運用開始

平成25年2月26日 信託期間を平成32年5月22日までに変更（当初は平成27年5月22日まで）

(3)【ファンドの仕組み】

ファンドの仕組み



(注) 上記の 1、 2については、ファンド毎に以下の通り読み替えます。

1	円 コース	ユーロ コース	豪ドル コース	南アフリカランド コース	ブラジルリアル コース	資源国通貨 コース
2	円	ユーロ	豪ドル	南アフリカランド	ブラジルリアル	資源国通貨

委託会社及びファンドの関係法人

委託会社及びファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割は次の通りです。

- a. ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（「委託会社」）
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図、受託会社との信託契約の締結、目論見書・運用報告書の作成等を行います。
- b. 三井住友信託銀行株式会社（「受託会社」）
（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）
委託会社との間で「証券投資信託契約」を締結し、これに基づき、当ファンドの受託会社として、信託財産の保管・管理、基準価額の計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指図等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。
- c. 「販売会社」
委託会社との間で「投資信託受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約」を締結し、これに基づき、当ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金・償還金及び一部解約金の支払い等を行います。

委託会社の概況

- a. 資本金の額（2014年12月末現在）

3,078百万円

b . 沿革

1985年 モルガン グレンフェル インターナショナル アセット マネジメント（株）設立
1987年 投資顧問業登録、投資一任業務認可取得
1990年 ドイツ銀投資顧問（株）と合併し、ディービー モルガン グレンフェル アセット
マネジメント（株）に社名を変更
1995年 ディービー モルガン グレンフェル投信投資顧問（株）に社名を変更
証券投資信託委託会社免許取得
1996年 ドイチェ・モルガン・グレンフェル投信投資顧問（株）に社名を変更
1999年 バンカース・トラスト投信投資顧問（株）と合併し、ドイチェ・アセット・マネジ
メント（株）に社名を変更
2002年 チューリッヒ・スカダー投資顧問（株）と合併
2005年 ドイチェ・アセット・マネジメント（株）とドイチェ信託銀行（株）の資産運用
サービス業務を統合
資産運用部門はドイチェ・アセット・マネジメント（株）に一本化

c . 大株主の状況（2014年12月末現在）

名 ド イ
称： チェ・
ア ジ
ア・パ
シ
フィッ
ク・
ホール
ディン
グス・
ピー
ティー
イー・
リ ミ
テッド
住 シンガ
所： ポール
048583
ワ ン
ラフル
ズ ク
ウェイ
#17-
10

所有株61,560

式： 株

所有比100%

率：

2 【投資方針】

(1) 【投資方針】

基本方針

当ファンドは、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

運用方法

a．投資対象

投資信託証券を主要投資対象とします。

b．投資態度

1) <円コース>

主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、実質的な保有外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行う投資信託証券に投資を行います。

<ユーロコース>

主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、原則として実質的にユーロ建資産を保有する投資信託証券に投資を行います。

<豪ドルコース、南アフリカランドコース、ブラジルリアルコース、資源国通貨コース>

主として、ユーロ建の高利回り社債等を主要投資対象とし、実質的な保有外貨建資産に対して原則として当該通貨売り、以下の通貨買いの為替取引を行う投資信託証券に投資を行います。

豪ドル コース	南アフリカランド コース	ブラジルリアル コース	資源国通貨 コース
豪ドル	南アフリカランド	ブラジルリアル	資源国通貨

2) 投資信託証券への投資にあたっては、本書作成時点において、原則として、以下の投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）に投資を行うことを基本とします。なお、指定投資信託証券は見直されることがあり、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れる場合や、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合があります。

ルクセンブルグ籍外国投資信託 DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ ）

ルクセンブルグ籍外国投資信託 DWS ユーロ・リザーブ・ファンド

（注）上記の を、ファンド毎に以下の通り読み替えます。

ファンド	円 コース	ユーロ コース	豪ドル コース	南アフリカランド コース	ブラジルリアル コース	資源国通貨 コース
読み替え	円	ユーロ	豪ドル	南アフリカランド	ブラジルリアル	資源国通貨

3) 各投資信託証券への投資割合は、市況動向及び資金動向等を勘案して決定するものとします。

4) 市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

c．銘柄選定の方針

指定投資信託証券については、その具体的な投資対象を重視して選定を行います。また、余裕資金の円滑な運用を目的とした選定も行います。

(2) 【投資対象】

投資の対象とする資産の種類

当ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

（イ）有価証券

（ロ）金銭債権

（ハ）約束手形

2. 次に掲げる特定資産以外の資産

（イ）為替手形

投資の対象とする有価証券等

- a. 委託会社は、信託金を、主として指定投資信託証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図するものとします。
1. コマーシャル・ペーパー及び短期社債等
 2. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、上記1.の証券の性質を有するもの
 3. 国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券及び社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券を除きます。）
 4. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
- なお、上記3.の証券を以下「公社債」といい、公社債に係る運用の指図は買現先取引及び債券貸借取引に限り行うことができるものとします。
- b. 委託会社は、信託金を、上記a.に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。以下同じ。）により運用することを指図することができます。
1. 預金
 2. 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
 3. コール・ローン
 4. 手形割引市場において売買される手形
- c. 上記a.の規定にかかわらず、当ファンドの設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は信託金を主として上記b.に掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

<各ファンドが投資する指定投資信託証券の概要>

ファンド名	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円/ユーロ/豪ドル/南アフリカランド/ブラジルリアル/資源国通貨）	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド
形態	ルクセンブルグ籍外国投資信託	ルクセンブルグ籍外国投資信託
表示通貨	円	ユーロ
運用の基本方針	主にユーロ建のハイ・イールド債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指します。なお、実質的に保有するユーロ建資産について、原則として円クラスのみ対円での為替ヘッジを行います。豪ドルクラス、南アフリカランドクラス、ブラジルリアルクラス、資源国通貨クラスでは各通貨クラスにおける通貨で為替取引を行います。また、ユーロクラスでは、原則として為替取引を行いません。	3ヵ月ユーロLIBIDをベンチマークとし、安定的な収益の確保を目指します。
主な投資対象	ユーロ建のハイ・イールド債券等	ユーロ建の短期金融商品等
主な投資制限	・株式への投資は行いません。 ・ユーロ建以外の資産へ投資を行う場合は、当該ユーロ以外の通貨売り、ユーロ買いの為替取引を行うことを原則とします。	・1発行体への投資の合計額はファンド資産の10%を超えません。
投資運用会社	ドイチェ・アセット&ウェルス・マネジメント・インベストメントGmbH	ドイチェ・アセット&ウェルス・マネジメント・インベストメントGmbH
管理会社	DWS インベストメントS.A.	DWS インベストメントS.A.

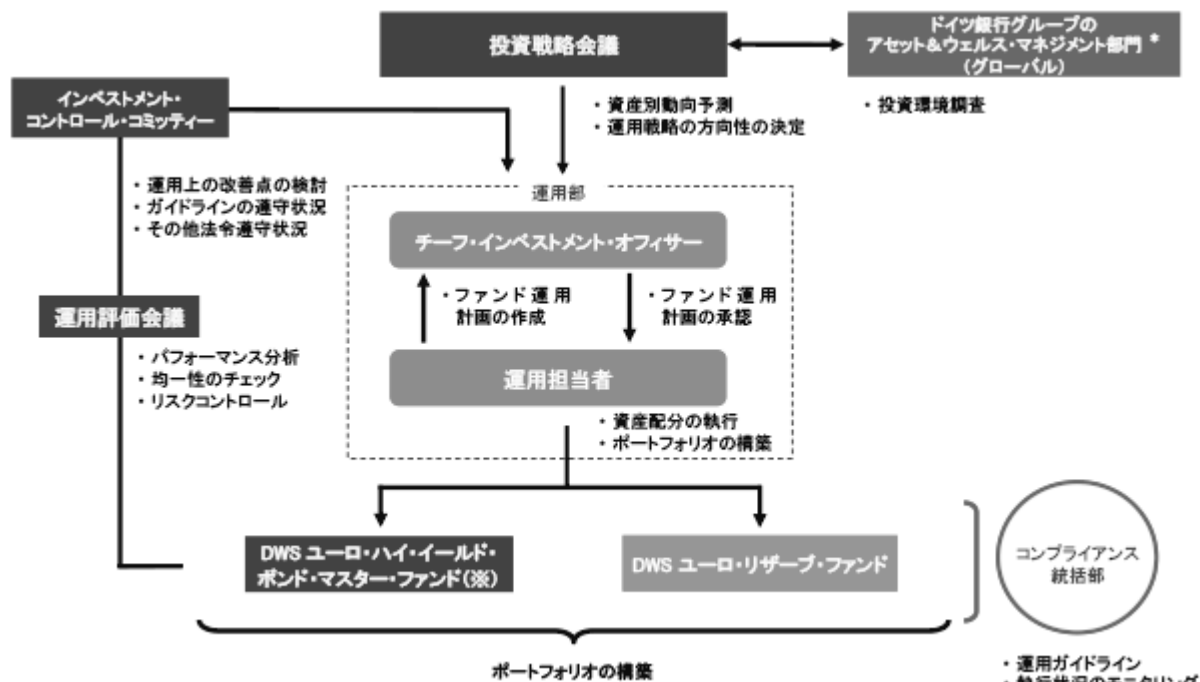
（注1）市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

（注2）指定投資信託証券は見直されることがあります。

(3) 【運用体制】

ファンドの運用体制は以下の通りです。

< 運用体制 >



* ドイツ銀行グループにおける資産運用ビジネスを担います。

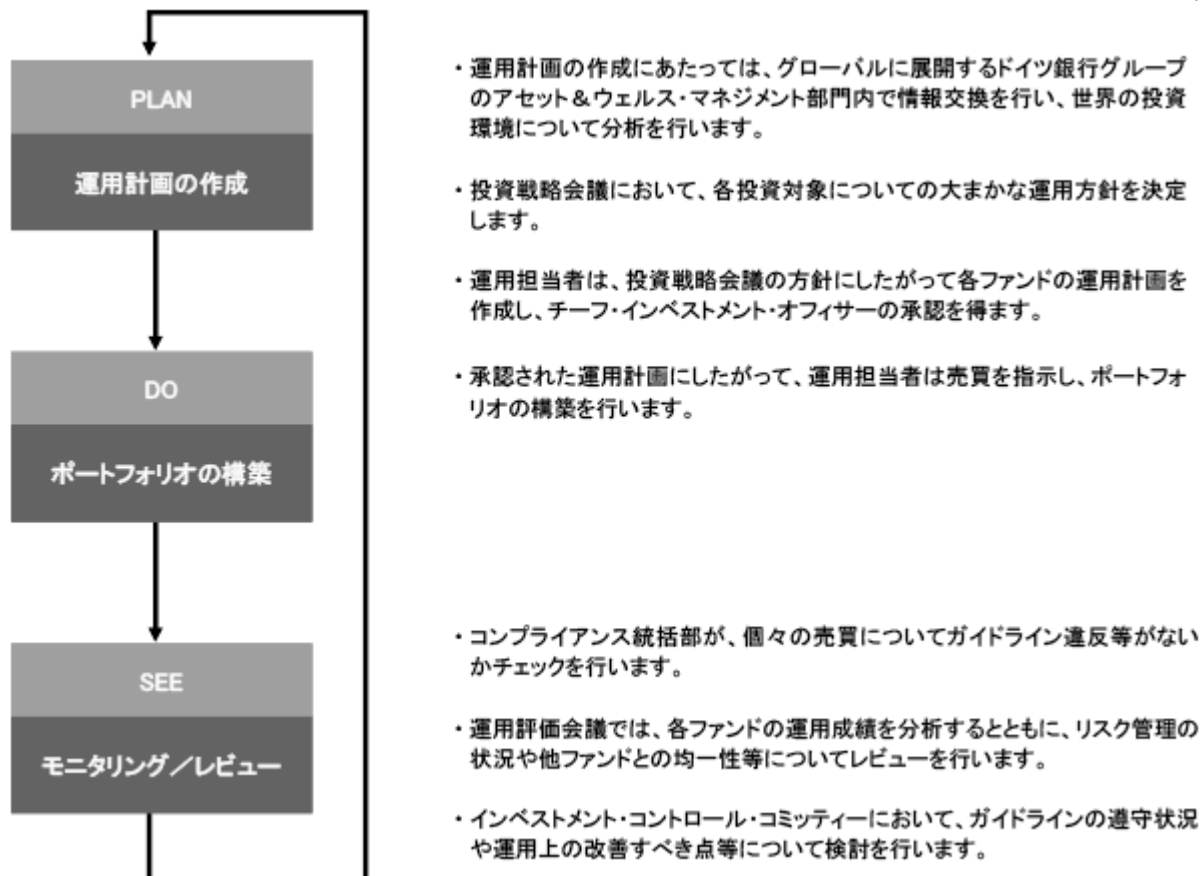
(注) 上記の を、ファンド毎に以下の通り読み替えます。

ファンド	円 コース	ユーロ コース	豪ドル コース	南アフリカランド コース	ブラジルリアル コース	資源国通貨 コース
読み替え	円	ユーロ	豪ドル	南アフリカランド	ブラジルリアル	資源国通貨

運用計画の作成、ポートフォリオの運用指図、法令等の遵守状況確認、運用評価及びリスク管理等当ファンドの一連の運用業務は、委託会社の運用部が行います。運用部における主な意思決定機関としては、投資戦略会議、運用評価会議、インベストメント・コントロール・コミッティーの3つがあります。これらはいずれもチーフ・インベストメント・オフィサーが主催し、各運用担当者及び必要に応じて関係部署の代表者が参加して行われます。

投資戦略会議では、投資環境予測や運用戦略の方向性の決定等、運用計画の作成に必要な基本的な事項を審議・決定します。運用評価会議では、超過収益率の要因分析や投資行動、均一性等を含めて審議します。インベストメント・コントロール・コミッティーでは、顧客勘定における運用リスクに係る諸問題等を把握し、必要な意思決定を行います。これらの運用体制については、社内規程及び運用部部内規程により定められています。

< 運用の流れ >



- ・運用計画の作成にあたっては、グローバルに展開するドイツ銀行グループのアセット&ウェルス・マネジメント部門内で情報交換を行い、世界の投資環境について分析を行います。

- ・投資戦略会議において、各投資対象についての大まかな運用方針を決定します。

- ・運用担当者は、投資戦略会議の方針にしたがって各ファンドの運用計画を作成し、チーフ・インベストメント・オフィサーの承認を得ます。

- ・承認された運用計画にしたがって、運用担当者は売買を指示し、ポートフォリオの構築を行います。

- ・コンプライアンス統括部が、個々の売買についてガイドライン違反等がないかチェックを行います。

- ・運用評価会議では、各ファンドの運用成績を分析するとともに、リスク管理の状況や他ファンドとの均一性等についてレビューを行います。

- ・インベストメント・コントロール・コミッティーにおいて、ガイドラインの遵守状況や運用上の改善すべき点等について検討を行います。

< 内部管理及びファンドに係る意思決定を監督する組織 >

インベストメント・コントロール・コミッティーは、その活動内容等をエグゼクティブ・コミッティーに報告します。エグゼクティブ・コミッティーは代表取締役が議長を務め、委託会社の業務運営、リスク管理及び内部統制等に係る諸問題を把握し、取締役会決議事項については取締役会に対する諮問機関であるとともに、それ以外の事項については代表取締役が行う意思決定を補佐する機関としての役割を担います。さらに、コンプライアンス統括部は、運用部から独立した立場でガイドライン遵守状況及び利益相反取引等の検証を行います。また、独立したモニタリング活動として、すべての部門から独立した監査部が内部統制の有効性及び業務プロセスの効率性を検証し、経営陣に対して問題点の指摘、改善点の提案を行います。上記各組織については、その内部管理機能の有効性の観点から十分な人員を確保しております。

< 委託会社等によるファンドの関係法人に対する管理体制 >

当ファンドの受託会社に対する管理については、証券投資信託契約に基づく受託会社としての業務の適切な遂行及び全体的なサービスレベルを委託会社の業務部においてモニターしております。

(注) 運用体制は、今後変更となる場合があります。

(4) 【分配方針】

毎決算時（原則として毎月24日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。

分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(注) 将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

(参考情報)

【収益分配金に関する留意事項】

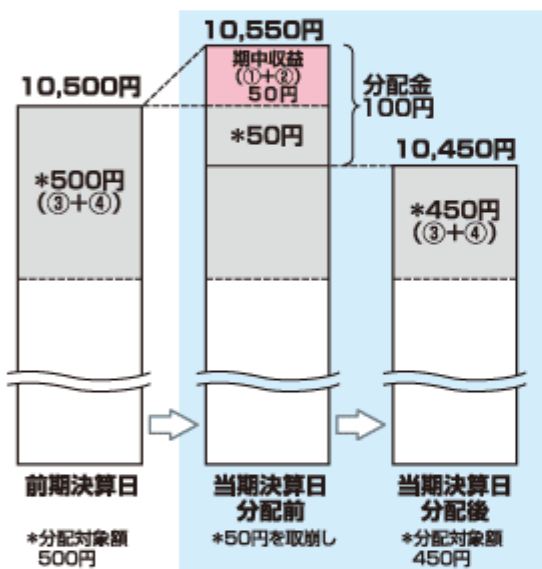
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



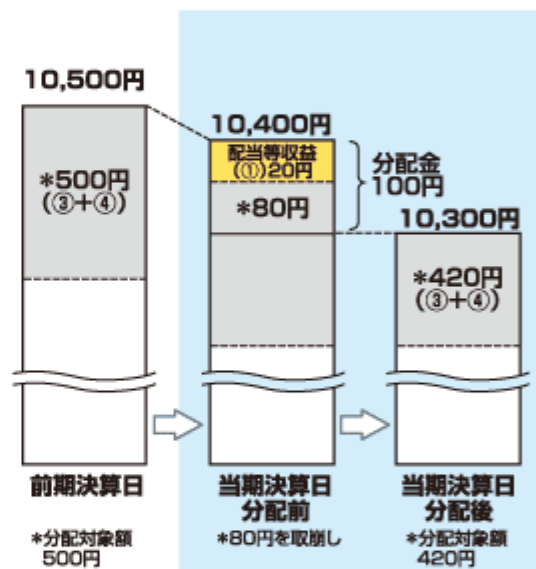
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

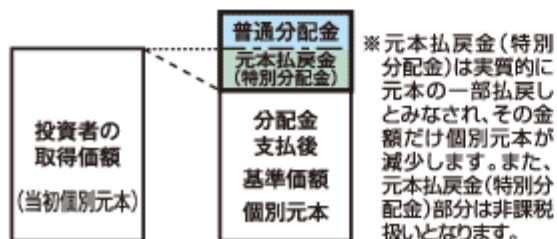


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益及び②経費控除後の評価益を含む売買益並びに③分配準備積立金及び④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

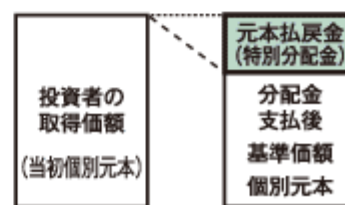
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの取得価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド取得後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの取得価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

(5) 【投資制限】

< 信託約款で定める投資制限 >

株式への投資制限

株式への直接投資は行いません。

投資信託証券への投資制限

投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

外貨建資産への投資制限

外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。

公社債の借入れ

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めるときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- b. 上記 a. の指図は、当該借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により、上記 b. の借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は、速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。
- d. 上記 a. の借入れに係る品借料は信託財産中から支弁します。

特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

外国為替予約取引の指図

委託会社は、信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引を指図することができます。

資金の借入れ

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用並びに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- b. 一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金及び有価証券等の償還金の合計額を限度とします。
- c. 収益分配金の再投資に係る借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。
- d. 借入金の利息は信託財産中より支弁します。

< 法令で定める投資制限 >

同一法人の発行する株式への投資制限（投信法第9条）

委託会社は、同一の法人の発行する株式について、次の a. の数が b. の数を超えることとなる場合には、当該株式を信託財産で取得することを受託会社に指図しないものとします。

- a. 委託会社が運用の指図を行うすべてのファンドで保有する当該株式に係る議決権の総数
- b. 当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数

デリバティブ取引に係る投資制限（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号）

委託会社は、信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券、新投資口予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書に係る取引及び選択権付債券売買を含みます。）を行い、または継続することを受託会社に指図しないものとします。

3【投資リスク】

(1) 当ファンドの主なリスク及び留意点

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて債券等の値動きのある証券（外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではありません。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

当ファンドの基準価額は、主に以下のリスクにより変動し、損失を生じるおそれがあります。

なお、当ファンドは預貯金と異なります。

信用リスク

債券及びコマーシャル・ペーパー等短期金融商品の価格は、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化により、下落することがあります。特に、デフォルト（債務不履行）が生じた場合または予想される場合には、当該商品の価格は大きく下落（価格がゼロとなることもあります。）し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、当ファンドが実質的に主要投資対象とするハイ・イールド債券等の格付の低い債券は、格付の高い債券と比較して、一般的に信用度が低く、発行者の信用状況等の変化により短期間に価格が大きく変動する可能性やデフォルトの可能性が高いと考えられます。

金利変動リスク

債券価格は、通常、金利が上昇した場合には下落傾向となり、金利が低下した場合には上昇傾向となります。したがって、金利が上昇した場合には、保有している債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、当ファンドが実質的に主要投資対象とするハイ・イールド債券の価格は、こうした金利変動や投資環境の変化等の影響を大きく受け、短期間に大幅に変動する可能性があります。

為替変動リスク

<円コース>

ファンドの実質的な保有外貨建資産（ユーロ建資産）について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に対円での為替ヘッジを行うことができないため、ユーロの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。なお、円金利がユーロ金利より低い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかり、基準価額の変動要因となることがあります。

<ユーロコース>

ファンドの実質的な保有外貨建資産（ユーロ建資産）について、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、ユーロの対円での為替変動の影響を受けます。したがって、為替相場がユーロに対して円高になった場合は、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

<豪ドルコース/南アフリカランドコース/ブラジルリアルコース/資源国通貨コース>

各ファンドの実質的な保有外貨建資産（ユーロ建資産）について、原則として対円での為替ヘッジを行わず、各コースにおける通貨での為替取引（ユーロ売り、当該各通貨買い）を行うため、各ファンドは当該各通貨の対円での為替変動の影響を受けます。したがって、為替相場が当該各通貨に対して円高になった場合は、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の通貨については、政治、経済情勢の変化等による為替相場の変動がより大きくなる可能性があります。また、実質的な保有外貨建資産額と為替取引額を完全に一致させることができないため、ユーロの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。なお、当該各通貨の金利がユーロ金利より低い場合、これらの金利差相当分の為替取引によるコストがかかり、基準価額の変動要因となることがあります。

カントリーリスク

投資対象国（為替取引対象国を含みます。）の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合等には、有価証券や通貨等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

流動性リスク

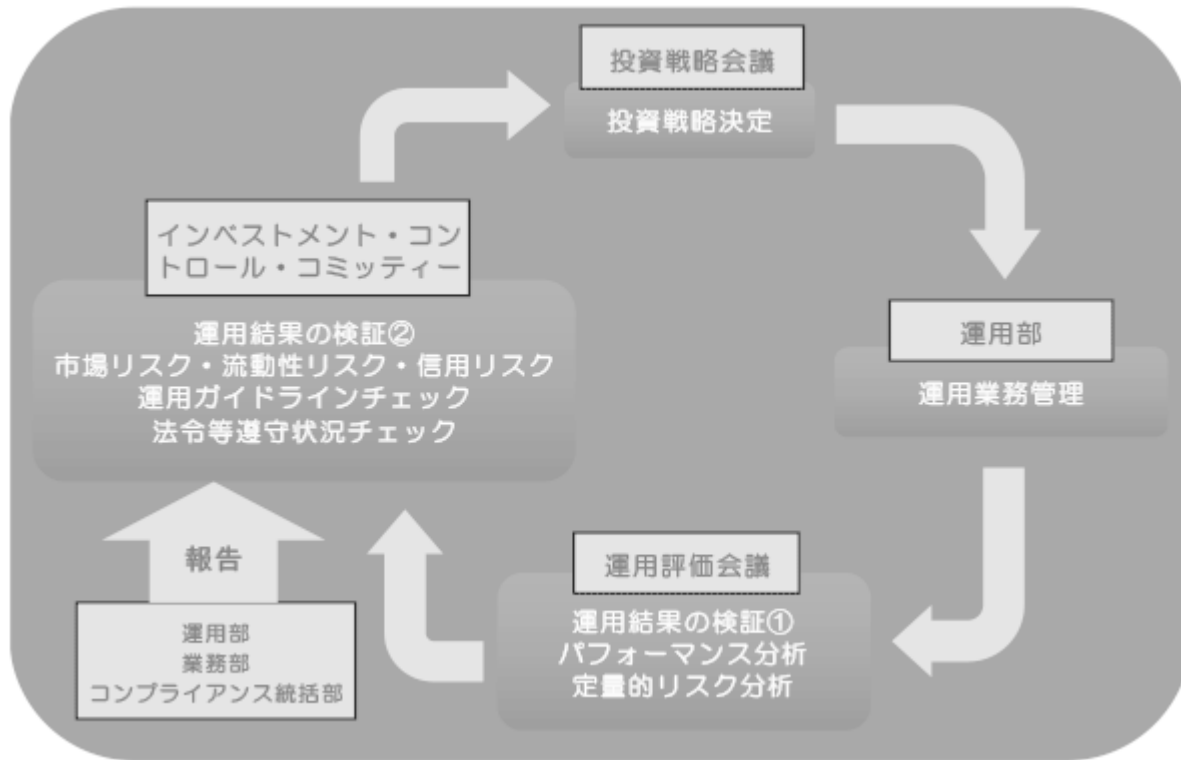
急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、投資対象とする投資信託証券において機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

その他の留意点

- ・一部の新興国の通貨(特に為替規制を行っている通貨)については、ノン・デリバブル・フォワード(NDF)という取引手法を用いて為替取引を行う場合があります。NDFは為替予約取引の一種ですが、当該通貨を用いた受渡しは行われず、ユーロ等の主要通貨によって差金決済されます。当該新興国の為替市場における通貨の値動きは、内外の為替取引の自由化を実施していないことから、価格間の裁定が働きにくい状況となっており、NDFにおける通貨の値動きと実際の為替市場の値動きは一致せず、大きく乖離する場合があります。この結果、当該通貨コースの基準価額の値動きが、実際の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。なお、当ファンドにおいては、「ブラジルリアルコース」及び「資源国通貨コース」でNDFによる為替取引を行っております。(2014年12月末現在)
- ・各ファンドの資産規模に対して大量の追加設定(ファンドへの資金流入)または大量の一部解約(ファンドからの資金流出)があった場合、基準価額の変動が市場動向と大きく異なる可能性があります。また、大量の追加設定があった場合、各ファンドが投資する投資信託証券においても原則として迅速に有価証券の組入れを行います。買付予定銘柄によっては流動性等の観点から買付終了までに時間がかかることがあります。同様に大量の解約があった場合にも解約資金を手当てするため保有証券を大量に売却しなければならないことがあります。その結果、基準価額の変動が市場動向と大きく異なる可能性があります。
- ・委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等が発生した場合、システムの誤作動等により決済または基準価額の計算が不能となった場合、計算された基準価額の正確性に合理的な疑いが生じた場合等を含みます。)があると委託会社が判断した場合は、取得申込み・解約請求の受付を中止すること及び既に受付けた取得申込み・解約請求の受付を取消することができます。
- ・当ファンドの資産規模によっては、投資方針に沿った運用が効率的にできない場合があります。その場合には、適切な資産規模の場合と比較して収益性が劣る可能性があります。
- ・各ファンドは、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、指定投資信託証券(DWS ユーロ・リザーブ・ファンドを除きます。)が償還することとなる場合等に必要な手続き等を経て繰上償還されることがあります。
- ・資金動向、市況動向その他の要因により、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ・当ファンドは、原則として以下の日は取得申込み及び解約請求の受付を行いません。
フランクフルトの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する日
- ・法令・税制・会計制度等は今後変更される可能性もあります。
- ・投資対象国の政府当局による、海外からの投資規制や課徴的な税制、海外からの送金規制等の様々な規制の導入や政策変更等により、投資対象国の証券への投資が悪影響を被る可能性があります。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

(2) 投資リスクに対する管理体制

委託会社のリスク管理体制は以下の通りです。



委託会社では2つの検証機能を有しています。1つは運用評価会議で、ここではパフォーマンス分析及び定量的リスク分析が行われます。もう1つはインベストメント・コントロール・コミッティーで、ここでは運用部、業務部、コンプライアンス統括部から市場リスク、流動性リスク、信用リスク、運用ガイドライン・法令等遵守状況等様々なリスク管理状況が報告され、検証が行われます。このコミッティーで議論された内容は、取締役会から一部権限を委譲されたエグゼクティブ・コミッティーに報告され、委託会社として必要な対策を指示する体制がとられています。運用部ではこうしたリスク管理の結果も考慮し、次の投資戦略を決定し、日々の運用業務を行っております。

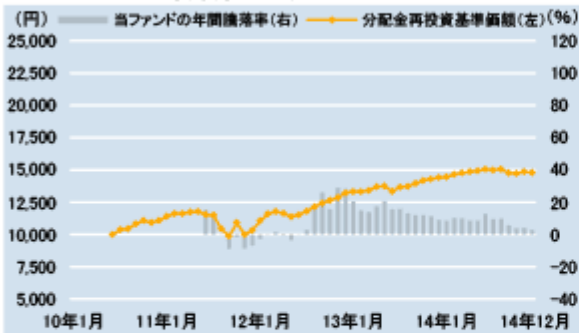
（注）投資リスクに対する管理体制は、今後変更となる場合があります。

(参考情報)

当ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移 ※1, ※2

(2010年1月～2014年12月)

<円コース（毎月分配型）>



<ユーロコース（毎月分配型）>



<豪ドルコース（毎月分配型）>



<南アフリカランドコース（毎月分配型）>



当ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較 ※1, ※3, ※4

(2010年1月～2014年12月)

<円コース（毎月分配型）>



<ユーロコース（毎月分配型）>



<豪ドルコース（毎月分配型）>



<南アフリカランドコース（毎月分配型）>



<ブラジルリアルコース（毎月分配型）>



<ブラジルリアルコース（毎月分配型）>



<資源国通貨コース（毎月分配型）>



<資源国通貨コース（毎月分配型）>



- ※1 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。なお、当ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
当ファンドの設定日は2010年6月30日であるため、当ファンドの年間騰落率は2011年6月以降のものとなります。
- ※2 分配金再投資基準価額の推移は、各月末の値を記載しております。なお、分配金（税引前）を再投資したものと計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
当ファンドの設定日は2010年6月30日であるため、2010年6月末以降を表示しています。
- ※3 2010年1月～2014年12月の5年間の年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、当ファンドの設定日は2010年6月30日であるため、当ファンドの年間騰落率は2011年6月以降のものとなります。したがって、当ファンドと代表的な資産クラスとで比較対象期間が異なります。
- ※4 各資産クラスの指数は以下のとおりです。
日本株：TOPIX（配当込み）
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（税引前配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引前配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）
（注1）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注2）先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- ・ TOPIX（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- ・ MSCIコクサイ・インデックス及びMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIインク（以下「MSCI」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はNOMURA-BPIを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- ・ シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLC が設計、算出、公表する債券指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は Citigroup Index LLC に帰属します。また、Citigroup Index LLC は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co. の子会社である J.P. Morgan Securities LLC（以下「J.P. Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P. Morgan は、JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P. Morgan は、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に3.24%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細については、販売会社にお問合せ下さい。

収益分配金を再投資する場合の申込手数料は無手数料とします。

（注）申込手数料は、販売会社による商品及び関連する投資環境の説明や情報提供等並びに購入受付事務等の対価です。

(2)【換金（解約）手数料】

換金（解約）に係る手数料はありません。

ただし、換金（解約）時に、一部解約の実行の請求を受けた日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額（当該基準価額に0.3%を乗じて得た額）が差し引かれます。

「信託財産留保額」とは、引続き受益権を保有する受益者と解約者との公平性の確保やファンド残高の安定的な推移を図るため、信託満了前の解約に対し解約者から徴収する一定の金額をいい、信託財産に繰り入れられます。

(3)【信託報酬等】

各ファンドの信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、各ファンドの信託財産の純資産総額に年率1.161%（税抜1.075%）を乗じて得た額とし、その配分及び役務の内容は以下の通りです。

	配分（年率、税抜）	役務の内容
委託会社	0.450%	委託した資金の運用等の対価
販売会社	0.600%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	0.025%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価

（注）委託会社及び受託会社の報酬は、ファンドから支払われます。信託報酬の販売会社への配分は、販売会社が行うファンドの募集の取扱い等に関する業務に対する代行手数料であり、ファンドから委託会社に支払われた後、委託会社より販売会社に対して支払われます。

なお、この他に指定投資信託証券に関しても、以下の信託報酬相当額がかかります。

指定投資信託証券の名称	信託報酬相当額（年率）
DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（注1）	実質0.45%以内（注2）
DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	0.30%（本書作成日現在）

（注1）上記の を、ファンド毎に以下の通り読み替えます。

ファンド	円 コース	ユーロ コース	豪ドル コース	南アフリカランド コース	ブラジルリアル コース	資源国通貨 コース
読み替え	円	ユーロ	豪ドル	南アフリカランド	ブラジルリアル	資源国通貨

（注2）当該指定投資信託証券の信託報酬（運用報酬等）の一部（年率0.90%以内のうち、年率0.45%）は、各ファンドに対して払い戻されるため、実質的な信託報酬は年率0.45%以内となります。

したがって、各ファンドの信託報酬に指定投資信託証券の信託報酬相当額を加算した実質的な信託報酬は、本書作成時点において、各ファンドの純資産総額に対し、年率1.611%程度（税込）となります。なお、この実質的な信託報酬は、あくまでも概算値であり、各ファンドにおける実際の指定投資信託証券の組入状況等によっては変動することがあります。また、指定投資信託証券では、組入有価証券の売買委託手数料、管理報酬、保管報酬、為替取引または対円での為替ヘッジに係る報酬、租税等が別途かかります。

上記 の信託報酬並びに当該信託報酬に係る消費税及び地方消費税に相当する金額（以下「消費税等相当額」といいます。）は、毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払うものとします。

(4)【その他の手数料等】

各ファンドは、以下の費用を受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（監査法人へのファンドの監査に係る費用、法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用等を含みます。）及び受託会社の立替えた立替金の利息（以下「諸費用」といいます。）は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。

委託会社は、上記 に定める諸費用の支払いを信託財産のために行い、支払金額の支弁を信託財産から受けることができます。この場合、委託会社は、現に信託財産のために支払った金額の支弁を受けるときに、あらかじめ受領する金額に上限を付すことができます。また、委託会社は実際に支払う金額の支弁を受ける代わりに、かかる諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積もったうえで、実際の費用額にかかわらず固定率または固定金額にて信託財産からその支弁を受けることができます。

上記 において諸費用の上限、固定率または固定金額を定める場合、委託会社は、信託財産の規模等を考慮して、期中にあらかじめ委託会社が定めた範囲内でかかる上限、固定率または固定金額を変更することができます。

上記 において諸費用の固定率または固定金額を定める場合、かかる諸費用の額は、各ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に応じて計算し、毎年5月及び11月に到来する計算期末または信託終了のときに消費税等相当額とともに信託財産中から支弁します。

なお、本書作成時点において、上記 により定める上限は、信託財産の純資産総額に年率0.10%を乗じて得た額とします。

信託財産における組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等の証券取引に伴う手数料・税金は、信託財産が負担します。この他に、売買委託手数料等に係る消費税等相当額及び資産を外国で保管する場合の費用等についても信託財産が負担するものとします。

(5) 【課税上の取扱い】

日本の居住者（法人を含みます。）である受益者に対する課税については、以下の取扱いとなります。

個別元本方式について

追加型株式投資信託については、受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料及び申込手数料に係る消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、原則として、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。

ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合には販売会社毎に、個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数口座で同一ファンドを取得する場合は当該口座毎に、「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の両コースで取得する場合はコース別に、個別元本の算出が行われる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については下記「収益分配金について」をご参照下さい。）

収益分配金について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者の元本の一部払戻しに相当する部分）の区別があります。

受益者が収益分配金を受け取る際、（ ）当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、（ ）当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

課税の取扱いについて

以下の内容は平成26年12月末現在の税法に基づくものであり、税法が改正された場合等には内容が変更されることがあります。

a. 個人の受益者に対する課税

収益分配金の取扱い

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、原則として20.315%（所得税15.315%及び地方税5%）の税率による源泉徴収が行われ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行い、総合課税または申告分離課税を選択することもできます。

一部解約金、償還金の取扱い

一部解約時及び償還時の差益については譲渡所得となり、原則として20.315%（所得税15.315%及び地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。なお、特定口座において「源泉徴収あり」を選択した場合には、20.315%（所得税15.315%及び地方税5%）の税率による源泉徴収が行われます。

収益分配金のうち、所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。また、配当控除の適用はありません。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

*少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、平成26年1月1日以降の非課税制度です。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方となります。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

b. 法人の受益者に対する課税

収益分配金、一部解約金、償還金の取扱い

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金並びに一部解約時及び償還時の個別元本超過額については、15.315%（所得税のみ）の税率で源泉徴収され、法人の受取額となります。なお、地方税の源泉徴収はありません。

収益分配金のうち、所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。また、益金不算入制度は適用されません。

（注1）上記のほか、販売会社によっては、受益権を買い取る場合があります。買取請求時の課税の取扱いについて、詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

（注2）課税上の取扱いの詳細については、税務専門家または税務署にご確認下さい。

5【運用状況】

(1)【投資状況】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産の種類	地域別（国名）	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ルクセンブルグ	33,661,967,445	98.21
コール・ローン・その他の資産（負債控除後）		612,457,603	1.79
合計（純資産総額）		34,274,425,048	100.00

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産の種類	地域別（国名）	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ルクセンブルグ	5,734,784,407	98.38
コール・ローン・その他の資産（負債控除後）		94,484,272	1.62
合計（純資産総額）		5,829,268,679	100.00

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産の種類	地域別（国名）	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ルクセンブルグ	41,531,192,222	97.86
コール・ローン・その他の資産（負債控除後）		909,290,885	2.14
合計（純資産総額）		42,440,483,107	100.00

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産の種類	地域別（国名）	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ルクセンブルグ	5,649,514,440	97.53
コール・ローン・その他の資産（負債控除後）		143,099,660	2.47
合計（純資産総額）		5,792,614,100	100.00

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産の種類	地域別（国名）	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ルクセンブルグ	165,638,612,497	98.08
コール・ローン・その他の資産（負債控除後）		3,241,361,136	1.92
合計（純資産総額）		168,879,973,633	100.00

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産の種類	地域別（国名）	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ルクセンブルグ	8,470,418,748	98.30
コール・ローン・その他の資産（負債控除後）		146,372,118	1.70
合計（純資産総額）		8,616,790,866	100.00

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

<評価額(全銘柄)>

（平成26年12月30日現在）

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ルクセンブルグ	投資 信託 受益 証券	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円）	4,319,509.4626	7,789.99	33,648,971,829	7,793	33,661,937,242	98.21
2	ルクセンブルグ	投資 信託 受益 証券	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	1.5288	19,756.01	30,203	19,756.01	30,203	0.00

<種類別投資比率>

（平成26年12月30日現在）

種類	投資比率（%）
投資信託受益証券	98.21
合計	98.21

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

<評価額(全銘柄)>

（平成26年12月30日現在）

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ルクセンブルグ	投資 信託 受益 証券	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ）	502,739.9145	11,395.99	5,729,221,880	11,407	5,734,754,204	98.38
2	ルクセンブルグ	投資 信託 受益 証券	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	1.5288	19,756.01	30,203	19,756.01	30,203	0.00

<種類別投資比率>

（平成26年12月30日現在）

種類	投資比率（%）
投資信託受益証券	98.38
合計	98.38

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

<評価額(全銘柄)>

（平成26年12月30日現在）

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(豪ドル)	3,227,978.0073	12,811.98	41,356,791,435	12,866	41,531,165,041	97.86
2	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	1.3759	19,755.06	27,181	19,755.06	27,181	0.00

<種類別投資比率>

(平成26年12月30日現在)

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	97.86
合計	97.86

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(南アフリカランドコース)(毎月分配型)

<評価額(全銘柄)>

(平成26年12月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(南アフリカランド)	901,469.1067	6,253.99	5,637,784,160	6,267	5,649,506,891	97.53
2	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	0.3822	19,751.43	7,549	19,751.43	7,549	0.00

<種類別投資比率>

(平成26年12月30日現在)

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	97.53
合計	97.53

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(ブラジルリアルコース)(毎月分配型)

<評価額(全銘柄)>

(平成26年12月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ブラジルリアル)	27,400,898.4737	5,998.02	164,351,177,390	6,045	165,638,431,273	98.08

2	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	9.1729	19,756.45	181,224	19,756.45	181,224	0.00
---	---------	----------	-------------------	--------	-----------	---------	-----------	---------	------

<種類別投資比率>

(平成26年12月30日現在)

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	98.08
合計	98.08

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

<評価額(全銘柄)>

(平成26年12月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は額面総額	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（資源国通貨）	1,016,485.4728	8,294	8,430,734,521	8,333	8,470,373,444	98.30
2	ルクセンブルグ	投資信託受益証券	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	2.2932	19,755.79	45,304	19,755.79	45,304	0.00

<種類別投資比率>

(平成26年12月30日現在)

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	98.30
合計	98.30

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄及び種類別の評価金額の比率をいいます。

【投資不動産物件】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

計算期間末または各月末	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1特定期間末（平成22年11月24日）	1,314	1,328	1.0703	1.0813
第2特定期間末（平成23年 5月24日）	6,369	6,434	1.0808	1.0918
第3特定期間末（平成23年11月24日）	3,771	3,819	0.8630	0.8740
第4特定期間末（平成24年 5月24日）	3,842	3,889	0.9062	0.9172
第5特定期間末（平成24年11月26日）	4,953	5,005	0.9486	0.9586
第6特定期間末（平成25年 5月24日）	15,805	15,970	0.9596	0.9696
第7特定期間末（平成25年11月25日）	25,597	25,872	0.9304	0.9404
第8特定期間末（平成26年 5月26日）	39,884	40,321	0.9121	0.9221
第9特定期間末（平成26年11月25日）	35,833	36,257	0.8463	0.8563
平成25年12月末日	30,919		0.9303	
平成26年 1月末日	33,428		0.9238	
2月末日	34,891		0.9265	
3月末日	37,101		0.9229	
4月末日	39,300		0.9192	
5月末日	40,882		0.9139	
6月末日	43,066		0.9106	
7月末日	42,918		0.8973	
8月末日	42,277		0.8914	
9月末日	39,620		0.8637	
10月末日	37,700		0.8516	
11月末日	35,846		0.8496	
12月末日	34,274		0.8360	

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

計算期間末または各月末	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1特定期間末（平成22年11月24日）	317	321	1.1014	1.1144
第2特定期間末（平成23年 5月24日）	1,456	1,473	1.1394	1.1524
第3特定期間末（平成23年11月24日）	778	791	0.8116	0.8246
第4特定期間末（平成24年 5月24日）	926	941	0.8098	0.8228

第5特定期間末	(平成24年11月26日)	362	366	0.8816	0.8926
第6特定期間末	(平成25年 5月24日)	1,559	1,574	1.0896	1.1006
第7特定期間末	(平成25年11月25日)	3,932	3,971	1.1021	1.1131
第8特定期間末	(平成26年 5月26日)	6,639	6,705	1.1053	1.1163
第9特定期間末	(平成26年11月25日)	6,183	6,245	1.0924	1.1034
	平成25年12月末日	5,387		1.1662	
	平成26年 1月末日	5,652		1.1169	
	2月末日	5,841		1.1250	
	3月末日	6,218		1.1341	
	4月末日	6,445		1.1360	
	5月末日	6,728		1.1033	
	6月末日	6,769		1.0995	
	7月末日	6,870		1.0775	
	8月末日	6,761		1.0663	
	9月末日	6,403		1.0510	
	10月末日	6,103		1.0270	
	11月末日	6,182		1.0955	
	12月末日	5,829		1.0814	

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

計算期間末または各月末	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）		
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）	
第1特定期間末	(平成22年11月24日)	2,208	2,242	1.1636	1.1816
第2特定期間末	(平成23年 5月24日)	11,635	11,804	1.2341	1.2521
第3特定期間末	(平成23年11月24日)	9,482	9,684	0.8434	0.8614
第4特定期間末	(平成24年 5月24日)	8,116	8,278	0.8984	0.9164
第5特定期間末	(平成24年11月26日)	11,747	11,932	1.0146	1.0306
第6特定期間末	(平成25年 5月24日)	8,434	8,549	1.1733	1.1893
第7特定期間末	(平成25年11月25日)	12,481	12,670	1.0533	1.0693
第8特定期間末	(平成26年 5月26日)	30,267	30,737	1.0324	1.0484
第9特定期間末	(平成26年11月25日)	45,083	45,788	1.0238	1.0398
	平成25年12月末日	17,252		1.0606	
	平成26年 1月末日	19,139		1.0130	
	2月末日	21,685		1.0249	
	3月末日	25,510		1.0598	
	4月末日	27,779		1.0552	
	5月末日	32,310		1.0321	
	6月末日	37,992		1.0425	
	7月末日	41,356		1.0294	
	8月末日	43,353		1.0327	
	9月末日	43,000		0.9814	
	10月末日	43,100		0.9719	
	11月末日	44,663		1.0130	
	12月末日	42,440		0.9695	

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）

計算期間末または各月末	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1特定期間末（平成22年11月24日）	50	51	1.0912	1.1092
第2特定期間末（平成23年 5月24日）	1,108	1,127	1.0690	1.0870
第3特定期間末（平成23年11月24日）	715	735	0.6425	0.6605
第4特定期間末（平成24年 5月24日）	2,716	2,790	0.6629	0.6809
第5特定期間末（平成24年11月26日）	2,174	2,225	0.6423	0.6573
第6特定期間末（平成25年 5月24日）	4,670	4,768	0.7142	0.7292
第7特定期間末（平成25年11月25日）	6,373	6,528	0.6190	0.6340
第8特定期間末（平成26年 5月26日）	6,469	6,604	0.5757	0.5877
第9特定期間末（平成26年11月25日）	6,304	6,439	0.5636	0.5756
平成25年12月末日	6,420		0.6156	
平成26年 1月末日	6,036		0.5576	
2月末日	5,994		0.5726	
3月末日	6,087		0.5795	
4月末日	6,261		0.5754	
5月末日	6,397		0.5681	
6月末日	6,454		0.5542	
7月末日	6,523		0.5476	
8月末日	6,420		0.5466	
9月末日	6,203		0.5238	
10月末日	6,034		0.5304	
11月末日	6,307		0.5632	
12月末日	5,792		0.5335	

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

計算期間末または各月末	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1特定期間末（平成22年11月24日）	12,813	13,059	1.0403	1.0603
第2特定期間末（平成23年 5月24日）	96,312	98,102	1.0765	1.0965
第3特定期間末（平成23年11月24日）	74,400	76,564	0.6875	0.7075
第4特定期間末（平成24年 5月24日）	64,311	66,360	0.6278	0.6478
第5特定期間末（平成24年11月26日）	95,425	97,872	0.6238	0.6398
第6特定期間末（平成25年 5月24日）	164,815	168,321	0.7522	0.7682
第7特定期間末（平成25年11月25日）	211,513	216,997	0.6172	0.6332
第8特定期間末（平成26年 5月26日）	216,526	221,112	0.6137	0.6267
第9特定期間末（平成26年11月25日）	180,060	184,167	0.5700	0.5830
平成25年12月末日	227,804		0.6188	
平成26年 1月末日	223,535		0.5830	
2月末日	225,661		0.5981	
3月末日	229,315		0.6187	
4月末日	223,410		0.6258	
5月末日	214,799		0.6095	
6月末日	210,701		0.6144	
7月末日	202,588		0.6003	
8月末日	197,288		0.5990	
9月末日	182,049		0.5597	

10月末日	177,332		0.5594	
11月末日	181,898		0.5763	
12月末日	168,879		0.5403	

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

計算期間末または各月末	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1特定期間末（平成22年11月24日）	4,078	4,145	1.0947	1.1127
第2特定期間末（平成23年 5月24日）	18,978	19,280	1.1309	1.1489
第3特定期間末（平成23年11月24日）	11,547	11,832	0.7281	0.7461
第4特定期間末（平成24年 5月24日）	9,173	9,397	0.7368	0.7548
第5特定期間末（平成24年11月26日）	7,665	7,815	0.7678	0.7828
第6特定期間末（平成25年 5月24日）	10,306	10,477	0.9008	0.9158
第7特定期間末（平成25年11月25日）	10,673	10,876	0.7874	0.8024
第8特定期間末（平成26年 5月26日）	10,373	10,548	0.7739	0.7869
第9特定期間末（平成26年11月25日）	9,322	9,481	0.7608	0.7738
平成25年12月末日	11,421		0.7909	
平成26年 1月末日	10,906		0.7408	
2月末日	11,032		0.7584	
3月末日	11,087		0.7807	
4月末日	10,724		0.7826	
5月末日	10,377		0.7686	
6月末日	10,247		0.7690	
7月末日	9,901		0.7588	
8月末日	9,719		0.7607	
9月末日	9,048		0.7228	
10月末日	8,824		0.7262	
11月末日	9,321		0.7608	
12月末日	8,616		0.7230	

（注）純資産総額は、百万円未満を切捨てしております。

【分配の推移】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

		1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	0.0310
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	0.0660
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	0.0660
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	0.0660
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	0.0640
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	0.0600
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	0.0600
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	0.0600
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	0.0600

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

		1口当たりの分配金（円）
--	--	--------------

第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	0.0350
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	0.0780
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	0.0780
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	0.0780
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	0.0740
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	0.0660
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	0.0660
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	0.0660
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	0.0660

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

		1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	0.0485
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	0.1080
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	0.1080
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	0.1080
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	0.1040
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	0.0960
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	0.0960
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	0.0960
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	0.0960

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）

		1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	0.0500
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	0.1080
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	0.1080
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	0.1080
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	0.1020
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	0.0900
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	0.0900
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	0.0750
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	0.0720

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

		1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	0.0570
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	0.1200
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	0.1200
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	0.1200
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	0.1120
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	0.0960
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	0.0960

第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	0.0810
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	0.0780

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

		1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	0.0505
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	0.1080
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	0.1080
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	0.1080
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	0.1020
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	0.0900
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	0.0900
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	0.0800
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	0.0780

【収益率の推移】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

		収益率（％）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	10.1
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	7.1
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	14.0
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	12.7
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	11.7
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	7.5
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	3.2
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	4.5
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	0.6

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

		収益率（％）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	13.6
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	10.5
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	21.9
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	9.4
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	18.0
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	31.1
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	7.2
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	6.3
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	4.8

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

		収益率（％）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	21.2

第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	15.3
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	22.9
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	19.3
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	24.5
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	25.1
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	2.0
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	7.1
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	8.5

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）

		収益率（％）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	14.1
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	7.9
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	29.8
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	20.0
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	12.3
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	25.2
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	0.7
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	5.1
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	10.4

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

		収益率（％）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	9.7
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	15.0
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	25.0
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	8.8
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	17.2
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	36.0
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	5.2
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	12.6
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	5.6

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

		収益率（％）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	14.5
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	13.2
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	26.1
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	16.0
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	18.1
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	29.0
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	2.6
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	8.4

第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	8.4
--------	-------------------------	-----

(注) 収益率は、小数第2位を四捨五入しております。

(4)【設定及び解約の実績】

下記期間中の設定及び解約の実績は次の通りです。

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(円コース)(毎月分配型)

		設定口数(口)	解約口数(口)
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	1,411,426,355	183,001,791
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	5,000,234,236	334,859,021
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	1,833,587,128	3,357,215,349
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	2,969,593,226	3,099,594,940
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	4,439,027,099	3,457,697,761
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	13,236,673,524	1,987,072,311
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	14,926,226,995	3,885,360,050
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	23,327,816,667	7,111,704,054
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	11,298,316,758	12,685,487,656

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(ユーロコース)(毎月分配型)

		設定口数(口)	解約口数(口)
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	629,538,238	340,975,405
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	1,287,379,229	297,268,767
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	359,732,832	679,126,035
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	883,579,817	698,671,090
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	147,092,909	880,517,504
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	1,602,013,031	581,748,988
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	2,691,315,742	554,582,671
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	3,795,541,341	1,355,885,901
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	1,172,609,176	1,519,640,193

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(豪ドルコース)(毎月分配型)

		設定口数(口)	解約口数(口)
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	2,186,401,864	288,760,977
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	9,776,250,105	2,245,910,392
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	5,789,671,628	3,974,865,839
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	5,055,071,048	7,263,998,988
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	8,414,346,284	5,870,004,600
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	4,447,722,943	8,836,978,971
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	6,039,675,731	1,379,068,389
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	20,519,773,214	3,050,314,063
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	20,633,916,256	5,916,622,495

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(南アフリカランドコース)(毎月分配型)

		設定口数(口)	解約口数(口)

第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	103,504,813	56,975,032
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	1,151,489,234	160,840,758
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	540,940,987	465,080,686
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	3,671,786,493	686,735,854
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	1,745,907,138	2,458,703,227
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	5,410,962,988	2,256,396,398
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	5,248,098,330	1,490,659,449
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	3,387,850,915	2,447,375,239
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	2,951,346,969	3,002,838,716

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

		設定口数（口）	解約口数（口）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	13,302,382,495	985,003,364
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	85,558,987,718	8,404,879,109
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	46,469,353,247	27,716,502,529
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	36,695,154,878	42,474,628,801
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	76,627,924,288	26,108,546,388
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	133,543,428,523	67,401,659,209
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	155,441,957,788	31,829,586,957
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	104,784,009,605	94,673,171,389
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	59,052,415,661	95,960,865,217

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）

		設定口数（口）	解約口数（口）
第1特定期間	平成22年 6月30日～平成22年11月24日	4,299,644,154	573,841,717
第2特定期間	平成22年11月25日～平成23年 5月24日	16,446,194,047	3,390,151,586
第3特定期間	平成23年 5月25日～平成23年11月24日	5,574,284,517	6,497,414,629
第4特定期間	平成23年11月25日～平成24年 5月24日	5,343,076,508	8,751,902,789
第5特定期間	平成24年 5月25日～平成24年11月26日	3,265,306,227	5,731,665,047
第6特定期間	平成24年11月27日～平成25年 5月24日	7,372,951,043	5,915,457,130
第7特定期間	平成25年 5月25日～平成25年11月25日	4,194,268,416	2,079,512,678
第8特定期間	平成25年11月26日～平成26年 5月26日	3,553,451,323	3,704,324,399
第9特定期間	平成26年 5月27日～平成26年11月25日	2,140,870,386	3,292,085,859

（注）設定数量には、当初設定数量を含みます。

(参考情報)

基準日：2014年12月30日

基準価額・純資産の推移

<円コース（毎月分配型）>



<ユーロコース（毎月分配型）>



<豪ドルコース（毎月分配型）>



<南アフリカランドコース（毎月分配型）>



<ブラジルリアルコース（毎月分配型）>



<資源国通貨コース（毎月分配型）>



分配の推移

<円コース（毎月分配型）>

1万口当たり、税引前	
2014年12月	100円
2014年11月	100円
2014年10月	100円
2014年9月	100円
2014年8月	100円
直近1年間累計	1,200円
設定来累計	5,430円

<ユーロコース（毎月分配型）>

1万口当たり、税引前	
2014年12月	110円
2014年11月	110円
2014年10月	110円
2014年9月	110円
2014年8月	110円
直近1年間累計	1,320円
設定来累計	6,180円

<豪ドルコース（毎月分配型）>

1万口当たり、税引前	
2014年12月	160円
2014年11月	160円
2014年10月	160円
2014年9月	160円
2014年8月	160円
直近1年間累計	1,920円
設定来累計	8,765円

<南アフリカランドコース（毎月分配型）>

1万口当たり、税引前	
2014年12月	120円
2014年11月	120円
2014年10月	120円
2014年9月	120円
2014年8月	120円
直近1年間累計	1,440円
設定来累計	8,150円

<ブラジルリアルコース（毎月分配型）>

1万口当たり、税引前	
2014年12月	130円
2014年11月	130円
2014年10月	130円
2014年9月	130円
2014年8月	130円
直近1年間累計	1,560円
設定来累計	8,930円

<資源国通貨コース（毎月分配型）>

1万口当たり、税引前	
2014年12月	130円
2014年11月	130円
2014年10月	130円
2014年9月	130円
2014年8月	130円
直近1年間累計	1,560円
設定来累計	8,275円

※1 基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を表示しております。

※2 分配金再投資基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。

主要な資産の状況

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドにおける組入上位 10 銘柄

	発行体	通貨	業種	償還日	クーポン(%)	格付	比率(%)
1	Matterhorn Mobile SA	CHF	鉄道サービス	2019/5/15	6.750	B+	1.7
2	パークレイズ	EUR	銀行	永久債	6.500	BB+	1.6
3	FTE Verwaltungs GmbH	EUR	自動車	2020/7/15	9.000	B	1.3
4	HT1 Funding	EUR	銀行	永久債	6.352	BB-	1.3
5	HomeVi SAS	EUR	ヘルスケア	2021/8/15	6.875	B	1.2
6	GHD Bondco PLC	GBP	消費財	2020/4/15	7.000	B-	1.1
7	THOM Europe SAS	EUR	小売	2019/7/15	7.375	B	1.1
8	LGE HoldCo VI BV	EUR	メディア	2024/5/15	7.125	B	1.1
9	パプア インターナショナル LLC	EUR	素材	2021/4/15	5.125	B+	1.1
10	CMCラベンナ	EUR	素材	2021/8/1	7.500	B	1.0

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドにおける格付別構成比

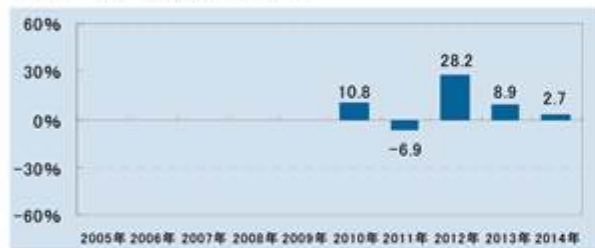
格付	比率(%)
A以上	0.5
BBB	7.7
BB	36.7
B	46.2
CCC以下 (NR、WR等を含む)	6.1

※ 格付は、Moody's、S&P、フィッチのうち上位のものを採用しております。

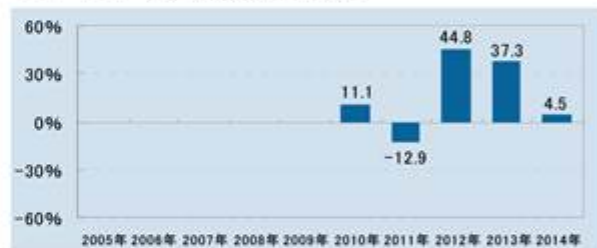
※ 比率はDWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドにおける組入比率です。

年間収益率の推移

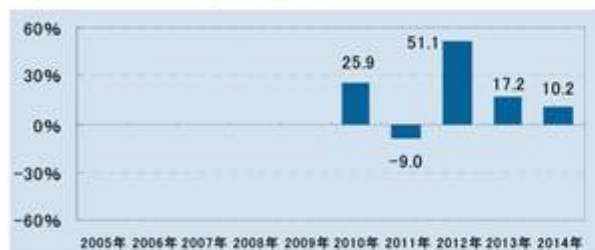
<円コース(毎月分配型)>



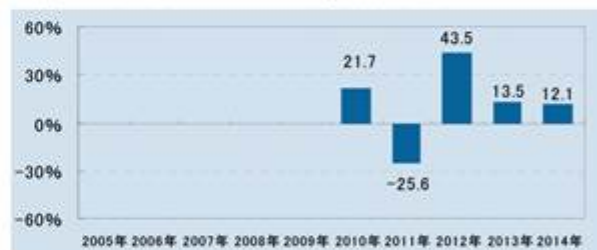
<ユーロコース(毎月分配型)>



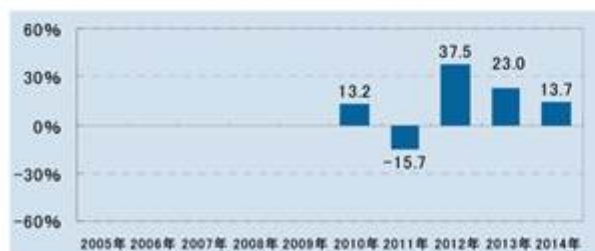
<豪ドルコース(毎月分配型)>



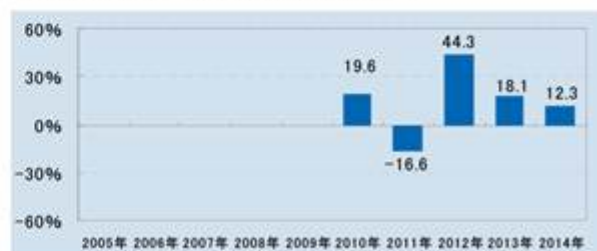
<南アフリカランドコース(毎月分配型)>



<ブラジルリアルコース(毎月分配型)>



<資源国通貨コース(毎月分配型)>



※1 年間収益率の推移は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。

※2 2010年は設定日(6月30日)から年末までの騰落率を表示しております。

※3 当ファンドにベンチマークはありません。

(注1) 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

(注2) 最新の運用実績は、委託会社のホームページで開示されております。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

取得申込みの受付は、原則として販売会社の営業日（ただし、フランクフルトの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する日を除きます。）の午後3時までに取得申込みが行われ、かつ、当該取得申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。なお、当該受付時間を過ぎた場合は、翌営業日の受付分として取扱います。

当ファンドは収益分配金の受取方法により、収益の分配時に収益分配金を受け取る「一般コース」と、収益分配金が原則として税引き後無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。当ファンドの取得申込者は、取得申込みをする際に、「一般コース」か「自動けいぞく投資コース」か、どちらかのコースを申し出るものとします。ただし、申込取扱場所によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。

「自動けいぞく投資コース」を選択する場合、取得申込者は、当該販売会社との間で「自動けいぞく投資約款」にしたがって契約を締結します。なお、収益分配金を再投資せず受取りを希望される場合は、販売会社によっては再投資の停止を申し出ることができます。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

販売会社によっては、当該契約または規定について、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を用いることがあり、この場合、該当する別の名称に読み替えるものとします。

当ファンドの取得申込者は、販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

申込単位は、販売会社が定める単位とします。ただし、収益分配金を再投資する場合は1口単位とします。申込単位の詳細については、販売会社にお問合せ下さい。

申込価額は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。ただし、収益分配金を再投資する場合は、各計算期間終了日（決算日）の基準価額とします。基準価額については、販売会社または委託会社の後記照会先にお問合せ下さい。

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に3.24%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細については、販売会社にお問合せ下さい。

収益分配金を再投資する場合の申込手数料は無手数料とします。

申込代金については、原則として販売会社が定める日までに申込みの販売会社に支払うものとします。詳細については、販売会社にお問合せ下さい。

取得申込みの受付の中止、既に受付けた取得申込みの受付の取消し等

- a. 信託財産の効率的な運用に資するため必要があると委託会社が判断する場合、委託会社は、受益権の取得申込みの受付を制限または停止することができます。
- b. 委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等が発生した場合、システムの誤作動等により決済または基準価額の計算が不能となった場合、計算された基準価額の正確性に合理的な疑いが生じた場合等を含みます。）があると委託会社が判断した場合は、受益権の取得申込みの受付を中止すること及び既に受付けた取得申込みの受付を取消すことができます。

委託会社の照会先は以下の通りです。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

・ホームページアドレス <https://funds.deutscheawm.com/jp/>

・フリーダイヤル 0120-442-785 (受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)

2【換金(解約)手続等】

受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託会社に一部解約の実行を請求することができます。

一部解約の実行の請求の受付は、原則として販売会社の営業日(ただし、フランクフルトの銀行休業日またはルクセンブルグの銀行休業日に該当する日を除きます。)の午後3時までに一部解約の実行の請求が行われ、かつ、当該請求の受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。なお、当該受付時間を過ぎた場合は、翌営業日の受付分として取扱います。

当ファンドの一部解約の実行の請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

解約単位は、販売会社が定める単位とします。解約単位の詳細については、販売会社にお問合せ下さい。

解約価額は、一部解約の実行の請求を受付けた日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額(当該基準価額に0.3%を乗じて得た額)を差し引いた額とします。

解約価額については、販売会社または委託会社の後記照会先にお問合せ下さい。

「信託財産留保額」とは、引続き受益権を保有する受益者と解約者との公平性の確保やファンド残高の安定的な推移を図るため、信託満了前の解約に対し解約者から徴収する一定の金額をいい、信託財産に繰り入れられます。

お手取額は、解約価額から解約に係る所定の税金を差し引いた額となります。詳しくは前記「第1 ファンドの状況 4 手数料等及び税金 (5) 課税上の取扱い」をご参照下さい。

解約代金は、原則として一部解約の実行の請求を受付けた日から起算して7営業日目から販売会社の本・支店、営業所等にて支払われます。

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等が発生した場合、システムの誤作動等により決済または基準価額の計算が不能となった場合、計算された基準価額の正確性に合理的な疑いが生じた場合等を含みます。)があると委託会社が判断した場合は、一部解約の実行の請求の受付を中止すること及び既に受付けた一部解約の実行の請求の受付を取消することができます。

その場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受付けたものとして上記に準じて計算された価額とします。

信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の解約請求には制限を設ける場合があります。

(注)上記のほか、販売会社によっては受益権を買い取る場合があります。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

委託会社の照会先は以下の通りです。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

・ホームページアドレス <https://funds.deutscheawm.com/jp/>

・フリーダイヤル 0120-442-785 (受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)

3【資産管理等の概要】

(1)【資産の評価】

<基準価額の計算方法等について>

基準価額とは、信託財産に属する資産（借入有価証券を除きます。）を法令及び一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

受益権1口当たりの純資産総額が基準価額です。なお、便宜上、1万口当たりに換算した価額で表示されることがあります。基準価額は、原則として委託会社の営業日に日々算出されます。

基準価額については、販売会社または委託会社の下記照会先にお問合せ下さい。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

・ホームページアドレス <https://funds.deutscheawm.com/jp/>

・フリーダイヤル 0120-442-785（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

また、原則として日本経済新聞（朝刊）の「オープン基準価格」欄に、前日付の基準価額が掲載されます。

ファンド	略称
円コース	欧ハイ円
ユーロコース	欧ハイユーロ
豪ドルコース	欧ハイ豪ドル
南アフリカランドコース	欧ハイランド
ブラジルリアルコース	欧ハイリアル
資源国通貨コース	欧ハイ資源国

< 運用資産の評価基準及び評価方法 >

投資信託証券	原則として、計算日に知りうる直近の日の基準価額で評価します。
公社債等	法令及び一般社団法人投資信託協会規則にしたがって、時価評価します。
外貨建資産	原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値により評価します。
外国為替予約取引	原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値により評価します。

(2) 【保管】

当ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まりますので、保管に関する該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

信託契約締結日（平成22年6月30日）から平成32年5月22日までとします。

ただし、委託会社は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるとき、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、受託会社と協議のうえ、信託期間を延長することができます。

(4) 【計算期間】

当ファンドの計算期間は、毎月25日から翌月24日までとすることを原則とします。

上記にかかわらず、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は上記「(3) 信託期間」に規定する信託期間の終了日とします。

(5) 【その他】

信託の終了

(イ)委託会社は、信託期間中において、信託契約の一部を解約することにより、各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなったとき、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

- (ロ)委託会社は、指定投資信託証券(DWS ユーロ・リザーブ・ファンドを除きます。)がその信託を終了することとなる場合は、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託会社は、あらかじめ解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- (ハ)委託会社は、上記(イ)の事項について、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日並びに信託契約の解約の理由等の事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
- (ニ)上記(ハ)の書面決議において、受益者(委託会社及びこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託会社を除きます。以下本(二)において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- (ホ)上記(ハ)の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- (ヘ)上記(ハ)から(ホ)までの規定は、委託会社が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、上記(ロ)の規定に基づいてこの信託契約を解約する場合、または信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記(ハ)から(ホ)までに規定するこの信託契約の解約の手続きを行うことが困難なときには適用しません。

信託約款の変更等

- (イ)委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合(投信法第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。)を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨及びその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本 に定める以外の方法によって変更することができないものとします。
- (ロ)委託会社は、上記(イ)の事項(上記(イ)の変更事項にあっては、その内容が重大なものに該当する場合に限り、上記(イ)の併合事項にあっては、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除きます。以下「重大な約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日並びに重大な約款の変更等の内容及びその理由等の事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発送します。
- (ハ)上記(ロ)の書面決議において、受益者(委託会社及びこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託会社を除きます。以下本(ハ)において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- (ニ)上記(ロ)の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- (ホ)書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- (ヘ)上記(ロ)から(ホ)までの規定は、委託会社が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- (ト)上記(イ)から(ヘ)までの規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合であっても、当該併合に係る一または複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

信託契約に関する監督官庁の命令

- (イ)委託会社は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。
- (ロ)委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、上記 の規定にしたがいま

委託会社の登録取消し等に伴う取扱い

- (イ)委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。
- (ロ)上記(イ)の規定にかかわらず、監督官庁がこの信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引継ぐことを命じたときは、この信託は、上記の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。

運用報告書

委託会社は、法令に基づき、6ヵ月毎（毎年5月及び11月の決算日を基準とします。）及び信託終了時に、期中の運用経過及び組入有価証券の内容等を記載した交付運用報告書を作成し、これを販売会社を通じて当該信託財産に係る知っている受益者に対して交付します。なお、委託会社は、運用報告書（全体版）については電磁的方法により受益者に提供します。ただし、受益者から運用報告書（全体版）の請求があった場合には、これを交付します。

関係法人との契約の更改等

<投資信託受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約>

当初の契約の有効期間は原則として1年間とします。ただし、期間満了3ヵ月前までに、委託会社及び販売会社いずれからも、何らの意思表示のないときは、自動的に1年間更新されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

委託会社の事業の譲渡及び承継に伴う取扱い

- (イ)委託会社は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。
- (ロ)委託会社は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

受託会社の辞任及び解任に伴う取扱い

- (イ)受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社はその任務に違反して信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を申立てることができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を解任した場合、委託会社は、上記の規定にしたがい、新受託会社を選任します。なお、受益者は、上記によって行う場合を除き、受託会社を解任することはできないものとします。
- (ロ)委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

公告

委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

信託約款に関する疑義の取扱い

信託約款の解釈について疑義が生じたときは、委託会社と受託会社との協議により定めます。

再信託

受託会社は、当ファンドに係る信託事務の処理の一部について日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託に係る契約書類に基づいて所定の事務を行います。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

(1) 収益分配金に対する請求権

受益者は、委託会社が支払いを決定した収益分配金を持分に応じて請求する権利を有します。

収益分配金は、原則として毎計算期間終了日から起算して5営業日までに、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金に係る計算期間の末日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払いを開始します。「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合は、収益

分配金は原則として税引き後無手数料で再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

受益者が収益分配金について支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属するものとします。

(2) 償還金に対する請求権

受益者は、当ファンドの償還金を持分に応じて請求する権利を有します。

償還金は、原則として信託終了日（信託終了日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日までに、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に支払いを開始します。

受益者が信託終了による償還金について支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属するものとします。

(3) 受益権の一部解約請求権

受益者は、自己に帰属する受益権について、販売会社を通じて、販売会社が定める単位をもって一部解約を委託会社に請求する権利を有します。一部解約金は、原則として一部解約の実行の請求を受付けた日から起算して7営業日目から受益者に支払われます。

(4) 帳簿閲覧権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内に当ファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧または謄写を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

1. 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は6ヶ月毎に作成しております。
3. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第9特定期間（平成26年5月27日から平成26年11月25日まで）の財務諸表について、あらた監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,568,204,754	1,185,162,678
投資信託受益証券	39,281,240,030	35,270,690,165
未収入金	40,000,000	300,000,000
未収利息	1,288	324
その他未収収益	12,597,877	11,286,802
流動資産合計	40,902,043,949	36,767,139,969
資産合計	40,902,043,949	36,767,139,969
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	437,280,799	423,409,090
未払解約金	538,654,675	470,411,676
未払受託者報酬	941,690	885,044
未払委託者報酬	39,551,013	37,171,789
その他未払費用	1,002,944	1,270,573
流動負債合計	1,017,431,121	933,148,172
負債合計	1,017,431,121	933,148,172
純資産の部		
元本等		
元本	43,728,079,953	42,340,909,055
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,843,467,125	6,506,917,258
（分配準備積立金）	535,012,913	1,302,819,303
元本等合計	39,884,612,828	35,833,991,797
純資産合計	39,884,612,828	35,833,991,797
負債純資産合計	40,902,043,949	36,767,139,969

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
営業収益		
受取配当金	2,742,648,340	3,475,744,149
受取利息	163,544	125,873
有価証券売買等損益	1,127,986,754	3,658,221,870
為替差損益	285	1,611
その他収益	76,373,047	90,615,170
営業収益合計	1,691,198,462	91,735,067
営業費用		
受託者報酬	4,554,221	5,535,467
委託者報酬	191,277,289	232,489,379
その他費用	1,002,944	1,270,573
営業費用合計	196,834,454	239,295,419
営業利益又は営業損失()	1,494,364,008	331,030,486
経常利益又は経常損失()	1,494,364,008	331,030,486
当期純利益又は当期純損失()	1,494,364,008	331,030,486
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	15,092,388	25,424,875
期首剰余金又は期首欠損金()	1,914,764,613	3,843,467,125
剰余金増加額又は欠損金減少額	551,028,102	1,484,889,853
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	551,028,102	1,484,889,853
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,656,727,602	1,099,129,308
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,656,727,602	1,099,129,308
分配金	2,302,274,632	2,743,605,067
期末剰余金又は期末欠損金()	3,843,467,125	6,506,917,258

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。 特定期間末日の取扱い 平成26年11月24日が休日のため、信託約款の規定により、当特定期間末日を平成26年11月25日としております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 受益権の総数	43,728,079,953口	42,340,909,055口
2. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	3,843,467,125円	6,506,917,258円
3. 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9121円 (9,121円)	0.8463円 (8,463円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)

<p>分配金の計算方法</p>	<p>第40期(平成25年11月26日から平成25年12月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(344,753,000円)、収益調整金(4,665,532,262円)、分配準備積立金(301,673,991円)より、分配対象収益は、5,311,959,253円(1万口当たり1,617円)であり、うち328,356,098円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第41期(平成25年12月25日から平成26年1月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(394,850,926円)、収益調整金(5,088,658,298円)、分配準備積立金(311,182,798円)より、分配対象収益は、5,794,692,022円(1万口当たり1,635円)であり、うち354,238,018円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第42期(平成26年1月25日から平成26年2月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(428,999,740円)、収益調整金(5,388,466,432円)、分配準備積立金(343,842,314円)より、分配対象収益は、6,161,308,486円(1万口当たり1,654円)であり、うち372,432,436円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第43期(平成26年2月25日から平成26年3月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(442,943,412円)、収益調整金(5,704,615,649円)、分配準備積立金(384,941,566円)より、分配対象収益は、6,532,500,627円(1万口当たり1,673円)であり、うち390,314,648円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第44期(平成26年3月25日から平成26年4月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(476,396,683円)、収益調整金(6,197,445,193円)、分配準備積立金(428,192,890円)より、分配対象収益は、7,102,034,766円(1万口当たり1,692円)であり、うち419,652,633円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第45期(平成26年4月25日から平成26年5月26日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(501,814,477円)、収益調整金(6,511,625,231円)、分配準備積立金(470,479,235円)より、分配対象収益は、7,483,918,943円(1万口当たり1,711円)であり、うち437,280,799円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p>	<p>第46期(平成26年5月27日から平成26年6月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(531,468,901円)、収益調整金(6,942,865,618円)、分配準備積立金(516,838,728円)より、分配対象収益は、7,991,173,247円(1万口当たり1,731円)であり、うち461,414,605円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第47期(平成26年6月25日から平成26年7月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(559,331,785円)、収益調整金(7,204,520,120円)、分配準備積立金(570,064,178円)より、分配対象収益は、8,333,916,083円(1万口当たり1,752円)であり、うち475,645,153円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第48期(平成26年7月25日から平成26年8月25日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(564,385,036円)、収益調整金(7,218,222,794円)、分配準備積立金(635,784,759円)より、分配対象収益は、8,418,392,589円(1万口当たり1,772円)であり、うち474,998,879円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第49期(平成26年8月26日から平成26年9月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(550,449,003円)、収益調整金(7,045,060,797円)、分配準備積立金(692,488,217円)より、分配対象収益は、8,287,998,017円(1万口当たり1,793円)であり、うち462,022,235円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第50期(平成26年9月25日から平成26年10月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(543,676,148円)、収益調整金(6,814,304,003円)、分配準備積立金(747,820,770円)より、分配対象収益は、8,105,800,921円(1万口当たり1,816円)であり、うち446,115,105円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p> <p>第51期(平成26年10月25日から平成26年11月25日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(507,290,844円)、収益調整金(6,483,390,123円)、分配準備積立金(795,528,459円)より、分配対象収益は、7,786,209,426円(1万口当たり1,838円)であり、うち423,409,090円(1万口当たり100円)を分配金額としております。</p>
-----------------	--	--

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細は貸借対照表、注記表及び附属明細表に記載しております。当該金融商品には、性質に応じてそれぞれ市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等)、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では2つの検証機能を有しています。1つは運用評価会議で、ここではパフォーマンス分析及び定量的リスク分析が行われます。もう1つはインベストメント・コントロール・コミッティーで、ここでは運用部、業務部、コンプライアンス統括部から市場リスク、流動性リスク、信用リスク、運用ガイドライン・法令等遵守状況等様々なリスク管理状況が報告され、検証が行われます。このコミッティーで議論された内容は、取締役会から一部権限を委譲されたエグゼクティブ・コミッティーに報告され、委託会社として必要な対策を指示する体制がとられています。運用部ではこうしたリスク管理の結果も考慮し、次の投資戦略を決定し、日々の運用業務を行っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 (2)売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左 (2)売買目的有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

最終の計算期間の損益に含まれた評価差額(円)

種類	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
投資信託受益証券	334,259,930	290,949,501
合計	334,259,930	290,949,501

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
	金額(円)	金額(円)
元本の推移		
期首元本額	27,511,967,340	43,728,079,953
期中追加設定元本額	23,327,816,667	11,298,316,758
期中一部解約元本額	7,111,704,054	12,685,487,656

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(ア)株式

該当事項はありません。

(イ)株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
投資信託 受益証券	日本円	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボ ンド・マスター・ファンド(円)	4,458,996.1983	35,270,659,928	
	小計			35,270,659,928	
	ユーロ	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	1.5288	206.12	
	小計			206.12	
合計				35,270,690,165 (30,237)	

(注)1.通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2.小計・合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

3.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託受益証券 時価比率	合計金額に 対する比率
ユーロ	投資信託受益証券 1銘柄	0.0%	100.0%

信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）】

(1) 【貸借対照表】

（単位：円）

	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	206,226,685	172,879,323
投資信託受益証券	6,539,121,729	6,118,315,181
未収利息	169	47
その他未収収益	2,080,487	1,881,938
流動資産合計	6,747,429,070	6,293,076,489
資産合計	6,747,429,070	6,293,076,489
負債の部		
流動負債		
未払金	28,000,000	-
未払収益分配金	66,081,584	62,264,243
未払解約金	6,641,220	40,870,152
未払受託者報酬	155,405	146,520
未払委託者報酬	6,526,997	6,153,724
その他未払費用	299,726	315,892
流動負債合計	107,704,932	109,750,531
負債合計	107,704,932	109,750,531
純資産の部		
元本等		
元本	6,007,416,778	5,660,385,761
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	632,307,360	522,940,197
（分配準備積立金）	256,742,422	268,746,318
元本等合計	6,639,724,138	6,183,325,958
純資産合計	6,639,724,138	6,183,325,958
負債純資産合計	6,747,429,070	6,293,076,489

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
営業収益		
受取配当金	346,842,919	414,041,468
受取利息	30,791	19,407
有価証券売買等損益	43,855,523	95,655,519
為替差損益	285	1,611
その他収益	12,894,267	14,607,343
営業収益合計	315,912,739	333,014,310
営業費用		
受託者報酬	768,037	892,695
委託者報酬	32,257,654	37,493,051
その他費用	299,726	315,892
営業費用合計	33,325,417	38,701,638
営業利益	282,587,322	294,312,672
経常利益	282,587,322	294,312,672
当期純利益	282,587,322	294,312,672
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	17,285,093	9,013,411
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	364,345,769	632,307,360
剰余金増加額又は欠損金減少額	517,307,282	106,719,018
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	517,307,282	106,719,018
剰余金減少額又は欠損金増加額	166,958,233	99,219,915
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	166,958,233	99,219,915
分配金	347,689,687	402,165,527
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	632,307,360	522,940,197

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。 特定期間末日の取扱い 平成26年11月24日が休日のため、信託約款の規定により、当特定期間末日を平成26年11月25日としております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 受益権の総数	6,007,416,778口	5,660,385,761口
2. 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.1053円 (11,053円)	1.0924円 (10,924円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)

分配金の計算方法	<p>第40期(平成25年11月26日から平成25年12月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(45,480,145円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(168,218,992円)、収益調整金(1,232,645,219円)、分配準備積立金(135,210,137円)より、分配対象収益は、1,581,554,493円(1万口当たり3,551円)であり、うち48,989,790円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>	<p>第46期(平成26年5月27日から平成26年6月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(62,811,416円)、収益調整金(1,848,132,595円)、分配準備積立金(244,848,520円)より、分配対象収益は、2,155,792,531円(1万口当たり3,532円)であり、うち67,123,566円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>
	<p>第41期(平成25年12月25日から平成26年1月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(50,257,029円)、収益調整金(1,416,879,162円)、分配準備積立金(291,366,350円)より、分配対象収益は、1,758,502,541円(1万口当たり3,547円)であり、うち54,532,549円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>	<p>第47期(平成26年6月25日から平成26年7月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(65,420,762円)、収益調整金(1,915,504,278円)、分配準備積立金(240,786,095円)より、分配対象収益は、2,221,711,135円(1万口当たり3,529円)であり、うち69,242,963円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>
	<p>第42期(平成26年1月25日から平成26年2月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(53,151,655円)、収益調整金(1,499,448,535円)、分配準備積立金(283,859,774円)より、分配対象収益は、1,836,459,964円(1万口当たり3,543円)であり、うち57,004,402円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>	<p>第48期(平成26年7月25日から平成26年8月25日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(67,550,916円)、収益調整金(1,945,090,523円)、分配準備積立金(237,512,917円)より、分配対象収益は、2,250,154,356円(1万口当たり3,526円)であり、うち70,189,950円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>
	<p>第43期(平成26年2月25日から平成26年3月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(55,293,098円)、収益調整金(1,580,992,302円)、分配準備積立金(274,873,299円)より、分配対象収益は、1,911,158,699円(1万口当たり3,541円)であり、うち59,368,349円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>	<p>第49期(平成26年8月26日から平成26年9月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(64,017,209円)、収益調整金(1,873,930,261円)、分配準備積立金(222,885,673円)より、分配対象収益は、2,160,833,143円(1万口当たり3,523円)であり、うち67,452,193円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>
	<p>第44期(平成26年3月25日から平成26年4月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(58,051,746円)、収益調整金(1,661,898,232円)、分配準備積立金(265,037,503円)より、分配対象収益は、1,984,987,481円(1万口当たり3,538円)であり、うち61,713,013円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>	<p>第50期(平成26年9月25日から平成26年10月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(63,707,695円)、収益調整金(1,828,907,765円)、分配準備積立金(216,605,991円)より、分配対象収益は、2,109,221,451円(1万口当たり3,521円)であり、うち65,892,612円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>
	<p>第45期(平成26年4月25日から平成26年5月26日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(60,423,957円)、収益調整金(1,806,098,050円)、分配準備積立金(256,742,422円)より、分配対象収益は、2,123,264,429円(1万口当たり3,534円)であり、うち66,081,584円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>	<p>第51期(平成26年10月25日から平成26年11月25日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(65,530,029円)、収益調整金(1,728,368,312円)、分配準備積立金(203,216,289円)より、分配対象収益は、1,997,114,630円(1万口当たり3,528円)であり、うち62,264,243円(1万口当たり110円)を分配金額としております。</p>

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細は貸借対照表、注記表及び附属明細表に記載しております。当該金融商品には、性質に応じてそれぞれ市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等)、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では2つの検証機能を有しています。1つは運用評価会議で、ここではパフォーマンス分析及び定量的リスク分析が行われます。もう1つはインベストメント・コントロール・コミッティーで、ここでは運用部、業務部、コンプライアンス統括部から市場リスク、流動性リスク、信用リスク、運用ガイドライン・法令等遵守状況等様々なリスク管理状況が報告され、検証が行われます。このコミッティーで議論された内容は、取締役会から一部権限を委譲されたエグゼクティブ・コミッティーに報告され、委託会社として必要な対策を指示する体制がとられています。運用部ではこうしたリスク管理の結果も考慮し、次の投資戦略を決定し、日々の運用業務を行っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 (2)売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左 (2)売買目的有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

最終の計算期間の損益に含まれた評価差額(円)

種類	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)

投資信託受益証券	149,024,195	410,570,056
合計	149,024,195	410,570,056

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
	金額(円)	金額(円)
元本の推移		
期首元本額	3,567,761,338	6,007,416,778
期中追加設定元本額	3,795,541,341	1,172,609,176
期中一部解約元本額	1,355,885,901	1,519,640,193

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(ア)株式

該当事項はありません。

(イ)株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
投資信託 受益証券	日本円	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(ユーロ)	531,239.4673	6,118,284,944	
	小計			6,118,284,944	
	ユーロ	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	1.5288	206.12	
	小計			206.12 (30,237)	
合計				6,118,315,181 (30,237)	

(注)1.通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2.小計・合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

3.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託受益証券 時価比率	合計金額に 対する比率
ユーロ	投資信託受益証券 1銘柄	0.0%	100.0%

信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）】

(1) 【貸借対照表】

（単位：円）

	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,645,965,405	1,718,101,743
投資信託受益証券	29,813,757,111	44,505,184,950
未収利息	1,352	470
その他未収収益	9,199,982	13,546,956
流動資産合計	31,468,923,850	46,236,834,119
資産合計	31,468,923,850	46,236,834,119
負債の部		
流動負債		
未払金	620,000,000	-
未払収益分配金	469,104,169	704,580,869
未払解約金	81,941,164	402,017,748
未払受託者報酬	682,038	1,048,775
未払委託者報酬	28,645,626	44,048,520
その他未払費用	649,059	1,195,615
流動負債合計	1,201,022,056	1,152,891,527
負債合計	1,201,022,056	1,152,891,527
純資産の部		
元本等		
元本	29,319,010,598	44,036,304,359
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	948,891,196	1,047,638,233
（分配準備積立金）	892,460,201	1,940,960,305
元本等合計	30,267,901,794	45,083,942,592
純資産合計	30,267,901,794	45,083,942,592
負債純資産合計	31,468,923,850	46,236,834,119

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
営業収益		
受取配当金	1,280,130,888	2,392,533,748
受取利息	124,957	151,723
有価証券売買等損益	370,304,201	1,246,294,881
為替差損益	255	1,451
その他収益	48,410,450	90,944,733
営業収益合計	1,698,970,751	3,729,926,536
営業費用		
受託者報酬	2,877,175	5,536,409
委託者報酬	120,841,084	232,528,949
その他費用	649,059	1,195,615
営業費用合計	124,367,318	239,260,973
営業利益	1,574,603,433	3,490,665,563
経常利益	1,574,603,433	3,490,665,563
当期純利益	1,574,603,433	3,490,665,563
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	47,191,195	60,277,630
期首剰余金又は期首欠損金()	631,509,743	948,891,196
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,022,517,354	752,015,429
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	74,124,647
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,022,517,354	677,890,782
剰余金減少額又は欠損金増加額	119,421,076	137,547,047
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	119,421,076	100,600,530
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	36,946,517
分配金	2,113,127,063	3,946,109,278
期末剰余金又は期末欠損金()	948,891,196	1,047,638,233

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。 特定期間末日の取扱い 平成26年11月24日が休日のため、信託約款の規定により、当特定期間末日を平成26年11月25日としております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 受益権の総数	29,319,010,598口	44,036,304,359口
2. 1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.0324円 (10,324円)	1.0238円 (10,238円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)

<p>分配金の計算方法</p>	<p>第40期(平成25年11月26日から平成25年12月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(140,520,607円)、収益調整金(4,239,710,423円)、分配準備積立金(1,002,788,910円)より、分配対象収益は、5,383,019,940円(1万口当たり3,371円)であり、うち255,490,310円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第41期(平成25年12月25日から平成26年1月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(163,184,831円)、収益調整金(4,817,830,940円)、分配準備積立金(980,428,715円)より、分配対象収益は、5,961,444,486円(1万口当たり3,309円)であり、うち288,208,700円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第42期(平成26年1月25日から平成26年2月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(202,062,637円)、収益調整金(5,491,124,218円)、分配準備積立金(969,407,227円)より、分配対象収益は、6,662,594,082円(1万口当たり3,252円)であり、うち327,791,088円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第43期(平成26年2月25日から平成26年3月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(220,725,390円)、収益調整金(6,166,646,181円)、分配準備積立金(950,781,440円)より、分配対象収益は、7,338,153,011円(1万口当たり3,194円)であり、うち367,581,110円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第44期(平成26年3月25日から平成26年4月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(245,977,045円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(7,029,195円)、収益調整金(6,783,784,116円)、分配準備積立金(910,415,277円)より、分配対象収益は、7,947,205,633円(1万口当たり3,139円)であり、うち404,951,686円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第45期(平成26年4月25日から平成26年5月26日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(257,915,305円)、収益調整金(7,866,486,624円)、分配準備積立金(892,460,201円)より、分配対象収益は、9,016,862,130円(1万口当たり3,075円)であり、うち469,104,169円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p>	<p>第46期(平成26年5月27日から平成26年6月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(320,697,839円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(409,934,273円)、収益調整金(9,251,015,069円)、分配準備積立金(878,996,273円)より、分配対象収益は、10,860,643,454円(1万口当たり3,134円)であり、うち554,290,490円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第47期(平成26年6月25日から平成26年7月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(352,371,684円)、収益調整金(10,598,373,436円)、分配準備積立金(1,035,699,499円)より、分配対象収益は、11,986,444,619円(1万口当たり3,069円)であり、うち624,737,191円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第48期(平成26年7月25日から平成26年8月25日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(393,849,913円)、収益調整金(11,096,229,203円)、分配準備積立金(1,019,549,532円)より、分配対象収益は、12,509,628,648円(1万口当たり3,007円)であり、うち665,544,495円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第49期(平成26年8月26日から平成26年9月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(389,030,621円)、収益調整金(11,315,162,820円)、分配準備積立金(992,366,465円)より、分配対象収益は、12,696,559,906円(1万口当たり2,941円)であり、うち690,703,201円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第50期(平成26年9月25日から平成26年10月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(406,450,806円)、収益調整金(11,309,547,051円)、分配準備積立金(972,438,633円)より、分配対象収益は、12,688,436,490円(1万口当たり2,874円)であり、うち706,253,032円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第51期(平成26年10月25日から平成26年11月25日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(436,482,940円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(565,923,484円)、収益調整金(11,022,805,062円)、分配準備積立金(938,553,881円)より、分配対象収益は、12,963,765,367円(1万口当たり2,943円)であり、うち704,580,869円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p>
-----------------	---	---

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細は貸借対照表、注記表及び附属明細表に記載しております。当該金融商品には、性質に応じてそれぞれ市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等)、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では2つの検証機能を有しています。1つは運用評価会議で、ここではパフォーマンス分析及び定量的リスク分析が行われます。もう1つはインベストメント・コントロール・コミッティーで、ここでは運用部、業務部、コンプライアンス統括部から市場リスク、流動性リスク、信用リスク、運用ガイドライン・法令等遵守状況等様々なリスク管理状況が報告され、検証が行われます。このコミッティーで議論された内容は、取締役会から一部権限を委譲されたエグゼクティブ・コミッティーに報告され、委託会社として必要な対策を指示する体制がとられています。運用部ではこうしたリスク管理の結果も考慮し、次の投資戦略を決定し、日々の運用業務を行っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 (2)売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左 (2)売買目的有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

最終の計算期間の損益に含まれた評価差額(円)

種類	第8特定期間	第9特定期間
	(平成26年5月26日現在)	(平成26年11月25日現在)
投資信託受益証券	297,446,264	3,186,073,057
合計	297,446,264	3,186,073,057

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第8特定期間	第9特定期間
	(平成26年5月26日現在)	(平成26年11月25日現在)
	金額(円)	金額(円)
元本の推移		
期首元本額	11,849,551,447	29,319,010,598
期中追加設定元本額	20,519,773,214	20,633,916,256
期中一部解約元本額	3,050,314,063	5,916,622,495

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(ア)株式

該当事項はありません。

(イ)株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
投資信託 受益証券	日本円	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボ ンド・マスター・ファンド(豪ドル)	3,299,611.3387	44,505,157,736	
	小計			44,505,157,736	
	ユーロ	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	1.3759	185.51	
	小計			185.51 (27,214)	
合計				44,505,184,950 (27,214)	

(注)1.通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2.小計・合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

3.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託受益証券 時価比率	合計金額に 対する比率
ユーロ	投資信託受益証券 1銘柄	0.0%	100.0%

信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	367,641,941	264,971,336
投資信託受益証券	6,370,148,721	6,217,634,017
未収入金	11,000,000	-
未収利息	302	72
その他未収収益	2,000,201	1,874,554
流動資産合計	6,750,791,165	6,484,479,979
資産合計	6,750,791,165	6,484,479,979
負債の部		
流動負債		
未払金	105,000,000	-
未払収益分配金	134,853,291	134,235,390
未払解約金	34,314,023	38,661,293
未払受託者報酬	149,663	146,315
未払委託者報酬	6,285,817	6,145,154
その他未払費用	352,165	343,697
流動負債合計	280,954,959	179,531,849
負債合計	280,954,959	179,531,849
純資産の部		
元本等		
元本	11,237,774,255	11,186,282,508
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	4,767,938,049	4,881,334,378
（分配準備積立金）	51,574,109	183,601,602
元本等合計	6,469,836,206	6,304,948,130
純資産合計	6,469,836,206	6,304,948,130
負債純資産合計	6,750,791,165	6,484,479,979

(2)【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
営業収益		
受取配当金	793,437,126	873,101,458
受取利息	23,985	19,635
有価証券売買等損益	441,563,875	168,295,412
為替差損益	72	402
その他収益	13,671,171	14,053,201
営業収益合計	365,568,479	718,879,284
営業費用		
受託者報酬	820,490	860,630
委託者報酬	34,460,529	36,146,319
その他費用	352,165	343,697
営業費用合計	35,633,184	37,350,646
営業利益	329,935,295	681,528,638
経常利益	329,935,295	681,528,638
当期純利益	329,935,295	681,528,638
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	3,623,627	7,964,001
期首剰余金又は期首欠損金()	3,923,425,170	4,767,938,049
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,021,614,813	1,381,447,212
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,021,614,813	1,381,447,212
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,390,398,264	1,326,825,807
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,390,398,264	1,326,825,807
分配金	802,041,096	841,582,371
期末剰余金又は期末欠損金()	4,767,938,049	4,881,334,378

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。 特定期間末日の取扱い 平成26年11月24日が休日のため、信託約款の規定により、当特定期間末日を平成26年11月25日としております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1.受益権の総数	11,237,774,255口	11,186,282,508口
2.元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	4,767,938,049円	4,881,334,378円
3.1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.5757円 (5,757円)	0.5636円 (5,636円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)

<p>分配金の計算方法</p>	<p>第40期(平成25年11月26日から平成25年12月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(123,389,342円)、収益調整金(523,954,777円)、分配準備積立金(59,247,547円)より、分配対象収益は、706,591,666円(1万口当たり680円)であり、うち155,705,922円(1万口当たり150円)を分配金額としております。</p> <p>第41期(平成25年12月25日から平成26年1月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(127,051,138円)、収益調整金(518,100,816円)、分配準備積立金(58,422,320円)より、分配対象収益は、703,574,274円(1万口当たり652円)であり、うち129,468,914円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第42期(平成26年1月25日から平成26年2月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(127,517,792円)、収益調整金(514,077,514円)、分配準備積立金(55,932,543円)より、分配対象収益は、697,527,849円(1万口当たり654円)であり、うち127,886,935円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第43期(平成26年2月25日から平成26年3月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(125,731,360円)、収益調整金(505,109,487円)、分配準備積立金(53,733,529円)より、分配対象収益は、684,574,376円(1万口当たり656円)であり、うち125,049,078円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第44期(平成26年3月25日から平成26年4月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(128,229,813円)、収益調整金(529,106,078円)、分配準備積立金(52,997,004円)より、分配対象収益は、710,332,895円(1万口当たり660円)であり、うち129,076,956円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第45期(平成26年4月25日から平成26年5月26日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(132,105,795円)、収益調整金(562,756,101円)、分配準備積立金(51,574,109円)より、分配対象収益は、746,436,005円(1万口当たり664円)であり、うち134,853,291円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p>	<p>第46期(平成26年5月27日から平成26年6月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(135,766,526円)、収益調整金(585,180,503円)、分配準備積立金(50,427,609円)より、分配対象収益は、771,374,638円(1万口当たり666円)であり、うち138,806,941円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第47期(平成26年6月25日から平成26年7月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(140,194,607円)、収益調整金(611,309,120円)、分配準備積立金(49,035,337円)より、分配対象収益は、800,539,064円(1万口当たり669円)であり、うち143,565,638円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第48期(平成26年7月25日から平成26年8月25日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(143,406,670円)、収益調整金(605,203,768円)、分配準備積立金(47,731,311円)より、分配対象収益は、796,341,749円(1万口当たり671円)であり、うち142,338,249円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第49期(平成26年8月26日から平成26年9月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(141,253,390円)、収益調整金(607,649,047円)、分配準備積立金(47,003,981円)より、分配対象収益は、795,906,418円(1万口当たり672円)であり、うち141,965,734円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第50期(平成26年9月25日から平成26年10月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(143,186,519円)、収益調整金(603,606,888円)、分配準備積立金(46,004,637円)より、分配対象収益は、792,798,044円(1万口当たり676円)であり、うち140,670,419円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p> <p>第51期(平成26年10月25日から平成26年11月25日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(138,395,435円)、収益調整金(581,050,117円)、分配準備積立金(45,206,167円)より、分配対象収益は、764,651,719円(1万口当たり683円)であり、うち134,235,390円(1万口当たり120円)を分配金額としております。</p>
-----------------	--	--

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細は貸借対照表、注記表及び附属明細表に記載しております。当該金融商品には、性質に応じてそれぞれ市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等)、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では2つの検証機能を有しています。1つは運用評価会議で、ここではパフォーマンス分析及び定量的リスク分析が行われます。もう1つはインベストメント・コントロール・コミッティーで、ここでは運用部、業務部、コンプライアンス統括部から市場リスク、流動性リスク、信用リスク、運用ガイドライン・法令等遵守状況等様々なリスク管理状況が報告され、検証が行われます。このコミッティーで議論された内容は、取締役会から一部権限を委譲されたエグゼクティブ・コミッティーに報告され、委託会社として必要な対策を指示する体制がとられています。運用部ではこうしたリスク管理の結果も考慮し、次の投資戦略を決定し、日々の運用業務を行っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 (2)売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左 (2)売買目的有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

最終の計算期間の損益に含まれた評価差額(円)

種類	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)

投資信託受益証券	67,001,441	472,689,786
合計	67,001,441	472,689,786

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
	金額(円)	金額(円)
元本の推移		
期首元本額	10,297,298,579	11,237,774,255
期中追加設定元本額	3,387,850,915	2,951,346,969
期中一部解約元本額	2,447,375,239	3,002,838,716

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(ア)株式

該当事項はありません。

(イ)株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
投資信託 受益証券	日本円	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・ マスター・ファンド(南アフリカランド)	939,218.4982	6,217,626,458	
	小計			6,217,626,458	
	ユーロ	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	0.3822	51.53	
	小計			51.53 (7,559)	
合計				6,217,634,017 (7,559)	

(注)1.通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2.小計・合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

3.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託受益証券 時価比率	合計金額に 対する比率
ユーロ	投資信託受益証券 1銘柄	0.0%	100.0%

信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）】

(1) 【貸借対照表】

（単位：円）

	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	9,816,569,270	7,937,211,978
投資信託受益証券	213,012,896,028	177,632,181,515
未収入金	400,000,000	-
未収利息	8,068	2,174
その他未収収益	69,571,648	53,645,639
流動資産合計	223,299,045,014	185,623,041,306
資産合計	223,299,045,014	185,623,041,306
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	4,586,779,870	4,106,970,026
未払解約金	1,954,626,029	1,270,869,600
未払受託者報酬	5,238,344	4,173,653
未払委託者報酬	220,010,336	175,293,545
その他未払費用	6,180,037	5,424,971
流動負債合計	6,772,834,616	5,562,731,795
負債合計	6,772,834,616	5,562,731,795
純資産の部		
元本等		
元本	352,829,220,796	315,920,771,240
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	136,303,010,398	135,860,461,729
（分配準備積立金）	4,884,678,309	10,275,489,661
元本等合計	216,526,210,398	180,060,309,511
純資産合計	216,526,210,398	180,060,309,511
負債純資産合計	223,299,045,014	185,623,041,306

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
営業収益		
受取配当金	32,164,354,057	29,435,214,354
受取利息	849,427	577,202
有価証券売買等損益	3,056,998,292	17,867,557,390
為替差損益	1,700	9,671
その他収益	494,683,630	430,692,843
営業収益合計	29,602,890,522	11,998,936,680
営業費用		
受託者報酬	29,662,135	26,438,016
委託者報酬	1,245,809,551	1,110,396,542
その他費用	6,180,037	5,424,971
営業費用合計	1,281,651,723	1,142,259,529
営業利益	28,321,238,799	10,856,677,151
経常利益	28,321,238,799	10,856,677,151
当期純利益	28,321,238,799	10,856,677,151
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	695,314,533	137,750,147
期首剰余金又は期首欠損金()	131,204,435,614	136,303,010,398
剰余金増加額又は欠損金減少額	37,603,309,727	39,541,849,080
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	37,603,309,727	39,541,849,080
剰余金減少額又は欠損金増加額	40,517,956,689	24,187,127,954
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	40,517,956,689	24,187,127,954
分配金	29,809,852,088	25,631,099,461
期末剰余金又は期末欠損金()	136,303,010,398	135,860,461,729

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。 特定期間末日の取扱い 平成26年11月24日が休日のため、信託約款の規定により、当特定期間末日を平成26年11月25日としております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1.受益権の総数	352,829,220,796口	315,920,771,240口
2.元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	136,303,010,398円	135,860,461,729円
3.1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.6137円 (6,137円)	0.5700円 (5,700円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)

<p>分配金の計算方法</p>	<p>第40期(平成25年11月26日から平成25年12月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,955,756,575円)、収益調整金(14,338,774,276円)、分配準備積立金(3,756,365,268円)より、分配対象収益は、23,050,896,119円(1万口当たり629円)であり、うち5,862,191,659円(1万口当たり160円)を分配金額としております。</p> <p>第41期(平成25年12月25日から平成26年1月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,211,217,978円)、収益調整金(14,339,357,387円)、分配準備積立金(3,685,683,224円)より、分配対象収益は、23,236,258,589円(1万口当たり610円)であり、うち4,945,580,781円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第42期(平成26年1月25日から平成26年2月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,350,389,665円)、収益調整金(14,448,408,724円)、分配準備積立金(3,815,970,735円)より、分配対象収益は、23,614,769,124円(1万口当たり623円)であり、うち4,920,534,193円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第43期(平成26年2月25日から平成26年3月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,243,266,339円)、収益調整金(14,440,584,858円)、分配準備積立金(4,058,943,947円)より、分配対象収益は、23,742,795,144円(1万口当たり637円)であり、うち4,839,049,869円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第44期(平成26年3月25日から平成26年4月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,177,366,119円)、収益調整金(14,085,646,003円)、分配準備積立金(4,175,268,120円)より、分配対象収益は、23,438,280,242円(1万口当たり654円)であり、うち4,655,715,716円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第45期(平成26年4月25日から平成26年5月26日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,962,533,021円)、収益調整金(14,095,910,711円)、分配準備積立金(4,508,925,158円)より、分配対象収益は、23,567,368,890円(1万口当たり667円)であり、うち4,586,779,870円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>	<p>第46期(平成26年5月27日から平成26年6月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,866,134,997円)、収益調整金(13,928,773,817円)、分配準備積立金(4,619,368,356円)より、分配対象収益は、23,414,277,170円(1万口当たり682円)であり、うち4,458,552,611円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第47期(平成26年6月25日から平成26年7月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,808,605,841円)、収益調整金(13,939,413,175円)、分配準備積立金(4,826,712,259円)より、分配対象収益は、23,574,731,275円(1万口当たり696円)であり、うち4,397,682,417円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第48期(平成26年7月25日から平成26年8月25日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,724,518,150円)、収益調整金(13,825,227,665円)、分配準備積立金(5,019,378,211円)より、分配対象収益は、23,569,124,026円(1万口当たり711円)であり、うち4,305,623,709円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第49期(平成26年8月26日から平成26年9月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,646,392,947円)、収益調整金(13,757,483,527円)、分配準備積立金(5,211,763,236円)より、分配対象収益は、23,615,639,710円(1万口当たり726円)であり、うち4,223,348,476円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第50期(平成26年9月25日から平成26年10月24日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,624,154,463円)、収益調整金(13,667,816,202円)、分配準備積立金(5,393,902,503円)より、分配対象収益は、23,685,873,168円(1万口当たり743円)であり、うち4,138,922,222円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p> <p>第51期(平成26年10月25日から平成26年11月25日まで) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,631,902,380円)、収益調整金(13,837,858,379円)、分配準備積立金(5,643,587,281円)より、分配対象収益は、24,113,348,040円(1万口当たり763円)であり、うち4,106,970,026円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>
-----------------	--	--

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細は貸借対照表、注記表及び附属明細表に記載しております。当該金融商品には、性質に応じてそれぞれ市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等)、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では2つの検証機能を有しています。1つは運用評価会議で、ここではパフォーマンス分析及び定量的リスク分析が行われます。もう1つはインベストメント・コントロール・コミッティーで、ここでは運用部、業務部、コンプライアンス統括部から市場リスク、流動性リスク、信用リスク、運用ガイドライン・法令等遵守状況等様々なリスク管理状況が報告され、検証が行われます。このコミッティーで議論された内容は、取締役会から一部権限を委譲されたエグゼクティブ・コミッティーに報告され、委託会社として必要な対策を指示する体制がとられています。運用部ではこうしたリスク管理の結果も考慮し、次の投資戦略を決定し、日々の運用業務を行っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 (2)売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左 (2)売買目的有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

最終の計算期間の損益に含まれた評価差額(円)

種類	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)

投資信託受益証券	688,728,938	11,560,998,324
合計	688,728,938	11,560,998,324

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
	金額(円)	金額(円)
元本の推移		
期首元本額	342,718,382,580	352,829,220,796
期中追加設定元本額	104,784,009,605	59,052,415,661
期中一部解約元本額	94,673,171,389	95,960,865,217

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(ア)株式

該当事項はありません。

(イ)株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
投資信託 受益証券	日本円	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボ ンド・マスター・ファンド(ブラジルレ アル)	27,802,786.0511	177,632,000,080	
	小計			177,632,000,080	
	ユーロ	DWS ユーロ・リザーブ・ファン ド	9.1729	1,236.78	
	小計			1,236.78 (181,435)	
合計				177,632,181,515 (181,435)	

(注)1.通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2.小計・合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

3.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託受益証券 時価比率	合計金額に 対する比率
ユーロ	投資信託受益証券 1銘柄	0.0%	100.0%

信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(資源国通貨コース)(毎月分配型)】

(1)【貸借対照表】

(単位:円)

	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	375,869,960	365,174,644
投資信託受益証券	10,214,909,084	9,190,614,193
未収入金	32,000,000	-
未収利息	308	100
その他未収収益	3,347,535	2,747,378
流動資産合計	10,626,126,887	9,558,536,315
資産合計	10,626,126,887	9,558,536,315
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	174,263,781	159,297,980
未払解約金	66,581,963	67,008,462
未払受託者報酬	251,822	213,310
未払委託者報酬	10,576,528	8,959,009
その他未払費用	534,797	434,715
流動負債合計	252,208,891	235,913,476
負債合計	252,208,891	235,913,476
純資産の部		
元本等		
元本	13,404,906,260	12,253,690,787
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	3,030,988,264	2,931,067,948
(分配準備積立金)	255,619,918	357,467,047
元本等合計	10,373,917,996	9,322,622,839
純資産合計	10,373,917,996	9,322,622,839
負債純資産合計	10,626,126,887	9,558,536,315

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
営業収益		
受取配当金	1,103,229,211	987,091,565
受取利息	39,687	26,576
有価証券売買等損益	127,972,538	158,774,079
為替差損益	423	2,417
その他収益	24,318,071	21,285,049
営業収益合計	999,614,854	849,631,528
営業費用		
受託者報酬	1,458,350	1,304,205
委託者報酬	61,250,756	54,776,557
その他費用	534,797	434,715
営業費用合計	63,243,903	56,515,477
営業利益	936,370,951	793,116,051
経常利益	936,370,951	793,116,051
当期純利益	936,370,951	793,116,051
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	34,442,053	8,191,732
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	2,882,464,873	3,030,988,264
剰余金増加額又は欠損金減少額	865,159,943	820,809,957
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	865,159,943	820,809,957
剰余金減少額又は欠損金増加額	778,055,408	513,074,569
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	778,055,408	513,074,569
分配金	1,137,556,824	992,739,391
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,030,988,264	2,931,067,948

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条及び第61条に基づいております。 特定期間末日の取扱い 平成26年11月24日が休日のため、信託約款の規定により、当特定期間末日を平成26年11月25日としております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1.受益権の総数	13,404,906,260口	12,253,690,787口
2.元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	3,030,988,264円	2,931,067,948円
3.1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.7739円 (7,739円)	0.7608円 (7,608円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)

分配金の計算方法	<p>第40期(平成25年11月26日から平成25年12月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(172,191,216円)、収益調整金(1,176,834,362円)、分配準備積立金(316,798,558円)より、分配対象収益は、1,665,824,136円(1万口当たり1,151円)であり、うち217,044,963円(1万口当たり150円)を分配金額としております。</p>	<p>第46期(平成26年5月27日から平成26年6月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(163,684,226円)、収益調整金(1,073,339,964円)、分配準備積立金(244,704,506円)より、分配対象収益は、1,481,728,696円(1万口当たり1,110円)であり、うち173,478,243円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>
	<p>第41期(平成25年12月25日から平成26年1月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(177,573,624円)、収益調整金(1,162,955,053円)、分配準備積立金(309,518,852円)より、分配対象収益は、1,650,047,529円(1万口当たり1,125円)であり、うち190,506,429円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>	<p>第47期(平成26年6月25日から平成26年7月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(162,654,225円)、収益調整金(1,053,794,368円)、分配準備積立金(236,505,515円)より、分配対象収益は、1,452,954,108円(1万口当たり1,105円)であり、うち170,917,403円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>
	<p>第42期(平成26年1月25日から平成26年2月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(181,533,467円)、収益調整金(1,152,850,799円)、分配準備積立金(301,390,746円)より、分配対象収益は、1,635,775,012円(1万口当たり1,121円)であり、うち189,607,487円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>	<p>第48期(平成26年7月25日から平成26年8月25日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(157,207,245円)、収益調整金(1,023,613,141円)、分配準備積立金(227,026,407円)より、分配対象収益は、1,407,846,793円(1万口当たり1,100円)であり、うち166,378,425円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>
	<p>第43期(平成26年2月25日から平成26年3月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(181,227,947円)、収益調整金(1,134,676,314円)、分配準備積立金(291,206,936円)より、分配対象収益は、1,607,111,197円(1万口当たり1,118円)であり、うち186,745,514円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>	<p>第49期(平成26年8月26日から平成26年9月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(152,164,208円)、収益調整金(1,002,486,521円)、分配準備積立金(215,710,028円)より、分配対象収益は、1,370,360,757円(1万口当たり1,093円)であり、うち162,859,126円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>
	<p>第44期(平成26年3月25日から平成26年4月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(174,550,293円)、収益調整金(1,097,061,590円)、分配準備積立金(271,987,027円)より、分配対象収益は、1,543,598,910円(1万口当たり1,118円)であり、うち179,388,650円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>	<p>第50期(平成26年9月25日から平成26年10月24日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(153,726,255円)、収益調整金(976,594,931円)、分配準備積立金(209,518,660円)より、分配対象収益は、1,339,839,846円(1万口当たり1,089円)であり、うち159,808,214円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>
	<p>第45期(平成26年4月25日から平成26年5月26日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(163,933,009円)、収益調整金(1,074,504,001円)、分配準備積立金(255,619,918円)より、分配対象収益は、1,494,056,928円(1万口当たり1,114円)であり、うち174,263,781円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>	<p>第51期(平成26年10月25日から平成26年11月25日まで)</p> <p>計算期間末における費用控除後の配当等収益(154,983,433円)、収益調整金(978,248,221円)、分配準備積立金(202,483,614円)より、分配対象収益は、1,335,715,268円(1万口当たり1,090円)であり、うち159,297,980円(1万口当たり130円)を分配金額としております。</p>

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	第8特定期間 (自 平成25年11月26日 至 平成26年 5月26日)	第9特定期間 (自 平成26年 5月27日 至 平成26年11月25日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、金銭債権及び金銭債務であり、その詳細は貸借対照表、注記表及び附属明細表に記載しております。当該金融商品には、性質に応じてそれぞれ市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等)、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社では2つの検証機能を有しています。1つは運用評価会議で、ここではパフォーマンス分析及び定量的リスク分析が行われます。もう1つはインベストメント・コントロール・コミッティーで、ここでは運用部、業務部、コンプライアンス統括部から市場リスク、流動性リスク、信用リスク、運用ガイドライン・法令等遵守状況等様々なリスク管理状況が報告され、検証が行われます。このコミッティーで議論された内容は、取締役会から一部権限を委譲されたエグゼクティブ・コミッティーに報告され、委託会社として必要な対策を指示する体制がとられています。運用部ではこうしたリスク管理の結果も考慮し、次の投資戦略を決定し、日々の運用業務を行っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 (2)売買目的有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。	(1)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 同左 (2)売買目的有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

最終の計算期間の損益に含まれた評価差額(円)

種類	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)

投資信託受益証券	11,201,627	670,761,240
合計	11,201,627	670,761,240

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第8特定期間 (平成26年5月26日現在)	第9特定期間 (平成26年11月25日現在)
	金額(円)	金額(円)
元本の推移		
期首元本額	13,555,779,336	13,404,906,260
期中追加設定元本額	3,553,451,323	2,140,870,386
期中一部解約元本額	3,704,324,399	3,292,085,859

(4)【附属明細表】

有価証券明細表

(ア)株式

該当事項はありません。

(イ)株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄	口数	評価額	備考
投資信託 受益証券	日本円	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(資源国通貨)	1,049,511.1152	9,190,568,835	
	小計			9,190,568,835	
	ユーロ	DWS ユーロ・リザーブ・ファンド	2.2932	309.19	
	小計			309.19 (45,358)	
合計				9,190,614,193 (45,358)	

(注)1.通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2.小計・合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

3.外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託受益証券 時価比率	合計金額に 対する比率
ユーロ	投資信託受益証券 1銘柄	0.0%	100.0%

信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考情報)

各ファンドは以下の投資信託受益証券を投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は、すべてこれら投資信託の受益証券です。

ファンド	投資対象とする投資信託受益証券
円コース	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（円） DWS ユーロ・リザーブ・ファンド
ユーロコース	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ユーロ） DWS ユーロ・リザーブ・ファンド
豪ドルコース	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（豪ドル） DWS ユーロ・リザーブ・ファンド
南アフリカランドコース	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（南アフリカランド） DWS ユーロ・リザーブ・ファンド
ブラジルリアルコース	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（ブラジルリアル） DWS ユーロ・リザーブ・ファンド
資源国通貨コース	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド（資源国通貨） DWS ユーロ・リザーブ・ファンド

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド」の状況

以下に記載した情報は、DWS インベストメントS.A.からの情報に基づき、2013年12月31日現在の財務の状況を記載したものであります。同投資信託受益証券の2013年12月31日現在の財務の状況は、ルクセンブルグの法律に基づき一般に公正妥当と認められる会計基準に準拠して作成されております。

同投資信託受益証券の「資産、負債の状況」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「組入資産の明細」は、2013年12月31日現在の財務書類の一部を翻訳したものです。

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。独立の監査人による監査を受けた同投資信託受益証券の財務書類から抜粋したものであります。

(1)資産、負債の状況

	2013年12月31日現在 金額(ユーロ)
資産の部	
債券(上場有価証券)	2,154,575,492.90
債券(非上場有価証券)	57,589,204.03
現金	91,374,597.49
未収利息	47,054,052.27
未収入金	33,018,619.05
資産合計	2,383,611,965.74
負債の部	
通貨先物	91,796,015.24
短期負債	0.27
その他負債	2,215,554.93
負債合計	94,011,570.44

(2)損益計算書

	2013年12月31日に終了した事業年度 金額(ユーロ)
収益	
受取利金	182,676,417.79
受取利息	487.82
源泉徴収税	202,326.72
収益合計	182,879,232.33
費用	
支払利息	187.43
委託者報酬	24,103,019.26
管理手数料	248,589.76
保管銀行費用	97,180.32
監査費用、弁護士費用及び印刷費用	73,824.23
申込税	285,130.56
その他費用	988,944.06
費用合計	25,796,875.62

純投資収益

157,082,356.71

(3)純資産変動計算書

2013年12月31日に終了した事業年度
金額(ユーロ)

期首純資産金額	1,358,550,087.10
分配金	420,692,975.47
設定による資金流入	1,992,889,907.13
解約による資金流出	558,450,948.18
収益及び費用の調整	27,662,582.10
純投資収益	157,082,356.71
有価証券売買損益	260,034,751.22
評価損益	7,405,862.87
期末純資産金額	2,289,600,395.30

(4)組入資産の明細

(2013年12月31日現在)

銘柄名	数量	評価額(ユーロ)
上場有価証券		
Matterhorn Mobile SA 2012/2019	2,460,000	2,037,593.28
Matterhorn Mobile SA -Reg- 2012/2019	27,035,000	24,000,022.29
Sunrise Communications International SA (MTN) 2010/2017	2,000,000	1,724,607.82
Sunrise Communications International SA (MTN) -Reg- 2012/2017	10,145,000	8,645,403.81
UPC Holding BV (MTN) -Reg- 2013/2023	11,930,000	10,032,781.32
ABN Amro Bank NV (MTN) 2006/2049	32,350,000	32,271,551.25
Adria Bidco BV 2013/2020	12,210,000	12,351,269.70
AG Spring Finance II Ltd -Reg- 2013/2019	2,500,000	2,593,762.50
AG Spring Finance Ltd -Reg- 2013/2018	9,200,000	9,599,648.00
Agrokor (MTN) 2009/2016	8,280,000	8,766,450.00
Agrokor D.D. -Reg- 2012/2019	7,150,000	8,043,750.00
Agrokor DD 2012/2020	9,910,000	11,134,876.00
Alba Group Plc & Co. KG -Reg- 2011/2018	11,700,000	12,030,525.00
Albain Bidco Norway AS 2013/2020	1,470,000	1,498,481.25
Albea Beauty Holdings SA (MTN) -Reg- 2012/2019	1,810,000	1,940,093.75
Alcatel-Lucent 2010/2016	4,500,000	5,021,280.00
Altice Financing SA 2012/2019	6,700,000	7,303,000.00
Altice Financing SA -Reg- 2013/2022	3,900,000	3,942,256.50
Altice Finco SA 2013/2023	11,430,000	12,558,712.50
American International Group, Inc. 2007/2067	6,950,000	6,915,423.75
American International Group, Inc. 2012/2067	1,500,000	1,492,537.50
Ardagh Glass Finance Plc -Reg- 2010/2020	2,800,000	2,989,000.00
Ardagh Packaging Finance Plc -Reg- 2010/2017	6,000,000	6,439,530.00
Ardagh Packaging Finance Plc -Reg- 2010/2020	8,040,000	8,777,589.60
Ardagh Packaging Finance Plc -Reg- 2012/2017	2,160,000	2,316,600.00
Assicurazioni Generali 2012/2042	1,500,000	1,729,815.00
Astaldi SpA -Reg- 2013/2020	10,000,000	10,670,650.00
Avis Budget Finance Plc -Reg- 2013/2021	7,320,000	7,805,682.00
Bank of Ireland Mortgage Bank (MTN) 2005/2015	1,950,000	2,006,647.50
Barclays Bank Plc (MTN) 2005/2049	48,500,000	41,487,627.50
Barclays Plc 2013/2049	3,250,000	3,354,406.25
Bayerische Landesbank 2007/2019	2,500,000	2,521,250.00
Behr GmbH KG 2009/2049	8,250,000	8,332,500.00
Belden, Inc. (MTN) -Reg- 2013/2023	9,510,000	9,296,025.00
Bite Finance International BV (MTN) -Reg- 2013/2018	2,320,000	2,378,232.00
Bombardier, Inc. (MTN) 2010/2021	1,900,000	2,058,336.50
Bormioli Rocco Holdings SA -Reg- 2011/2018	18,925,000	20,781,164.00
Cable Communications Systems NV -Reg- 2013/2020	8,880,000	9,148,131.60
Carlson Wagonlit BV -Reg- 2012/2019	1,790,000	1,939,912.50
Catalent Pharma Solutions, Inc. 2008/2017	3,730,000	3,869,875.00
Cegedim SA -Reg- 2013/2020	12,600,000	13,048,875.00
Central European Media Enterprises Ltd -Reg- 2009/2016	6,100,000	6,106,344.00
Cerba European Lab -Reg- 2013/2020	3,750,000	3,986,718.75
Cerved Technologies SpA (MTN) -Reg- 2013/2020	1,650,000	1,753,125.00

Cerved Technologies SpA (MTN) -Reg- 2013/2021	4,390,000	4,661,631.25
Ciech Group Financing AB 2012/2019	8,855,000	10,161,112.50
Cirsa Funding Luxembourg SA -Reg- 2010/2018	23,706,000	25,236,696.42
CMA CGM SA -Reg- 2011/2019	1,400,000	1,382,661.00
CMA CGM SA -Reg- 2013/2018	12,150,000	11,954,081.25
Continental AG (MTN) 2013/2020	3,780,000	3,953,331.90
ConvaTec Healthcare E SA -Reg- 2010/2018	9,500,000	10,740,937.50
Crown European Holdings SA -Reg- 2010/2018	4,007,000	4,273,625.78
Cyfrowy Polsat Finance AB -Reg- 2011/2018	4,340,000	4,654,650.00
Deutsche Bank Capital Funding Trust IV 2003/2049	32,000,000	30,652,640.00
Deutsche Postbank Funding Trust IV 2007/2049	14,600,000	15,003,252.00
Deutsche Raststaetten Gruppe IV GmbH -Reg- 2013/2020	8,680,000	9,090,694.20
Dexia Credit Local SA (MTN) 1999/2014	2,000,000	1,976,260.00
Dubai Holding Commercial Operations Ltd (MTN) 2007/2014	3,000,000	3,006,120.00
eAccess Ltd -Reg- 2011/2018	12,000,000	13,342,500.00
EC Finance Plc -Reg- 2010/2017	5,100,000	5,574,045.00
EDP Finance BV (MTN) 2011/2016	460,000	494,166.50
EDP Finance BV 2012/2017	2,380,000	2,615,025.00
Eileme 2 AB -Reg- 2012/2020	2,590,000	3,131,504.25
Eircom Finance Ltd 2013/2020	7,130,000	7,642,468.75
Electricite de France SA (MTN) 2013/2049	10,700,000	11,475,750.00
Empark Funding SA -Reg- 2013/2019	2,510,000	2,579,928.60
Ence Energia y Celulosa S.A -Reg- 2013/2020	5,730,000	6,320,906.25
EP Energy AS (MTN) -Reg- 2012/2019	4,520,000	4,954,213.80
Eurofins Scientific (MTN) 2013/2049	6,000,000	6,423,000.00
Europcar Groupe SA -Reg- 2010/2018	9,690,000	10,380,412.50
Falcon Germany Holding 3 GmbH -Reg- 2013/2020	23,950,000	26,398,528.25
Faurecia (MTN) 2011/2016	2,510,000	2,999,450.00
Faurecia (MTN) 2012/2019	3,125,000	3,590,796.88
Fiat Finance & Trade SA (MTN) 2009/2015	11,900,000	12,481,910.00
Fiat Finance & Trade SA (MTN) 2011/2018	1,680,000	1,873,972.80
Fiat Finance & Trade SA (MTN) 2012/2016	10,330,000	11,479,212.50
Fiat Finance & Trade SA (MTN) 2013/2019	2,470,000	2,678,715.00
Fiat Finance and Trade Ltd SA (MTN) 2013/2018	9,670,000	10,475,511.00
Fiat Industrial Finance Europe SA (MTN) 2011/2018	6,940,000	7,878,218.60
Findus Bondco SA -Reg- 2013/2018	10,630,000	11,742,854.70
Finmeccanica Finance SA (MTN) 2013/2021	14,810,000	14,677,376.45
Foodcorp Ltd -Reg- 2011/2018	7,200,000	7,919,820.00
Franz Haniel & Cie GmbH 2012/2018	1,120,000	1,294,826.40
Frigoglass Finance BV 2013/2018	7,550,000	7,966,684.50
Gamenet SpA -Reg- 2013/2018	14,090,000	14,406,743.20
Gategroup Finance Luxembourg SA (MTN) -Reg- 2012/2019	6,665,000	7,077,230.25
GCL Holdings SCA -Reg- 2011/2018	4,000,000	4,362,100.00
GCS Holdco Finance I SA 2013/2018	7,730,000	8,019,875.00
General Electric Capital Corp. -Reg- 2006/2066	3,000,000	3,082,500.00
Geo Debt Finance SCA -Reg- 2013/2018	7,840,000	8,369,200.00
Geo Travel Finance 2011/2019	18,077,000	19,723,362.78
Gestamp Funding Luxembourg SA -Reg- 2013/2020	7,770,000	8,241,056.25
GMAC International Finance BV 2010/2015	800,000	856,000.00
Goodyear Dunlop Tires Europe BV -Reg- 2011/2019	9,586,000	10,514,691.68
Greif Luxembourg Finance SCA -Reg- (MTN) 2011/2021	2,980,000	3,497,775.00
Guala Closures SpA 2012/2019	1,930,000	1,966,168.20
Hapag-Lloyd AG (MTN) -Reg- 2013/2018	11,800,000	12,265,274.00
Heckler and Koch GmbH -Reg- 2011/2018	16,170,000	16,370,103.75
HeidelbergCement Finance BV 2009/2019	12,000,000	15,315,000.00
HeidelbergCement Finance BV 2010/2020	12,100,000	14,785,171.50
Heidelberger Druckmaschinen AG 2013/2018	2,660,000	2,846,200.00
Heidelberger Druckmaschinen AG -Reg- 2011/2018	8,875,000	9,503,261.25
HellermannTyton Finance Plc 2012/2017	5,100,000	5,173,878.60
Holding Medi-Partenaires SAS -Reg- 2013/2020	6,800,000	7,012,500.00
HSBC Capital Funding LP/Jersey Channel Islands 2003/2049	3,000,000	3,018,675.00
HSH Nordbank AG (MTN) 2007/2017	4,000,000	3,095,820.00
HT1 Funding GmbH 2006/2049	35,500,000	33,442,420.00
Huntsman International LLC 2013/2021	13,100,000	13,198,643.00

Inaer Aviation Finance Ltd -Reg- 2010/2017	5,190,000	5,494,263.75
Ineos Group Holdings Plc -Reg- 2006/2016	15,224,647	15,382,906.95
Infor US, Inc. 2012/2019	2,930,000	3,310,900.00
International Personal Finance Plc (MTN) 2010/2015	630,000	715,050.00
InterXion Holding NV 2013/2020	6,530,000	6,900,610.15
Intralot Finance Luxembourg SA 2013/2018	11,000,000	12,091,200.00
Iron Mountain, Inc. (MTN) 2007/2018	1,000,000	1,014,700.00
ISS Holdings AS -Reg- 2006/2016	504,421	513,434.69
IVS Group SA -Reg- 2013/2020	19,000,000	19,724,375.00
Kabel Deutschland Holding AG 2012/2017	19,400,000	20,851,896.00
Kabel Deutschland V&S 2011/2018	6,300,000	6,661,368.00
Kerling Plc -Reg- 2010/2017	11,000,000	11,737,055.00
Kinove German Bondco Gmbh 2011/2018	5,015,700	5,569,006.95
KION Finance SA (MTN) 2011/2018	12,550,000	13,291,265.75
KION Finance SA (MTN) -Reg- 2013/2020	15,450,000	16,937,062.50
KM Germany Holdings GmbH 2012/2020	3,940,000	4,420,187.50
Koninklijke KPN NV 2013/2049	12,620,000	13,307,159.00
Lafarge SA (MTN) 2010/2018	2,885,000	3,316,192.10
LBG Capital No.2 Plc 2009/2019	2,000,000	3,006,260.00
Lecta SA -Reg- (MTN) 2012/2019	2,370,000	2,273,718.75
Levi Strauss & Co. 2010/2018	1,750,000	1,860,993.75
Lottomatica SpA -Reg- 2006/2066	12,500,000	13,600,187.50
Magnolia BC SA (MTN) -Reg- 2013/2020	10,745,000	11,314,646.18
Main Capital Funding II LP 2006/2049	3,500,000	3,314,062.50
Main Capital Funding LP 2005/2049	2,500,000	2,351,562.50
Manutencoop Facility Management SpA 2013/2020	16,200,000	17,242,713.00
Marcolin SpA 2013/2019	4,740,000	5,012,550.00
Matterhorn Financing & CY SCA -Reg- 2013/2019	7,290,000	7,517,812.50
Matterhorn Midco SARL 2012/2020	4,500,000	4,667,332.50
Matterhorn Mobile Holdings SA (MTN) -Reg- 2012/2020	1,080,000	1,179,873.00
Mobile Challenger Intermediate Group SA -Reg- 2013/2019	5,000,000	5,228,125.00
MPT Operating Partnership LP (MTN) 2013/2020	7,840,000	8,230,040.00
Nara Cable Funding Ltd -Reg- 2010/2018	15,000,000	16,315,875.00
New World Resources NV -Reg- 2010/2018	13,700,000	10,463,375.00
New World Resources NV -Reg- 2013/2021	8,825,000	3,557,578.13
Nokia Siemens Networks Finance BV (MTN) -Reg- 2013/2020	4,000,000	4,575,420.00
Nokia Siemens Networks Finance BV -Reg- 2013/2018	6,000,000	6,521,250.00
Nordenia Holdings GmbH -Reg- 2010/2017	10,068,000	11,010,616.50
Numericable Finance & Co. -Reg- 2012/2019	2,990,000	3,662,750.00
Oberthur Technologies 2013/2020	5,070,000	5,351,385.00
Obrascon Huarte Lain SA (MTN) 2010/2015	300,000	322,650.00
Obrascon Huarte Lain SA (MTN) 2011/2018	11,200,000	12,499,480.00
Obrascon Huarte Lain SA (MTN) -Reg- 2012/2020	2,500,000	2,750,562.50
OI European Group BV -Reg- 2013/2021	3,000,000	3,151,260.00
ONO Finance II Plc -Reg- 2011/2019	700,000	772,642.50
Ontex IV -Reg- 2011/2019	4,480,000	4,881,968.00
Origin Energy Finance Ltd (MTN) 2011/2071	16,200,000	17,589,555.00
Peermont Global Pty Ltd -Reg- 2007/2014	4,500,000	4,522,500.00
Perstorp Holding AB 2012/2017	20,215,000	21,971,178.13
Peugeot SA (MTN) 2013/2018	5,830,000	6,527,326.30
Peugeot SA (MTN) 2013/2019	3,360,000	3,652,572.00
Portugal Telecom International Finance BV (MTN) 2013/2020	19,030,000	19,505,750.00
R&R Ice Cream Plc -Reg- 2010/2017	8,240,000	8,797,230.00
Rain Cii Carbon LLC 2012/2021	6,480,000	6,548,850.00
Rexel SA 2011/2018	7,280,000	7,998,900.00
Rexel SA -Reg- 2013/2020	4,530,000	4,784,812.50
Royal Bank of Scotland Plc (MTN) 2004/2021	3,000,000	3,013,125.00
RPG Byty Sro -Reg- 2013/2020	18,120,000	18,459,750.00
SANTOS Finance Ltd (MTN) 2010/2070	9,630,000	10,857,825.00
Sappi Papier Holding AG -Reg- 2011/2018	1,360,000	1,450,950.00
SB Minerals Finance -Reg- 2013/2020	10,650,000	11,701,687.50
Schaeffler Finance BV 2012/2017	1,070,000	1,158,275.00
Schaeffler Finance BV -Reg- 2012/2017	2,780,000	3,227,037.90
Schaeffler Finance BV -Reg- 2012/2019	2,020,000	2,297,750.00

Schaeffler Holding Finance BV -Reg- 2013/2018	3,300,000	3,539,563.50
SERVUS Luxembourg Holding SCA 2013/2018	16,680,000	17,588,643.00
SGL Carbon SE 2013/2021	3,600,000	3,722,778.00
Sisal Holding Istituto di Pagamento SpA 2013/2017	6,655,000	6,838,012.50
Smurfit Kappa Acquisitions 2012/2018	2,990,000	3,251,056.90
Smurfit Kappa Acquisitions -Reg- 2009/2019	2,500,000	2,734,375.00
Societe Generale 2010/2049	5,000,000	5,975,025.00
Solvay Finance SA 2013/2049	4,170,000	4,288,845.00
SPCM SA 2012/2020	4,970,000	5,417,300.00
Spie Bondco 3 SCA (MTN) -Reg- 2012/2019	9,000,000	10,310,625.00
Stampos BV 2013/2019	7,430,000	7,599,366.85
Stork Technical Services 2012/2017	3,340,000	3,419,074.50
Stork Technical Services 2012/2017	3,000,000	3,071,025.00
Styrolution Group GmbH -Reg- 2011/2016	19,490,000	20,493,052.85
Sunrise Communications International SA (MTN) 2010/2017	630,000	665,831.25
Sunrise Communications International SA (MTN) 2010/2018	16,300,000	17,817,937.50
Takko Luxembourg 2 SCA (MTN) -Reg- 2013/2019	8,000,000	7,875,000.00
Techem Energy Metering Service GmbH & Co.,KG 2012/2020	7,920,000	8,929,800.00
Techem GmbH 2012/2019	4,090,000	4,470,881.25
Telecom Italia SpA 2013/2073	15,100,000	15,623,743.50
Telecom Italia SpA (MTN) 2004/2019	2,400,000	2,558,448.00
Telecom Italia SpA (MTN) 2013/2020	3,000,000	3,074,835.00
Telefonica Emisiones SAU (MTN) 2013/2023	2,500,000	2,602,137.50
Telefonica Emisiones SAU 2012/2017	2,600,000	2,965,274.00
Telefonica Emisiones SAU 2012/2020	1,500,000	1,663,372.50
Telefonica Europe BV 2013/2049	7,500,000	8,298,075.00
Telenet Finance Luxembourg SCA -Reg- 2010/2020	800,000	864,396.00
Telenet Finance Luxembourg SCA -Reg- 2012/2022	2,080,000	2,213,900.00
Tereos Finance Group I 2013/2020	6,600,000	6,719,625.00
Thomas Cook Group Plc 2013/2020	21,020,000	22,964,350.00
TMF Group Holding BV 2012/2019	15,550,000	16,910,236.25
Travelport LLC 2007/2016	1,265,000	1,283,975.00
Trionista HoldCo GmbH 2013/2020	4,000,000	4,110,000.00
Trionista TopCo GmbH 2013/2021	7,070,000	7,494,200.00
TUI AG 2005/2049	857,000	885,495.25
TVN Finance Corp III AB -Reg- 2013/2020	7,330,000	7,904,598.70
Unitymedia GmbH -Reg- 2009/2019	15,350,000	17,048,093.75
Unitymedia Hessen GmbH & Co., KG -Reg- 2012/2021	17,219,000	20,058,929.67
Unitymedia Hessen GmbH & Co. / Unitymedia NRW GmbH -Reg- 2013/2023	10,040,000	10,209,425.00
Unitymedia Hessen GmbH & Co., KG (MTN) -Reg- 2013/2023	1,000,000	1,000,000.00
Unitymedia Hessen GmbH & Co., KG -Reg- 2012/2019	4,300,000	4,691,042.00
Unitymedia NRW GmbH 2013/2029	17,770,000	17,614,512.50
UPC Holding BV -Reg- 2010/2020	15,200,000	16,784,448.00
UPC Holding BV -Reg- 2013/2023	6,100,000	6,279,187.50
UPCB Finance II Ltd -Reg- 2011/2020	5,000,000	5,368,650.00
UT2 Funding Plc 2006/2016	3,000,000	2,989,050.00
Viridian Group FundCo II -Reg- 2012/2017	7,056,000	7,874,213.76
Vivacom 2013/2018	20,150,000	20,155,541.25
Wendel SA 2011/2018	10,000,000	11,605,750.00
WEPA Hygieneprodukte GmbH -Reg- 2013/2020	4,130,000	4,465,562.50
Wienerberger AG 2007/2049	9,200,000	9,038,126.00
Wind Acquisition Finance SA -Reg- 2009/2017	6,400,000	6,820,000.00
Wind Acquisition Finance SA -Reg- 2010/2018	9,980,000	10,569,169.30
Wind Acquisition Holdings Finance SA -Reg- 2009/2017	10,043,240	10,582,561.99
Xefin Lux SCA (MTN) 2011/2018	12,240,000	13,296,067.20
Xella HoldCo Finance SA 2013/2018	8,310,000	8,696,664.30
Ziggo Bond Co. BV -Reg- 2010/2018	26,384,000	28,038,408.72
Zobebe Holding SpA -Reg- 2013/2018	12,502,000	13,202,487.06
AA Bond Co., Ltd 2013/2043	7,780,000	10,231,896.51
Arqiva Broadcast Finance Plc (MTN) -Reg- 2013/2020	9,840,000	13,082,305.16
Aston Martin Capital Ltd 2011/2018	10,000,000	13,066,700.88
Bakkavor Finance 2 Plc -Reg- 2011/2018	2,500,000	3,202,315.04
Bond Mission Critical Services PLC -Reg- 2013/2019	8,340,000	9,785,407.85

Brakes Capital Group 2013/2018	3,240,000	3,864,054.39
BrightHouse Group Ltd -Reg- 2013/2018	6,100,000	7,563,101.36
Care UK Health & Social Care Plc -Reg- 2010/2017	12,290,000	15,572,333.08
CPUK Finance Ltd (MTN) 2012/2018	6,780,000	9,302,841.02
DFS Furniture Holdings Plc -Reg- 2013/2018	880,000	1,128,530.20
Dubai Holding Commercial Operations Ltd (MTN) 2007/2017	4,000,000	4,992,173.74
EDP Finance BV (MTN) 2008/2024	250,000	349,937.93
Elli France UK Plc -Reg- 2012/2019	2,760,000	3,675,202.43
Equiniti Newco 2 Plc 2013/2018	4,410,000	5,589,560.56
Finmeccanica Finance SA (MTN) 2009/2019	1,000,000	1,341,920.21
Gala Electric Casinos Ltd -Reg- 2011/2019	2,910,000	3,823,913.73
Gala Group Finance Ltd -Reg- 2011/2018	9,700,000	12,543,403.89
Hastings Insurance Group Finance Plc 2013/2020	6,730,000	8,337,971.92
Infinis Plc -Reg- 2013/2019	9,520,000	12,180,186.48
Koninklijke KPN NV (MTN) 2013/2073	9,270,000	11,471,099.26
Lynx I Corp. -Reg- 2013/2021	3,500,000	4,315,838.82
Matalan Finance Ltd -Reg- 2010/2017	1,400,000	1,538,008.02
Matalan Finance Ltd -Reg- 2011/2016	5,730,000	7,081,334.71
Moto Finance Plc -Reg- 2011/2017	3,480,000	4,419,652.12
Odeon & Uci Finco Plc (MTN) 2011/2018	3,500,000	4,235,632.23
Pendragon Plc 2013/2020	3,610,000	4,564,789.86
Phones4U Finance Plc -Reg- 2011/2018	9,850,000	12,516,478.73
PipeHoldings Plc -Reg- 2010/2015	195,000	246,473.10
Priory Group Ltd (MTN) 2011/2019	7,710,000	9,553,041.30
Telecom Italia SpA (MTN) 2004/2019	7,700,000	9,637,785.99
Telecom Italia SpA (MTN) 2006/2023	6,000,000	6,950,217.87
Towergate Finance Plc -Reg- 2011/2019	4,360,000	5,480,569.75
Virgin Media Secured Finance Plc 2010/2018	10,853,000	13,487,980.34
Virgin Media Secured Finance Plc 2011/2021	5,000,000	6,022,773.63
Voyage Care Bondco Plc -Reg- 2013/2018	3,870,000	4,777,290.55
William Hill Plc 2013/2020	1,000,000	1,158,662.60
Societe Generale SA -Reg- 2013/2049	2,380,000	1,741,768.62
Barclays Plc 2013/2049	4,000,000	2,999,631.94
FAGE USA Dairy Industry, Inc. 144A 2010/2020	5,580,000	4,284,359.89
小計		2,154,575,492.90
非上場有価証券		
Boardriders SA -Reg- 2010/2017	1,000,000	1,076,900.00
Boats Investments The Netherlands BV (MTN) 2007/2017	30,266,760	14,685,734.76
Boparan Holdings Ltd -Reg- 2011/2018	5,040,000	5,542,437.60
NH Hoteles SA -Reg- 2013/2019	5,370,000	5,685,568.05
Snai SpA -Reg- 2013/2018	3,720,000	3,842,239.20
US Coatings Acquisition, Inc. -Reg- 2013/2021	3,550,000	3,731,937.50
WMG Acquisition Corp. -Reg- 2012/2021	3,420,000	3,537,562.50
Zinc Capital SA (MTN) 2011/2018	16,645,000	18,174,259.38
Findus Bondco SA -Reg- 2013/2018	1,000,000	1,312,565.04
小計		57,589,204.03
合計		2,212,164,696.93

2【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産総額	34,429,665,111 円
負債総額	155,240,063 円
純資産総額（ - ）	34,274,425,048 円
発行済口数	40,996,630,470 口
1口当たり純資産額（ / ）	0.8360 円
（1万口当たり純資産額）	（8,360 円）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産総額	5,868,654,611 円
負債総額	39,385,932 円
純資産総額（ - ）	5,829,268,679 円
発行済口数	5,390,509,482 口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0814 円
（1万口当たり純資産額）	（10,814 円）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産総額	42,585,112,860 円
負債総額	144,629,753 円
純資産総額（ - ）	42,440,483,107 円
発行済口数	43,774,923,146 口
1口当たり純資産額（ / ）	0.9695 円
（1万口当たり純資産額）	（9,695 円）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産総額	5,795,520,371 円
負債総額	2,906,271 円
純資産総額（ - ）	5,792,614,100 円
発行済口数	10,858,239,699 口
1口当たり純資産額（ / ）	0.5335 円
（1万口当たり純資産額）	（5,335 円）

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）

（平成26年12月30日現在）

資産総額	169,235,511,229 円
負債総額	355,537,596 円
純資産総額（ - ）	168,879,973,633 円
発行済口数	312,576,347,730 口

1口当たり純資産額(/)	0.5403 円
(1万口当たり純資産額)	(5,403 円)

DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド(資源国通貨コース)(毎月分配型)

(平成26年12月30日現在)

資産総額	8,644,304,359 円
負債総額	27,513,493 円
純資産総額(-)	8,616,790,866 円
発行済口数	11,918,005,536 口
1口当たり純資産額(/)	0.7230 円
(1万口当たり純資産額)	(7,230 円)

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

1. 名義書換について

該当事項はありません。

2. 受益者に対する特典

該当事項はありません。

3. 内国投資信託受益権の譲渡制限の内容

譲渡制限は設けておりません。ただし、受益権の譲渡の手続き及び受益権の譲渡の対抗要件は、以下によるものとします。

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少及び譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めたときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社及び受託会社に対抗することができません。

4. 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

5. 償還金

償還金は、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者として）に支払います。

6. 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付、一部解約金及び償還金の支払い等については、信託約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1) 資本金等

資本金の額

3,078百万円（平成26年12月末現在）

発行する株式の総数

200,000株（平成26年12月末現在）

発行済株式総数

61,560株（平成26年12月末現在）

最近5年間における資本金の額の増減

該当事項はありません。

(2) 委託会社の機構

委託会社は、取締役会及び監査役会をおきます。

取締役及び監査役は、株主総会の決議をもって選任され、その員数はそれぞれ3名以上とします。

取締役会は、取締役全員で組織され、経営に関するすべての重要事項及び法令または定款によって定められた事項につき意思決定を行います。

取締役の任期は、選任後2年以内に終了する最終の事業年度に関する定時株主総会終結の時までとし、補欠または増員のために選任された取締役の任期は、他の取締役の残存任期と同一とします。

監査役会は、監査役全員で組織され、委託会社の会計監査及び業務監査を行います。

監査役の任期は、選任後4年以内に終了する最終の事業年度に関する定時株主総会終結の時までとし、補欠のために選任された監査役の任期は、前任者の任期の残存期間とします。

(投資信託の運用プロセス)

四半期毎に行われる投資戦略会議において、ドイツ銀行グループのアセット&ウェルス・マネジメント部門（グローバル）からの情報を参考にしつつ、各投資対象についての市場見通し並びに大まかな運用方針を決定します。

運用担当者は、投資戦略会議の方針にしたがって各ファンドの運用計画を作成し、チーフ・インベストメント・オフィサーの承認を得ます。その際、必要に応じてグループ内の投資環境調査やモデルポートフォリオを参考にします。

承認された運用計画にしたがって、運用担当者は売買を指示し、ポートフォリオの構築を行います。その際ファンドによっては、外部運用機関と投資助言契約もしくは運用委託契約を結んだ上で運用を行う場合があります。コンプライアンス統括部が、個々の売買についてガイドライン違反等がないか速やかにチェックを行います。運用評価会議では、各ファンドの運用成績を分析するとともに、運用に際して取っているアクティブリスクの状況や他ファンドとの均一性についてレビューを行い、今後の運用へのフィードバックを行います。

インベストメント・コントロール・コミッティーにおいて、ガイドラインの遵守状況や運用上の改善すべき点等について検討を行います。

コンプライアンス統括部は、運用部から独立した立場で、取引の妥当性のチェック及び利益相反取引のチェックを行います。

2【事業の内容及び営業の概況】

投信法に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また金融商品取引法に定める投資助言業務を行っています。

平成26年12月末現在、委託会社の運用するファンドは110本、純資産総額は992,565百万円です(ただし、親投資信託を除きます。)

ファンドの種類別の本数及び純資産総額は下記の通りです。

種類			本数	純資産総額
公募	単位型	株式投資信託	1本	11,525百万円
	追加型	株式投資信託	85本	719,738百万円
私募	単位型	株式投資信託	1本	11,794百万円
	追加型	株式投資信託	23本	249,508百万円
合計			110本	992,565百万円

3【委託会社等の経理状況】

1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）第2条に基づき、同規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。

なお、当事業年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の財務諸表に含まれる比較情報については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成24年9月21日内閣府令第61号）附則第2条第2項により、改正前の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

財務諸表に記載している金額については、千円未満の端数を切り捨てにより記載しております。

2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)		当事業年度 (平成26年3月31日)	
資産の部				
流動資産				
預金	2	5,273,856	2	8,002,917
前払費用		19,328		5,784
未収委託者報酬		865,843		768,948
未収運用受託報酬		10,170		9,517
未収投資助言報酬		51,383		26,287
未収収益		945,999		1,098,526
立替金		42,343		56,579
為替予約		737		8,310
繰延税金資産		456,500		673,691
流動資産合計		7,666,161		10,650,563
固定資産				
無形固定資産				
ソフトウェア	1	7,057	1	-
無形固定資産合計		7,057		-
投資その他の資産				
投資有価証券		16,217		16,207
長期差入保証金		200		200
敷金		9,301		9,364
繰延税金資産		82,336		207,497
投資その他の資産合計		108,056		233,268
固定資産合計		115,113		233,268
資産合計		7,781,275		10,883,832

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	189,040	134,490
未払収益分配金	3	3
未払償還金	1,508	1,508
未払手数料	435,263	390,372
その他未払金	79,656	425,750
未払費用	2 999,473	2 1,233,995
未払法人税等	95,234	1,315,676
未払消費税等	16,299	45,115
賞与引当金	69,377	102,301
事務所退去損失引当金	29,535	-
為替予約	8,755	868
流動負債合計	1,924,147	3,650,082
固定負債		
退職給付引当金	572,361	394,342
長期未払費用	170,105	71,764
賞与引当金	103,986	105,752
固定負債合計	846,453	571,859
負債合計	2,770,601	4,221,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,078,000	3,078,000
資本剰余金		
資本準備金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金合計	1,830,000	1,830,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	102,532	1,753,815
利益剰余金合計	102,532	1,753,815
株主資本合計	5,010,532	6,661,815
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	142	75
評価・換算差額等合計	142	75
純資産合計	5,010,674	6,661,890
負債純資産合計	7,781,275	10,883,832

(2)【損益計算書】

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)	当事業年度 (自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日)
営業収益		
委託者報酬	6,714,400	8,350,714
運用受託報酬	131,072	64,598
投資助言報酬	95,529	47,687
その他営業収益	1,602,115	3,940,844
営業収益合計	8,543,118	12,403,845
営業費用		
支払手数料	3,436,882	4,361,367
広告宣伝費	196,803	191,554
公告費	1,160	1,160
調査費	97,927	99,533
委託調査費	480,591	502,943
情報機器関連費	124,231	141,682
委託計算費	253,926	274,782
通信費	8,618	10,058
印刷費	101,980	94,370
協会費	9,945	8,551
諸会費	383	190
諸経費	32,379	27,482
営業費用合計	4,744,831	5,713,677
一般管理費		
役員報酬	58,275	57,600
給料・手当	963,813	892,688
賞与	530,810	703,459
交際費	90,151	46,553
寄付金	2,500	3,500
旅費交通費	65,845	86,750
租税公課	20,295	34,704
不動産賃借料	143,664	155,359
退職給付費用	93,290	79,313
固定資産減価償却費	10,246	7,057
福利厚生費	267,868	233,611
業務委託費	1 867,422	1 1,382,149
退職金	12,297	4,055
諸経費	72,225	156,845
一般管理費合計	3,198,705	3,843,649
営業利益	599,581	2,846,519
営業外収益		
その他	2,252	4,756
営業外収益合計	2,252	4,756
営業外費用		
為替差損	2,910	27,730
その他	120	21,788
営業外費用合計	3,030	49,519
経常利益	598,803	2,801,756
特別損失		

割増退職金	54,397	108,513
事務所退去損失引当金繰入額	29,535	-
事務所退去損失	-	51,853
特別損失合計	83,933	160,367
税引前当期純利益	514,869	2,641,389
法人税、住民税及び事業税	87,341	1,332,412
法人税等調整額	538,924	342,306
法人税等合計	451,582	990,106
当期純利益	966,452	1,651,283

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
		資本準備金	その他利益剰余金	
			繰越利益剰余金	
当期首残高	3,078,000	1,830,000	863,920	4,044,079
当期変動額				
当期純利益			966,452	966,452
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	-	-	966,452	966,452
当期末残高	3,078,000	1,830,000	102,532	5,010,532

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
	当期首残高	83	
当期変動額			
当期純利益			966,452
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	226	226	226
当期変動額合計	226	226	966,678
当期末残高	142	142	5,010,674

当事業年度（自平成25年4月1日至平成26年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	
当期首残高	3,078,000	1,830,000	102,532	5,010,532
当期変動額				
当期純利益			1,651,283	1,651,283
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	-	-	1,651,283	1,651,283
当期末残高	3,078,000	1,830,000	1,753,815	6,661,815

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	142	142	5,010,674
当期変動額			
当期純利益			1,651,283
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	67	67	67
当期変動額合計	67	67	1,651,216
当期末残高	75	75	6,661,890

注記事項

（重要な会計方針）

1．有価証券の評価基準及び評価方法

(1) その他有価証券

時価のあるもの

当事業年度末の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

2．固定資産の減価償却の方法

(1) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

3．デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

4．引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。但し、当社においては過去より貸倒実績がないため引当金の計上をしておりません。

(2) 賞与引当金

従業員等に対する賞与の支払及び親会社の運営する株式報酬制度に係る将来の支払に備えるため、当社所定の計算基準により算出した支払見込額の当事業年度負担分を計上しております。

(3) 事務所退去損失引当金

不動産賃貸借契約に基づき使用する事務所等の一部退去に伴う資産除去費用に関連して負担する支払に備えるため、支払見込額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員等の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

数理計算上の差異は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額を翌期から費用処理することとしております。

5．外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建の金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6．リース取引の処理方法

平成19年3月30日改正の「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針16号）を適用しております。また、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方針に準じた会計処理を適用しております。

7．その他財務諸表のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の処理方法

税抜方式を採用しております。

（貸借対照表関係）

- 1 無形固定資産の減価償却累計額は以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
ソフトウェア	81,597 千円	88,654 千円

- 2 各科目に含まれている関係会社に対するものは以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
預金	4,069,209 千円	6,835,109 千円
未払費用	240,209 千円	379,178 千円

（損益計算書関係）

- 1 関係会社に対するものは以下のとおりであります。

	前事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	当事業年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
業務委託費	198,535 千円	419,984 千円

（株主資本等変動計算書関係）

前事業年度（自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	61,560	-	-	61,560

当事業年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	61,560	-	-	61,560

2. 配当に関する事項

基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成26年6月25日開催予定の定時株主総会の決議事項として、普通株式の配当に関する議案を次のとおり付議する予定であります。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,700,000	27,615.33	平成26年3月31日	平成26年6月26日

（リース取引関係）

リース取引に関する会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引

（借主側）

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

（単位:千円）

	前事業年度（平成25年3月31日）		
	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
有形固定資産 （器具備品）	364,822	333,257	31,564
有形固定資産 （建物附属設備）	653,585	416,748	236,837
合計	1,018,407	750,006	268,401

（単位:千円）

	当事業年度（平成26年3月31日）		
	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
有形固定資産 （器具備品）	187,688	167,473	20,215
有形固定資産 （建物附属設備）	537,715	377,070	160,645
合計	725,404	544,544	180,860

(2) 未経過リース料期末残高相当額

（単位:千円）

	前事業年度 （平成25年3月31日）	当事業年度 （平成26年3月31日）
1年以内	41,799	33,052
1年超	174,393	101,580
合計	216,193	134,632

(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

（単位:千円）

	前事業年度 （自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）	当事業年度 （自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）
支払リース料	67,280	34,474
減価償却費相当額	50,601	37,217
支払利息相当額	1,813	1,087

(4) 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法

減価償却費相当額の算定方法

- ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

利息相当額の算定方法

- ・リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は顧客資産について投資助言・代理及び投資運用業務等を行っており、業務上必要と認められる場合以外は、自己勘定による資金運用は行っておりません。預金については全て決済性の当座預金であります。また、銀行借入や社債等による資金調達は行っておりません。

デリバティブについても、外貨建営業債権及び債務の為替変動リスクを回避するために利用し、投機的な取引は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

当座預金並びに営業債権である未収委託者報酬、未収運用受託報酬、未収投資助言報酬及び未収収益は、取引先の信用リスクに晒されています。預金に関するリスクは、当社の社内規程に従い、取引先の信用リスクのモニタリングを行っており、営業債権に関するリスクは、取引先毎の期日管理及び残高管理を実施し、主要な取引先の信用状況を定期的に把握する体制としております。

投資有価証券は当社設定の投資信託に対するシードマネーであり、業務上の必要性から保有しているもので、主に短期の日本国債やコールローンで運用されており、市場価格の変動リスク、市場の流動性リスクは限定的であります。

外貨建営業債権及び債務は為替変動リスクに晒されており、通貨別に把握された為替の変動リスクに対して先物為替予約によりリスクの回避を実施しております。

デリバティブ取引の執行・管理については、社内規程に基づいて取引、記帳及び取引先との残高照合等を行っておりません。

営業債務に関する流動性リスクについては、経理部において資金繰りをモニタリングしております。

上記、信用、市場、為替リスクに関する事項は、社内規程に基づいて定期的に社内委員会に報告され、審議、検討を行っております。また、流動性リスクに関する事項につきましても逐次、社内担当役員に報告されております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下のとおりであります。

前事業年度（平成25年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)預金	5,273,856	5,273,856	-
(2)未収委託者報酬	865,843	865,843	-
(3)未収運用受託報酬	10,170	10,170	-
(4)未収投資助言報酬	51,383	51,383	-
(5)未収収益	945,999	945,999	-
(6)投資有価証券 その他の有価証券	16,217	16,217	-
資産計	7,163,470	7,163,470	-
(1)預り金	189,040	189,040	-
(2)未払手数料	435,263	435,263	-
(3)未払費用	999,473	999,473	-
(4)未払法人税等	95,234	95,234	-
(5)長期未払費用	170,105	170,105	-
負債計	1,889,116	1,889,116	-
デリバティブ取引（*1） ヘッジ会計が適用されていないもの	(8,018)	(8,018)	-
デリバティブ取引計	(8,018)	(8,018)	-

（*1）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、（ ）で示しております。

（注）1. 金融商品の時価の算定方法及びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資 産

(1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬、(4) 未収投資助言報酬及び(5) 未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6) 投資有価証券

投資有価証券はその他有価証券に区分されており、時価については、基準価額によっております。

また、有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照下さい。

負債

(1) 預り金、(2) 未払手数料、(3) 未払費用及び(4) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 長期未払費用

時価については、支払見込額に基づく現在価値によっております。

デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記を参照下さい。

(注) 2. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超
預金	5,273,856	-	-
未収委託者報酬	865,843	-	-
未収運用受託報酬	36,182	-	-
未収投資助言報酬	51,383	-	-
未収収益	919,986	-	-
投資有価証券 その他の有価証券	-	-	15,039
合計	7,147,253	-	15,039

(注) 償還期間が見込めないものについては表中に記載を行わず、除外しております。

当事業年度（平成26年3月31日）

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 預金	8,002,917	8,002,917	-
(2) 未収委託者報酬	768,948	768,948	-
(3) 未収運用受託報酬	9,517	9,517	-
(4) 未収投資助言報酬	26,287	26,287	-
(5) 未収収益	1,098,526	1,098,526	-
(6) 投資有価証券 その他の有価証券	16,207	16,207	-
資産計	9,922,404	9,922,404	-
(1) 預り金	134,490	134,490	-
(2) 未払手数料	390,372	390,372	-
(3) その他未払金	425,750	425,750	-
(4) 未払費用	1,233,995	1,233,995	-
(5) 未払法人税等	1,315,676	1,315,676	-
負債計	3,500,284	3,500,284	-
デリバティブ取引 (*1) ヘッジ会計が適用されていないもの	7,441	7,441	-
デリバティブ取引計	7,441	7,441	-

(*1) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、()で示しております。

(注) 1. 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1) 預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収運用受託報酬、(4) 未収投資助言報酬及び(5) 未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6) 投資有価証券

投資有価証券はその他有価証券に区分されており、時価については、基準価額によっております。

また、有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照下さい。

負債

(1) 預り金、(2) 未払手数料、(3) その他未払金、(4) 未払費用及び(5) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記を参照下さい。

(注) 2. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超
預金	8,002,917	-	-
未収委託者報酬	768,948	-	-
未収運用受託報酬	9,517	-	-
未収投資助言報酬	26,287	-	-
未収収益	1,098,526	-	-
投資有価証券			
その他の有価証券	-	-	16,069
合計	9,906,197	-	16,069

(注) 償還期間が見込めないものについては表中に記載を行わず、除外しております。

(有価証券関係)

1. その他有価証券

前事業年度（平成25年3月31日）

(単位:千円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	16,217	15,988	229
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	-	-	-
合計		16,217	15,988	229

当事業年度（平成26年3月31日）

(単位:千円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	16,207	16,090	117
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	-	-	-
合計		16,207	16,090	117

2. 売却したその他有価証券

前事業年度（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）

(単位:千円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	1,109	78	-
合計	1,109	78	-

当事業年度（自平成25年4月1日至平成26年3月31日）

(単位:千円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	2,411	323	-
合計	2,411	323	-

（デリバティブ取引関係）

ヘッジ会計が適用されていないもの

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物は通貨のみであり、貸借対照表日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

前事業年度（平成25年3月31日）

通貨関連（時価の算定方法は、先物為替相場によっております。）（単位：千円）

区分	為替予約取引	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	売建 米ドル	553,397	-	5,418	5,418
	買建 ユーロ	620,475	-	3,337	3,337
	シンガポールドル	55,763	-	737	737
	合計	1,229,636	-	8,018	8,018

当事業年度（平成26年3月31日）

通貨関連（時価の算定方法は、先物為替相場によっております。）（単位：千円）

区分	為替予約取引	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	売建 米ドル	1,021,584	-	7,424	7,424
	ユーロ	59,742	-	712	712
	シンガポールドル	45,698	-	643	643
	買建 米ドル	594,600	-	6,555	6,555
	ユーロ	748,225	-	8,165	8,165
	シンガポールドル	87,745	-	1,501	1,501
	合計	2,557,596	-	7,441	7,441

（退職給付関係）

前事業年度（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、退職一時金制度と確定拠出年金制度を採用しております。加えて、一部の従業員を対象とした特別慰労金制度を採用しております。

2. 退職給付債務に関する事項

（単位:千円）

(1) 退職給付債務	238,321
(2) 未積立退職給付債務	238,321
(3) 未認識数理計算上の差異	25,435
(4) 貸借対照表計上額純額 (2)+(3)	212,886
(5) 特別退職慰労引当金	359,475
(6) 退職給付引当金 (4)+(5)	572,361

3. 退職給付費用に関する事項

（単位:千円）

(1) 勤務費用	44,568
(2) 利息費用	3,301
(3) その他（退職給付債務の対象外の退職費用）	39,208
(4) 数理計算上の差異の費用処理額	6,185
退職給付費用小計	93,264
(5) 割増退職金	26
退職給付費用合計	93,290

4. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

(1) 退職給付見込額の期間配分方法

期間定額基準

(2) 割引率

0.90%

(3) 数理計算上の差異の処理年数

5年

当事業年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、退職一時金制度と確定拠出年金制度を採用しております。加えて、一部の従業員を対象とした特別慰労金制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

（単位：千円）	
退職給付債務の期首残高	595,552
勤務費用	38,667
利息費用	4,645
数理計算上の差異の発生額	9,329
退職給付の支払額	224,430
その他	1,519
退職給付債務の期末残高	422,244

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

（単位：千円）	
非積立型制度の退職給付債務	422,244
未積立退職給付債務	422,244
未認識数理計算上の差異	27,901
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	394,342
退職給付引当金	394,342
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	394,342

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

（単位：千円）	
勤務費用	38,667
利息費用	4,645
数理計算上の差異の費用処理額	6,863
確定給付制度に係る退職給付費用	50,176

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率	1.00%
-----	-------

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、29,136千円でありました。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	(単位:千円)	
	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
繰延税金資産		
賞与引当金	64,252	48,488
その他未払金	30,277	113,011
事務所退去損失引当金	11,226	-
未払費用	379,899	439,795
未払事業税	8,729	84,485
長期未払費用	61,969	16,959
退職給付引当金	206,142	140,543
減価償却超過額	37,415	37,778
その他	311	166
繰延税金資産小計	800,219	881,230
評価性引当額	261,295	-
繰延税金資産合計	538,924	881,230
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	87	41
繰延税金負債合計	87	41
繰延税金資産の純額	538,836	881,188

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	(単位:%)	
	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
法定実効税率	38.0	38.0
(調整)		
交際費等永久に損金に算入されない項目	6.7	0.7
役員賞与等永久に損金に算入されない項目	11.2	6.9
評価性引当額	142.2	9.9
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	-	1.6
住民税均等割	1.1	0.2
その他	0.0	0.0
税効果会計適用後の法人税の負担率	87.7	37.5

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律（平成26年法律第10号）」が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は平成26年4月1日に開始する事業年度以後に解消が見込まれる一時差異については前事業年度の38.01%から35.64%に変更されております。

その結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した額）が41,218千円減少し、当事業年度に費用計上された法人税等調整額の金額が41,218千円増加しております。

（セグメント情報等）

セグメント情報

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

前事業年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社の主要な顧客は一般投資家であり、損益計算書の営業収益の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当事業年度（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社の主要な顧客は一般投資家であり、損益計算書の営業収益の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

前事業年度（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	Deutsche Bank Aktiengesellschaft	ドイツ フランク フルト	2,379,519 千ユーロ	銀行業	(被所有) 間接100%	資金預入、 サービスの提供	*1 資金の預入 *2 IT、管理部門 サービス	- 198,535	預金 未払費用	4,069,209 240,209

当事業年度（自平成25年4月1日至平成26年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	Deutsche Bank Aktiengesellschaft	ドイツ フランク フルト	2,609,919 千ユーロ	銀行業	(被所有) 間接100%	資金預入、 サービスの提供	*1 資金の預入 *2 IT、管理部門 サービス	- 419,984	預金 未払費用	6,835,109 379,178

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

*1 当座預金口座を開設しております。

*2 当該会社とのサービス契約ないし、当社のIT環境、総務購買部門等の管理部門業務に関連し支出した費用の計上を行っております。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度（自平成24年4月1日至平成25年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	ドイツ証券株式会社	東京都千代田区	72,728 百万円	証券業	なし	サービスの提供 役員の兼任	*1 IT、管理部門 サービス	398,082	未払費用	227,840
同一の親会社を持つ会社	ドイツ銀不動産 有限会社	東京都千代田区	46 百万円	不動産 管理業	なし	サービスの提供 役員の兼任	*2 不動産賃借料	141,862	未払費用	24,143
同一の親会社を持つ会社	RREEF America L.L.C.	米国 ウィルミントン	10 千ドル	投資 運用業	なし	サービスの提供	*3 その他営業収益	1,190,429	未収収益	667,059
同一の親会社を持つ会社	DWS Investment GmbH	ドイツ フランク フルト	115,000 千ユーロ	投資 運用業	なし	運用の再委託 サービスの提供	*2 委託調査 *3 その他営業収益	328,358 271,074	未払費用 未収収益	141,761 195,228

当事業年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は 出資金	事業の 内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	ドイツ証券株式会社	東京都千代田区	72,728 百万円	証券業	なし	サービスの提供 役員の兼任	*1 IT、管理部門 サービス	556,085	未払費用	254,954
同一の親会社を持つ会社	ドイツ銀不動産 有限会社	東京都千代田区	46 百万円	不動産 管理業	なし	サービスの提供 役員の兼任	*2 不動産賃借料	153,768	未払費用	93,273
同一の親会社を持つ会社	RREEF America L.L.C.	米国 ウィルミントン	10 千ドル	投資 運用業	なし	サービスの提供	*3 その他営業収益	2,574,660	未収収益	858,948
同一の親会社を持つ会社	DWS Investment S.A.	ルクセンブルク	30,677 千ユーロ	投資 運用業	なし	サービスの提供	*3 その他営業収益	642,619	未収収益	53,953
同一の親会社を持つ会社	Deutsche Asset & Wealth Management Investment GmbH	ドイツ フランクフルト	115,000 千ユーロ	投資 運用業	なし	運用の再委託 サービスの提供	*2 委託調査 *3 その他営業収益	402,365 650,793	未払費用 未収収益	117,811 131,803

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件及び取引条件の決定方針等

- *1 当該会社とのサービス契約ないし、当社のIT環境、総務購買部門等の管理部門業務に関連し支出した費用の計上を行っております。
- *2 当該会社とのサービス契約に基づき、発生した費用の計上を行っております。
- *3 当該会社とのサービス契約に基づき、予め定められた料率で計算された収益の計上を行っております。

2. 親会社に関する注記

(1) 親会社情報

Deutsche Bank Aktiengesellschaft フランクフルト証券取引所に上場

ニューヨーク証券取引所に上場

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (平成25年3月31日)	当事業年度 (平成26年3月31日)
1株当たり純資産額	81,394.97 円	108,217.84 円
1株当たり当期純利益金額	15,699.35 円	26,823.96 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	当事業年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)
当期純利益金額(千円)	966,452	1,651,283
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-

普通株主に係る当期純利益金額(千円)	966,452	1,651,283
期中平均株式数(株)	61,560	61,560

1. 中間財務諸表の作成方法について

当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)第38条及び第57条の規定に基づき、同規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

中間財務諸表に記載している金額については、千円未満の端数を切り捨てにより記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間会計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による中間監査を受けております。

中間財務諸表

(1)中間貸借対照表

(単位：千円)

		当中間会計期間末 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
預金		7,474,125
前払費用		14,121
未収入金		84,271
未収委託者報酬		747,877
未収運用受託報酬		14,954
未収投資助言報酬		23,437
未収収益		1,874,781
立替金		42,137
繰延税金資産		739,238
為替予約		1,965
流動資産計		11,016,911
固定資産		
投資その他の資産		
繰延税金資産		217,847
その他		14,119
固定資産計		231,967
資産合計		11,248,878
負債の部		
流動負債		
預り金		111,444
未払金		
未払手数料		377,694
その他未払金		184,193
未払費用		1,320,895
未払法人税等		1,195,827
未払消費税等	1	86,939
賞与引当金		421,750
為替予約		73,970
流動負債計		3,772,716
固定負債		
長期未払費用		130,776
退職給付引当金		496,692
賞与引当金		20,442
固定負債計		647,910
負債合計		4,420,627
純資産の部		
株主資本		
資本金		3,078,000
資本剰余金		
資本準備金		1,830,000
資本剰余金計		1,830,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		1,920,216
利益剰余金計		1,920,216
株主資本計		6,828,216

評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	34
評価・換算差額等合計	34
純資産合計	6,828,251
負債・純資産合計	11,248,878

(2)中間損益計算書

(単位：千円)

当中間会計期間	
(自 平成26年4月1日	
至 平成26年9月30日)	
営業収益	
委託者報酬	4,669,555
運用受託報酬	23,307
投資助言報酬	23,437
その他営業収益	3,429,859
営業収益計	8,146,159
営業費用	
支払手数料	2,473,010
その他営業費用	638,988
営業費用計	3,111,999
一般管理費	2,053,598
営業利益	2,980,561
営業外収益	3,215
営業外費用	1 5,859
経常利益	2,977,916
特別損失	2 5,470
税引前中間純利益	2,972,446
法人税、住民税及び事業税	1,181,935
法人税等調整額	75,890
法人税等合計	1,106,045
中間純利益	1,866,401

重要な会計方針

	当中間会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>その他有価証券 時価のあるもの</p> <p>当中間会計期間末の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。</p>
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	時価法を採用しております。
3. 固定資産の減価償却の方法	<p>無形固定資産</p> <p>定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。</p>
4. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金</p> <p>一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。但し、当中間会計期間末の計上額はありません。</p> <p>(2) 賞与引当金</p> <p>従業員等に対する賞与の支払及び親会社の運営する株式報酬制度に係る将来の支払に備えるため、当社所定の計算基準により算出した支払見込額の当中間会計期間負担分を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金</p> <p>従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>退職給付見込額の期間帰属方法</p> <p>退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異の費用処理方法</p> <p>数理計算上の差異は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額を翌期から費用処理することとしております。</p>
5. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準	外貨建の金銭債権債務は、中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
6. その他中間財務諸表のための基本となる重要な事項	<p>消費税等の会計処理</p> <p>消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。</p>

注記事項

(中間貸借対照表関係)

	当中間会計期間末 (平成26年9月30日)
1 消費税等の取扱い	<p>仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺の上、流動負債の「未払消費税等」として表示しております。</p>

(中間損益計算書関係)

	当中間会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
1 営業外費用の主要項目	
為替差損	5,859千円

2 特別損失の主要項目

割増退職金

5,470千円

(リース取引関係)

当中間会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)			
リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。			
ファイナンス・リース取引（借主側）			
リース取引に関する会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引			
1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間会計期間末残高相当額			
	器具備品	建物附属設備	合計
取得価額相当額	189,891千円	519,808千円	709,700千円
減価償却累計額相当額	171,725千円	376,742千円	548,467千円
中間会計期間末残高相当額	18,165千円	143,066千円	161,232千円
2. 未経過リース料中間会計期間末残高相当額			
1年以内		30,410千円	
1年超		84,285千円	
合計		114,696千円	
3. 支払リース料、減価償却費相当額、支払利息相当額			
支払リース料		16,110千円	
減価償却費相当額		14,597千円	
支払利息相当額		852千円	
4. 減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法			
(1) 減価償却費相当額の算定方法			
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。			
(2) 利息相当額の算定方法			
リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。			

(金融商品関係)

当中間会計期間末（平成26年9月30日）

金融商品の時価等に関する事項

平成26年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下のとおりであります。

	中間貸借対照表 計上額	時価	差額
(1)預金	7,474,125	7,474,125	-
(2)未収委託者報酬	747,877	747,877	-
(3)未収運用受託報酬	14,954	14,954	-
(4)未収投資助言報酬	23,437	23,437	-
(5)未収収益	1,874,781	1,874,781	-
(6)投資有価証券 その他の有価証券	2,154	2,154	-
資産計	10,137,329	10,137,329	-
(1)未払手数料	377,694	377,694	-
(2)その他未払金	184,193	184,193	-
(3)未払費用	1,320,895	1,320,895	-
(4)未払法人税等	1,195,827	1,195,827	-
(5)長期未払費用	130,776	130,776	-
負債計	3,209,387	3,209,387	-
デリバティブ取引 (*1) ヘッジ会計が適用されていないもの	(72,005)	(72,005)	-
デリバティブ取引計	(72,005)	(72,005)	-

(*1)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債権となる項目については、正の値で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

(1)預金、(2)未収委託者報酬、(3)未収運用受託報酬、(4)未収投資助言報酬及び(5)未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6)投資有価証券

投資有価証券は其他有価証券に区分されており、時価については、基準価額によっております。

また、有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照下さい。

負債

(1)未払手数料、(2)その他未払金、(3)未払費用及び(4)未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5)長期未払費用

時価については、支払見込額に基づく現在価値によっております。

デリバティブ取引

「デリバティブ取引関係」注記を参照下さい。

(有価証券関係)

当中間会計期間末（平成26年9月30日）

その他有価証券

(単位：千円)

	種類	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	その他	2,154	2,100	54
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	その他	-	-	-
合計		2,154	2,100	54

当期中に売却したその他有価証券

(単位：千円)

区分	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	14,110	120	-

合計	14,110	120	-
----	--------	-----	---

(デリバティブ取引関係)

当中間会計期間末（平成26年9月30日）

ヘッジ会計が適用されていないもの

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物は通貨のみであり、中間貸借対照表日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

通貨関連（時価の算定方法は、先物為替相場によっております。）

（単位：千円）

区分	取引の種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建				
	ユーロ	37,046	-	645	645
	米ドル	1,960,127	-	82,422	82,422
	買建				
	ユーロ	639,111	-	1,507	1,507
	米ドル	217,633	-	8,451	8,451
	シンガポールドル	45,517	-	1,102	1,102
合計		2,899,435	-	72,005	72,005

(セグメント情報等)

セグメント情報

当中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

当中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

当社の主要な顧客は一般投資家であり、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める顧客が存在しないため記載を省略しております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

当中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

当中間会計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当中間会計期間末 (平成26年9月30日)
1株当たり純資産額	110,920円26銭
1株当たり中間純利益金額	30,318円40銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	当中間会計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
中間純利益金額(千円)	1,866,401
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る中間純利益金額(千円)	1,866,401
普通株式の期中平均株式数(株)	61,560

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、金融商品取引法の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己またはその取締役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (2) 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (3) 通常の見積りの条件と異なる条件であって見積りの公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下(4)及び(5)において同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引または金融デリバティブ取引を行うこと。
- (4) 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- (5) 上記(3)及び(4)に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは見積りの公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

(1) 定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

(2) 訴訟その他重要事項

委託会社及びファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

受託会社

名 称	三井住友信託銀行株式会社
資本金の額	342,037百万円（平成26年3月末現在）
事業の内容	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

<参考>再信託受託会社の概要

名 称	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社
資本金の額	51,000百万円（平成26年3月末現在）
事業の内容	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。
関係業務の概要	受託会社より委託を受け、当ファンドの信託事務の一部（信託財産の管理等）を行います。

販売会社

名称	資本金の額	事業の内容
みずほ証券株式会社	125,167百万円 （平成26年3月末現在）	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社みずほ銀行	700,000百万円 （平成26年3月末現在）	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。

2【関係業務の概要】

受託会社

当ファンドの受託会社として、信託財産の保管・管理、基準価額の計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指図等を行います。

販売会社

当ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金・償還金及び一部解約金の支払い等を行います。

3【資本関係】

委託会社と他の関係法人との間に資本関係はありません。

第3【その他】

- (1) 交付目論見書（金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書のうち、同法第15条第2項の規定により交付される目論見書をいいます。以下同じ。）及び請求目論見書（金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書のうち、同法第15条第3項の規定により交付される目論見書をいいます。以下同じ。）の表紙に、それぞれ「投資信託説明書（交付目論見書）」及び「投資信託説明書（請求目論見書）」と記載するほか、金融商品取引法に基づく目論見書である旨を記載する場合があります。また、使用開始日及び委託会社の金融商品取引業者登録番号を記載することがあります。
- (2) 交付目論見書及び請求目論見書の表紙等に、(i)委託会社の名称、設立年月日、本店の所在地及びロゴマーク、()申込取扱場所である販売会社の名称及びロゴマーク、()ファンドの形態及びロゴマークを記載することがあります。また、図案を採用することがあります。
- (3) 交付目論見書の表紙等に、以下の趣旨の事項を記載することがあります。

投資信託の財産は、受託会社において信託法に基づき分別管理されています。
ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読み下さい。
- (4) 請求目論見書の表紙裏に、以下の趣旨の事項の全部または一部を記載することがあります。

投資信託は、株式・債券等の値動きのある証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
投資信託は、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
登録金融機関を通じて購入された投資信託は、投資者保護基金による支払い対象にはなりません。
投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。
- (5) 請求目論見書の巻末に、用語の解説を添付することがあります。
- (6) 請求目論見書の巻末に、信託約款を掲載します。
- (7) 有価証券届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表等を付加して交付目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
- (8) 交付目論見書及び請求目論見書は電子媒体等として使用されるほか、インターネット等に掲載されることがあります。
- (9) 交付目論見書または請求目論見書に、委託会社が作成する法定外資料の作成及び当該資料の入手に必要な情報の照会方法を記載することがあります。
- (10) ファンドの運用状況に関する情報を、日次、週次、月次等のデータとして、文章、数値、表、グラフ等に表示することがあります。その際、当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではない旨を注記することがあります。なお、データは適時、更新されます。
- (11) 投信評価機関、投信評価会社等からのファンドに対するレーティングを取得し、当該レーティングを使用することがあります。
- (12) 「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（メキシコペソコース）（毎月分配型）／（トルコリラコース）（毎月分配型）」の交付目論見書及び「DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（年2回決算型）／（豪ドルコース）（年2回決算型）／（ブラジルリアルコース）（年2回決算型）」の交付目論見書と合本した交付目論見書を使用することがあります。

独立監査人の監査報告書

平成26年6月18日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野島 浩一郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第30期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
 2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成26年12月17日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているDWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）の平成26年5月27日から平成26年11月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（円コース）（毎月分配型）の平成26年11月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成26年12月17日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているDWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）の平成26年5月27日から平成26年11月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ユーロコース）（毎月分配型）の平成26年11月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成26年12月17日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているDWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）の平成26年5月27日から平成26年11月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（豪ドルコース）（毎月分配型）の平成26年11月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成26年12月17日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているDWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）の平成26年5月27日から平成26年11月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（南アフリカランドコース）（毎月分配型）の平成26年11月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成26年12月17日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているDWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）の平成26年5月27日から平成26年11月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）（毎月分配型）の平成26年11月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成26年12月17日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 荒川 進
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているDWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）の平成26年5月27日から平成26年11月25日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、DWS 欧州ハイ・イールド債券ファンド（資源国通貨コース）（毎月分配型）の平成26年11月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1 . 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2 . XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成26年12月12日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 野島 浩一郎
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられているドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第31期事業年度の中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間会計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

1. 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。